

X市中学生パネル学力調査
——第二次調査報告

香川めい・須藤康介 編

東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.61

東京大学社会科学研究所

東京大学社会科学研究所研究シリーズ No. 61

X 市中学生パネル学力調査 第二次調査報告

香川めい・須藤康介 編

2017 年 3 月

目次

序章 調査の概要	3
1. 研究の概要	3
2. 調査データについて	4
3. 学力スコアの指標化	5
4. 調査結果の概要	6
第1章 どのような教育方法が国語の学力を向上させるのか ——「授業内容の振り返り」活動に着目して	15
1. はじめに	15
2. 分析に用いる変数・手続き・分析手法	17
3. 分析1：国語の指導法についての実態分析	18
4. 分析2：「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」 国語の指導方法が学力の変化に与える効果分析	22
5. まとめ	24
第2章 学力・レリバンス意識・進路に関する意識と進路希望 ——中1 から中2 にかけての進学希望学科の変化に着目して	27
1. 問題関心	27
2. 進学希望学科の分布と変化	28
3. 学力、レリバンス意識、進路に関する意識と進学希望学科の変化	32
4. 結論	38
第3章 家庭内の関係と地域とのつながりの変化がもたらすもの ——学業成績、学校適応と将来への意識との関連を中心に	41
1. はじめに	41
2. 家庭や地域とのつながり	42
3. 家族との関係や地域とのつながりは学力や意識に影響を与えるのか	44
4. まとめと考察	51

第4章	メディア利用と学校参与・友人関係の関連	
	——テレビ・ゲーム・ケータイに着目した経年分析	55
1.	問題設定	55
2.	使用する変数	56
3.	メディア利用の変化	57
4.	学校参与・友人関係の変化.....	58
5.	メディア利用と学校参与・友人関係の関連.....	59
6.	まとめと結論	66
第5章	中1 ギャップ経験が学校生活に与える影響	
	——友人関係面と学力面に着目して	69
1.	問題設定	69
2.	使用する変数	71
3.	中1 ギャップ経験が友人関係面に与える影響.....	72
4.	中1 ギャップ経験が学力面に与える影響.....	76
5.	結論	81
調査票①		83
調査票②		97
付表		103

序章 調査の概要

須藤 康介（明星大学）

豊永 耕平（東京大学大学院）

1 研究の概要

本報告書は、「学校教育と学力」研究会が2015年度より実施している「X市中学生パネル学力調査」の第二次報告書である。

本研究会の目的は、都市部の郊外に位置するX市教育委員会と連携し、X市内の中学生を対象とした3年間の悉皆パネル調査を実施し、中学生の学力や生活の変化の実態を明らかにすることである。パネル調査は、X市に在籍する2015年度における中学1年生のコーホート（約600人）に対して3年間実施する。小学6年時には調査を実施しないが、X市から文部科学省2014年度「全国学力・学習状況調査」のデータの提供を受ける。パネル調査は、ベネッセコーポレーションに委託した「総合学力調査」（学習到達度調査・学習意識調査）と、当該調査に研究会が追加した別紙の質問紙調査から構成される。また、国語教科担任と学級担任に対する質問紙調査も年度末に実施し、生徒調査データとマッチングさせる。これらの調査を通して、中学生の学力の規定要因などを高い信頼性で導くことを企図している。図表序-1が、2016年12月時点での研究計画の概要である。

図表序-1 2016年12月時点での研究計画

	2015年度	2016年度	2017年度
4月			第3回生徒調査 (全国学力・学習状況調査)
5月			
6月		第2回生徒調査 (ベネッセ調査)	
7月	第1回生徒調査 (ベネッセ調査)		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			第4回生徒調査 (ベネッセ調査)
1月			
2月	第1回教員調査	第2回教員調査	第3回教員調査
3月			

研究計画が示すように、学力の規定要因などの厳密な分析を行うためには、2017年度まで調査を進め、3年間のデータ蓄積をすることが必要である。本報告書は、2016年度の生徒調査が終了したことを受け、現時点で得られている知見を整理し、今後の展望を示すためのものである。いくつか暫定的な知見も含まれるが、それでも本報告書を刊行するのは、小学6年生から中学2年生にかけての学力や生活の変化を捉えるだけでも、中1ギャップや中学2年生の中だるみに関する、貴重な知見を提供できるだろうと判断したためである。

2 調査データについて

X市内で2014年度小学6年生の「全国学力・学習状況調査」に参加した児童数は、655人である。悉皆調査であるため、当日欠席者を除く市立小学生全員が対象となっている。学力調査は国語A・国語B・算数A・算数Bからなる。研究会の分析では、さらに国語Aと国語Bを連続した一つの学力調査と見なした正答率、算数Aと算数Bを連続した一つの学力調査と見なした正答率も算出している。学力調査の設問、質問紙調査の項目について、国立教育政策研究所のホームページに掲載されている。

2015年度中学1年生の「総合学力調査」（学習到達度調査・学習意識調査）および研究会が追加した別紙の質問紙調査に参加した生徒数は、597人である。この調査もX市教育委員会の協力の下で悉皆調査であるので、当日欠席者を除く市立中学生全員が対象となっている。2014年度「全国学力・学習状況調査」と比べて人数が減少しているのは、私立中学校進学などで、市立学校在籍者が減少したためである。

2016年度中学2年生の「総合学力調査」（学習到達度調査・学習意識調査）および研究会が追加した別紙の質問紙調査に参加した生徒数は、576人である。やはり悉皆調査であるので、当日欠席者を除く市立中学生全員が対象となっている。2015年度調査と比べて人数が減少しているのは当日欠席に由来し、学校単位・学級単位の不参加はなかった。ベネッセコーポレーションが作成した学力調査（学習到達度調査）の設問は非公開であるが、国語・数学それぞれの中で「基本問題」に該当する設問と「応用問題」に該当する設問が含まれており、それぞれおよび全体の正答率が算出されている。さらに、観点別・領域別の正答率のデータも含まれている。質問紙調査の項目については、本報告書の巻末に掲載した。

今回の調査データの特長は、小学6年生の4月から、中学2年生の6月にかけての同一個人の学力などの変化を捉えられる点にある。さらに、悉皆調査であるため、回収率に由来するタイプのデータのバイアスはかなり小さい。一方、調査の限界としては、X市という一つの小規模な自治体に限定したデータであるという点が挙げられる。X市は西日本の都市部の郊外に位置し、極めて特殊な産業構造などを有するわけではないが、日本全国の縮図とは言い難い。在籍している児童・生徒数が少ないことで、分析において統計的に有意な関連を見出しづらいという課題もある。その点で、本報告書はあくまで事例研究であ

り、知見の一般化には慎重になる必要がある。

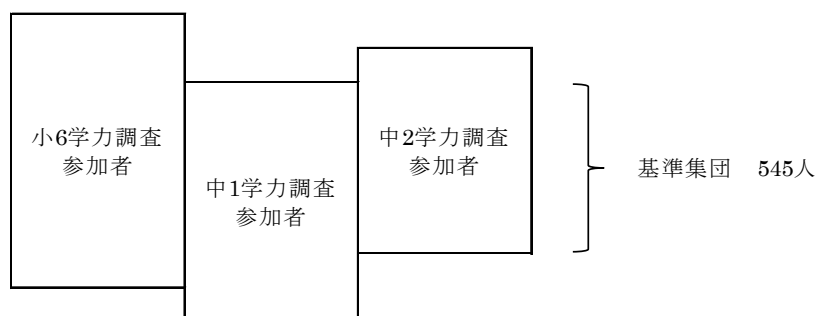
3 学カスコアの指標化

今回のような、パネル学力調査を分析する上で、設問が異なる3ヶ年分の学力調査の結果をどのように一つのデータとして分析するかが論点となる。たとえば、ある子どもについて、小学6年生のときの算数正答率が60%で、中学2年生のときの数学正答率が55%だった場合、学力が5ポイント「低下」したとすることはできない。なぜなら、仮に二つの学力調査がまったく同じ種類の学力を測定しているのだと仮定しても、小学6年生の学力調査の設問と中学2年生の学力調査の設問は難度が異なり、単純に正答率を比較することはできないからである。事実、本データでは、小学6年生の算数正答率の平均値は67.7%であり、中学2年生の数学正答率の平均値は56.1%である。つまり、12ポイントほど正答率が低下するのが「普通」なのである。

このような場合、3ヶ年分の学力調査に共通の設問が含まれていれば、項目反応理論を用いて、3ヶ年分の調査で比較可能なスコアを算出できるが、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」とベネッセコーポレーションの「学習到達度調査」は別の調査であり、また、「学習到達度調査」の設問は学年ごとに異なるため、そのような設計にはなっていない。したがって、本調査データから、絶対的な水準として、学力が向上したのか低下したのかを知ることはできない。

そこで本研究では、次善の方策として、各年度の正答率について標準化を行い、調査対象者の中での相対的な学力を表すスコア（調整標準化スコアと名づける）を算出する。標準化を行うことで、あくまで相対的な水準としてではあるが、その子どもの学力が小学6年生から中学2年生にかけて向上したのか、低下したのかを知ることができる。具体的には、図表序-2で示した「基準集団」における、正答率の平均値・標準偏差を算出し、基準集団における平均値が50、標準偏差が10になるように正答率を換算する。

図表序-2 学カスコア算出の基準集団



あくまで基準集団において平均値 50、標準偏差 10 となるように算出しているため、小学 6 年生全体・中学 1 年生全体・中学 2 年生全体の平均値／標準偏差は 50／10 とならないことには注意が必要である。また、2015 年度調査の終了時点とは基準集団が異なるため、第一次報告書内の調整標準化スコアと値がわずかに異なることにも注意が必要である。図表序-3 に、調整標準化スコアの記述統計量を示す。

図表序-3 調整標準化スコアの記述統計量

	有効度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
小6国語Aスコア	650	21	65	50.1	10.15
小6国語Bスコア	648	28	71	49.9	10.38
小6国語スコア	647	23	69	50.0	10.32
小6算数Aスコア	649	19	62	49.8	10.31
小6算数Bスコア	646	29	67	50.1	10.22
小6算数スコア	644	24	66	50.0	10.27
中1国語基本スコア	595	10	72	49.6	10.36
中1国語応用スコア	595	29	66	49.5	10.14
中1国語スコア	595	12	72	49.6	10.37
中1数学基本スコア	596	21	67	49.5	10.44
中1数学応用スコア	596	36	82	49.8	9.95
中1数学スコア	596	22	71	49.5	10.38
中2国語基本スコア	576	10	70	49.8	10.09
中2国語応用スコア	576	36	72	49.8	9.88
中2国語スコア	576	13	72	49.8	10.04
中2数学基本スコア	575	25	65	49.7	10.06
中2数学応用スコア	575	39	71	49.7	9.95
中2数学スコア	575	28	68	49.7	10.03

以下、本報告書の中で、特に断りなく「スコア」と記述されていた場合は、この調整標準化スコアを意味するものとする。たとえば、「〇〇のような生徒では、中学 1 年生から中学 2 年生にかけて、国語スコアが向上している」という記述は、「〇〇のような生徒は、他の生徒と比べて国語の学力が向上しやすい」という意味である。

(須藤 康介)

4 調査結果の概要

本節では、小学 6 年時から中学 2 年時の 3 時点間で継続して調査している調査項目の変動を検討することを通じて、小 6・中 1・中 2 の 3 年間の基本的な変化の確認を行う。行動に関しては「行っている」「行っていない」、意識に関しては「あてはまる」「あてはまらない」の 2 値のカテゴリーで、生徒の意識や行動の変化を検討した。なお、すべてのクロス表を紹介すると煩雑になるので、各年度で質問項目を肯定している（行っている・あて

はまる) 生徒の割合を棒グラフで記載している。また、小学 6 年時の調査は、文部科学省 2014 年度「全国学力・学習状況調査」を用いている一方で、中学校以降はベネッセコーポレーションに調査の実施を委託しているため、同じことを訊いていても、両者で質問項目が若干異なっていることがある。したがって、変数名を紹介する際には、中学校以降の質問項目を基準とし、質問項目が異なる場合には () 内に小学 6 年時の質問項目を掲載している。

4.1 生活習慣に関する質問項目

まず、小学 6 年時から中学 2 年時までの生活習慣の変動について確認してみたい。小学 6 年時から中学 2 年時まで継続して調査している生活習慣に関する項目は、「朝食を毎日食べている」「夜決まった時間にねている」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の 4 つの質問項目である。それぞれの結果を示すと、図表序-4～序-7 のようになる。

図表序-4 朝食を毎日食べている（朝食を毎日食べていますか）

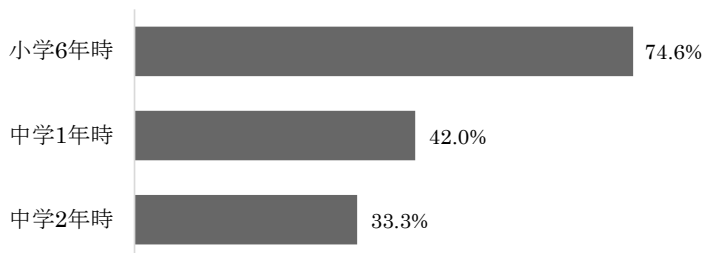


注1) N=540

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.000$ 中1→中2 : $p=0.291$

図表序-4 は「朝食を毎日食べている」について検討したものである。小学 6 年時には、95.7%の児童が朝食を毎日食べていた。しかしながら、中学 1 年時には 91.5%に統計的に有意な水準で減少している。中学 2 年時には肯定する割合が若干増えている。小学 6 年時から中学 2 年時にかけて、全体の 9 割の生徒が毎日朝食を食べていることが確認できる。

図表序-5 夜決まった時間にねている（毎日同じくらいの時刻に寝ていますか）



注1) N=540

注2) マクネマー検定 小6→中1: $p=0.000$ 中1→中2: $p=0.000$

図表序-5 は、「夜決まった時間にねている」について検討したものである。小学 6 年時には、74.6%の児童が毎日同じくらいの時刻に寝ていた。しかしながら、中学 1 年時には 42.0%に統計的に有意な水準で減少している。さらに、中学 2 年時には全体の 33.3%にまで減少しており、年齢を重ねるにつれて就寝時間が安定しなくなる傾向にある。

図表序-6 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



注1) N=532

注2) マクネマー検定 小6→中1: $p=0.396$ 中1→中2: $p=0.000$

図表序-6 は、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」について検討したものである。小学 6 年時には 78.0%の児童が家の人と学校での出来事について話をしていることが確認できる。中学 1 年時になると、全体の 80.1%が肯定するようになり、若干割合は増えているものの、統計的に有意な変化ではない。中学 2 年時には 71.2%に統計的に有意な水準で減少するが、依然として、全体の約 7 割の生徒が家の人と学校の出来事を話していることがわかる。

図表序-7 今住んでいる地域の行事に参加していますか



注1) N=521

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.823$ 中1→中2 : $p=0.000$

図表序-7 は、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」について検討したものである。小学 6 年時には 49.3%の児童が地域の行事に参加している一方、中学 1 年時でも 48.6%が地域の行事に参加をしており、統計的に有意な変化は確認できない。中学 2 年時には 39.0%に統計的に有意な水準で減少し、地域の行事に参加しなくなる傾向にある。

4.2 学校に関する質問項目

次に、小学 6 年時から中学 2 年時までの学校に関する質問項目の変動について確認してみたい。小学 6 年時と中学時で継続して調査している学校に関する質問項目は、「学校に行くのが楽しい」「学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の 3 つ項目である。それぞれの結果を以下に示すと、図表序-8～序-10 のようになる。

図表序-8 学校に行くのが楽しい（学校に行くのは楽しいと思いますか）



注1) N=541

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.406$ 中1→中2 : $p=0.008$

図表序-8 は、「学校に行くのが楽しい」について検討したものである。小学 6 年時において、学校が楽しいと感じているのは 82.1%であり、ほとんどの児童が、学校が楽しいと感じている。また、中学 1 年時においても全体の 80.2%が、学校が楽しいと感じており、

小学6年時と大きな差がない。中学2年時では、全体の74.7%に減少するが、依然として7割以上の生徒が学校を楽しんでいることが確認できる。

図表序-9 学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている
(友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか)



注1) N=533

注2) マクネマー検定 小6→中1: $p=0.000$ 中1→中2: $p=0.181$

図表序-9 は、「学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている」について検討したものである。確認すると、小学6年時には、友達の話や意見を最後まで聞くことができている児童は91.2%であり、全体の大部分を占めている。しかしながら、中学1年時には全体の78.8%に減少する。中学2年時には全体の75.6%の生徒が肯定しており、中学1年時と大きな変動は確認できない。

図表序-10 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



注1) N=526

注2) マクネマー検定 小6→中1: $p=0.054$ 中1→中2: $p=0.775$

図表序-10 は、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について検討したものである。小学6年時には96.0%の児童が肯定しており、中学1年時には93.4%とやや減少するが、中学2年時にも93.9%が肯定している。3年間を通じて全体の9割の生徒がいじめはどんな理由があってもいけないと考えていることが確認できる。

4.3 その他の意識に関する質問項目

最後に、小学6年時から中学2年時までの「意識」や「意欲」の変動について確認してみたい。小学6年時から中学2年時まで継続して調査している「意識」や「意欲」に関する項目は、「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標をもっていますか」「難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の4つの質問項目である。それぞれの結果を示すと、図表序-11～序-14 のようになる。

図表序-11 自分にはよいところがあると思いますか



注1) N=528

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.033$ 中1→中2 : $p=0.100$

図表序-11 は、「自分にはよいところがあると思いますか」について検討したものである。確認すると、小学6年時には76.5%の児童が自分にはよいところがあると感じている。しかしながら、中学1年時には71.6%に統計的に有意な水準で減少する。中学2年時にも71.8%が肯定しており、中学1年時とほとんど変わらない。小学6年時から若干減少するが、全体で7割以上の生徒が自分にはよいところがあると感じていることがわかる。

図表序-12 将来の夢や目標を持っていますか



注1) N=525

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.011$ 中1→中2 : $p=0.000$

図表序-12 は、「将来の夢や目標を持っていますか」について検討したものである。小学

6年時には84.6%の児童が将来の夢や目標を持っていた。しかしながら、中学1年時には79.2%に減少し、中学2年時には67.4%にまで減少する。小学6年時から中学2年時にかけて、将来の夢や目標を持たなくなる傾向にあることが確認できる。

図表序-13 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



注1) N=541

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.111$ 中1→中2 : $p=0.014$

図表序-13は、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」について検討したものである。小学6年時には95.2%の児童が、ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると感じている。中学1年時にも93.0%が肯定しており、統計的に有意な変化は確認できない。中学2年時には89.8%に減少するが、9割近くの生徒が3年間を通じて、ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると感じている。

図表序-14 難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる
(難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか)



注1) N=540

注2) マクネマー検定 小6→中1 : $p=0.002$ 中1→中2 : $p=0.094$

図表序-14は、「難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる」について検討したものである。小学6年時には、74.3%の児童が難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していることが確認できる。しかしながら、中学1年時には66.5%に統計的に有意な水準で

減少し、中学 2 年時には全体の 62.2%にまで減少する。全体として小学 6 年時から中学 2 年時の 3 年間にかけて、失敗を恐れないで挑戦しなくなる傾向にあることが確認できる。

4.4 調査結果の概要のまとめ

本節では、小学 6 年時から中学 2 年時までの継続質問項目を用いて、その変動を検討してきた。そこから明らかになったことは、3 年間で児童・生徒の意識や行動は大きく変化するということである。「夜決まった時間にねている」という生活面はもちろん、「将来の夢や目標を持っていますか」という意識面においても大きな変動が確認できた。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」のように 3 年間で大きく変化しないような意識もあったが、大筋で、行動面でも意識面でも小学 6 年時から子どもたちは変化しているといえる。今後もその変化を追跡していくことが求められる。

(豊永 耕平)

第1章 どのような教育方法が国語の学力を向上させるのか ——「授業内容の振り返り」活動に着目して——

中西啓喜（早稲田大学）

本章では、国語の学力に着目し、中1年生から2年生における学力スコアの変化のメカニズムについて分析した。教師によるどのような指導方法や取り組みが学力に対して効果的であるのかは、教育関係者にとっては大きな関心事である。しかしそれに関わらず、日本国内の学力研究では、こうした素朴な関心が十分に検証されてきたとはいいいにくい。本章では、特に国語で「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動に注目し、学力パネルデータ分析を行った。そして本章の分析からは、国語で「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という取り組みが、中1年生から2年生における学力スコアを向上させるという知見が得られた。

1 はじめに

戦後日本の教育社会学では、長らく学力の実証的分析の蓄積が不足してきたが（耳塚 2007）、一転して 2000 年代は「学力調査の時代」であった（荻谷・志水編 2004）。すなわち、2000 年代を通じて、研究者が独自の調査によって手に入れた学力データに加え、PISA（Programme for International Student Assessment）や TIMSS（Trends in International Mathematics and Science Study）データの分析から、学力と社会階層の関連が実証的に明らかにされ、そうした学力格差を克服する方略なども示されてきた（荻谷・志水編 2004、耳塚 2007、須藤 2013 など）。

その中には、学力の追跡的研究もあり、一度獲得した学力はその後に変化しにくく、学校教育の「効果」も限定的であることが明らかにされつつある（中西 2015）。しかし、学力の変化について学校教育の「効果」を検証した研究は日本では蓄積が少ない。そこで本研究では、国語の学力調査データを用いて、中学1年生から2年生への学力スコアの変化の要因を分析していく。結論を先取りすれば、本章では、国語の指導法として、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動に着目した分析を展開し、そうした取り組みが国語の学力を向上させることを示していく。

それでは、学力の改善に対し「効果的」な指導法や取り組みについて実証的に分析した先行研究をいくつか紹介しよう。まずは、平成 25 年度に文部科学省が実施した全国学力・学習状況調査のデータ分析をまとめたレポートである¹⁾。当該報告書の中で、浜野（2015）は、不利な家庭背景の児童生徒が多く在籍するにも関わらず、高い学力をマークしている学校の特色を分析している。

浜野が用いた方法は次の通りである。まず、学力（国語と算数／数学の A 問題、B 問題）

を従属変数とし、児童生徒の社会経済的地位を独立変数とした回帰分析を行い、残差を算出する。次に、最も残差の値が大きいほうから 30 校（教育効果の高い学校）と、値の小さいほうから 30 校（教育効果の低い学校）を選び出し、それぞれのグループ間での学力向上への取り組みや学校での指導の特色を検討している。つまり、統計的に見積もられる推定値（学力）を大きく上回っている学校と大きく下回っている学校を比較分析したということである。このような手続きによる分析の結果、国語と算数／数学の A 問題、B 問題の 4 つに対し、3 つ以上が該当した学力向上への取り組みや学校での指導のあり方を以下のようにまとめている。

小学 6 年生

- ・授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた
- ・国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った
- ・算数の指導として、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った
- ・学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた
- ・学級やグループで話し合う活動を授業などで行った
- ・算数の授業において、習熟度別の少人数指導を行うに当たって、1 つの学級を 2 つ以上の学習集団に分けた
- ・家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた（国・算共通）

中学 3 年生

- ・学級やグループで話し合う活動を授業などで行った
- ・数学の指導として補足的な学習の指導を行った
- ・教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている
- ・生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした
- ・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めた
- ・情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行った
- ・国語の指導として書く習慣を付ける授業を行った
- ・数学の指導として発展的な学習の指導を行った
- ・国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた
- ・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた

以上のように、浜野（2015）の設定した「効果的な学校」の特色はかなり多岐にわたる。とはいえ、これらの知見は、一時点の学力データ分析から得られたものに留まる。そのため、こうした取り組みを行っている学校ほど、学力の水準が高いことを表すに過ぎず、学

力の変化を表しているわけではない。

学力の変化の追跡的な研究には、山崎ら（2014）が沖縄県を対象に実施した「地方自治体の学力調査と結合したパネルデータを用いた学力の要因分析」および「小学校から中学校までの低学力層の学力の変化とその要因に関する研究～全国学力調査と地方自治体の学力調査を結合したパネルデータを用いた分析～」(代表：広島大学・山崎博敏)がある。この調査は、沖縄県の小学4年生（2007年）・6年生（2009年）・中学2年生（2011年）を対象として3時点で実施された学力パネル調査を用いている。実施教科は算数・数学と国語である。分析から得られた知見からは、学力を向上させる取り組みとして、「考えを引き出す指導」、「本を紹介し読み聞かせをした」、「国語の発展的な指導」、「数学の宿題を与える」などが示されている。

以上のような貴重な先行研究の知見を踏まえつつ、本調査データのオリジナリティを強調するならば、「毎年実施している学力の追跡データである」という点である。そこで、本章では中学1年生から2年生への学力の変化について、どのような教科担任の取り組みがポジティブな効果をもたらすのかを検証してみたい。

2 分析に用いる変数・手続き・分析手法

ここでは、本章の分析で用いる変数、手続き、分析手法について説明していく。

2.1 従属変数：国語学カスコアの変化について

本章では、データの制約上、国語の学カスコアのみを分析する。この調査プロジェクトにおける学力調査は、基本問題と応用問題、そしてそれらを総合したスコアの3つの国語の学力変数がある。本章では、これら3つすべてについて、中2の国語スコアから中1の国語スコアを引き算し、こうして算出したスコアを学力の変化として位置づけ、分析を展開していく。

2.2 教育効果：国語教師への調査

国語教師への質問紙調査は2016年2月頃に実施された。本調査票には、教師の性別、教師経験年数、クラスサイズ（学級の生徒数）といった教師についての基本的情報に加えて、次の国語の授業でどのようなことを行ったか、心がけをしたかについて質問している。

本章の分析では、特に「調査対象学級の国語授業で、今年度に次のことをどの程行いましたか」に対する回答として、「よく行った」「どちらかといえば行った」「どちらかといえば行っていない」「ほとんど行っていない」の4項目に対する回答と国語の学カスコアの変化に着目して分析していく。

2.3 統制変数：生徒の特性

生徒の特性として、性別や家庭の文化的要因を統制するために用いる変数は次の通りである。「あなたの家には、本（マンガ、雑誌、学習参考書以外）はどれくらいありますか」という質問項目に対する回答結果も用いる。分析に際しては、ほとんどない＝0、20 冊くらい＝20、50 冊くらい＝50、100 冊くらい＝100、200 冊くらい＝200、300 冊くらい＝300、400 冊以上＝400 として得点化した。

性別については、男子＝1、女子＝0 とした「男子ダミー」を用いる。

2.4 分析戦略：マルチレベル分析

本章では、マルチレベル分析という分析手法を用いる。マルチレベル分析は、「階層的なデータ」を適切に分析するための手法である。階層的なデータとは、例えば、「複数の国の人から集めたデータ」、「学校ごとに生徒をサンプリングしたデータ」、「同じ子どもの身長を追跡的に測定したデータ」などである。集団単位で収集されたデータでの相関と、個人単位で収集されたデータでの相関はしばしば異なることが知られており、これは「生態学的誤謬（Ecological Fallacy）」と呼ばれる（Robinson 1950）。そこで、マルチレベルモデルを用いることによって生態学的誤謬を回避し、階層的データをより適切に分析することが可能となる²⁾（清水 2014、p.1-2）。

3 分析1：国語の指導法についての実態分析

学力への効果を分析する前に、ここでは国語の指導法についての実態を明らかにしておく。図表 1-1 には、国語の教科指導で実際に行ったかどうかについての回答結果のパーセントを示している³⁾。

本調査で準備した質問項目に対して、「よく行った＋どちらかといえば行った」の割合が高かった項目は、「漢字・語句など基礎的な事項を暗記させた」、「授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた」、「学習規律（私語をしない、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した」、「学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をした」、「学級やグループで話し合う活動を行った」、「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした」、「家庭学習の課題（宿題）を与えた」の7項目であった。

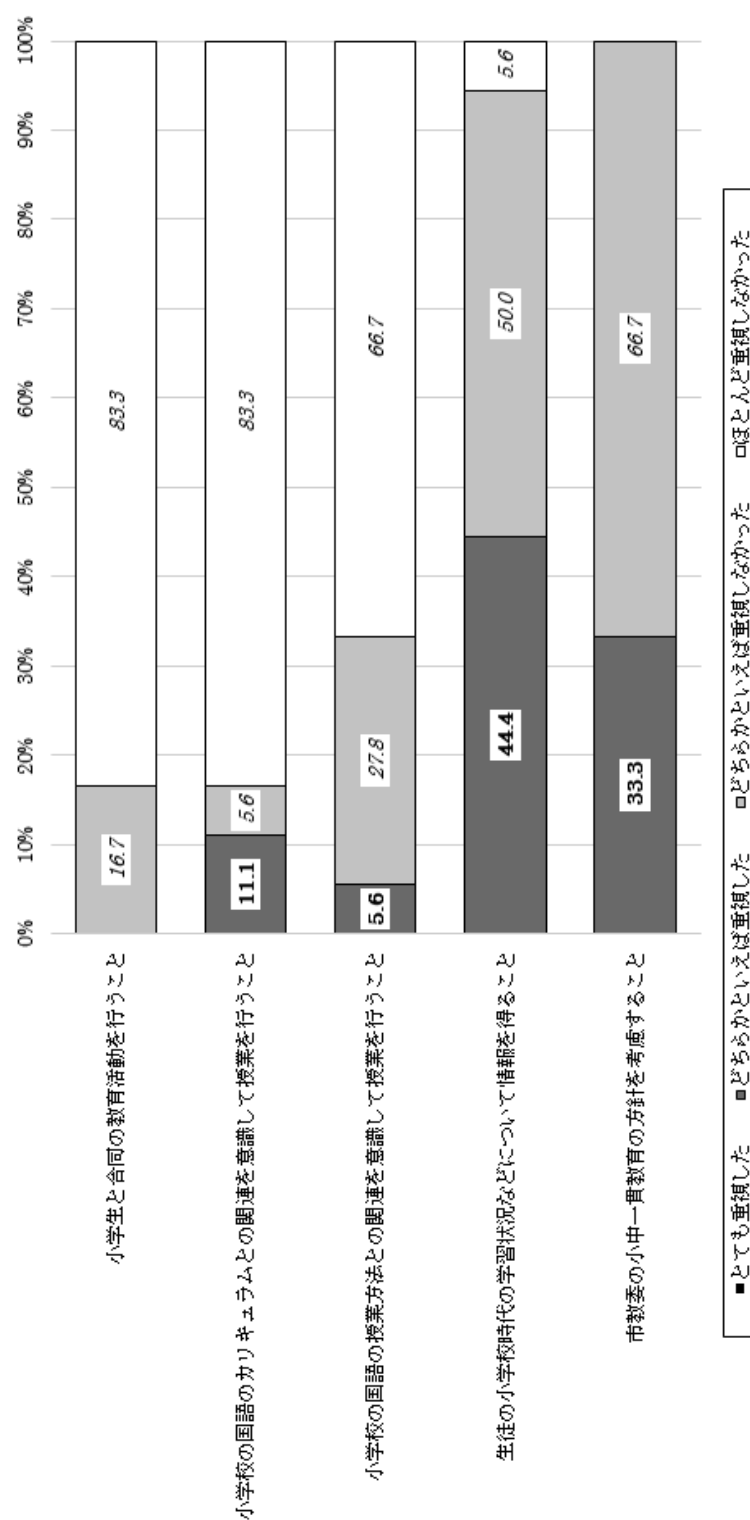
その一方で、「どちらかといえば行っていない＋ほとんど行っていない」と回答した割合が高かった項目は、「新聞を活用した授業を行った」、「本やインターネットを使った資料の調べ方が身につくよう指導をした」、「資料を使って発表ができるよう指導をした」の3項目であった。

そして、今回準備した質問項目のうち唯一行っている教師と行っていない教師の割合が分かれたのは、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」であっ

た。具体的な数値を記載すると、よく行った＝11.1%、どちらかといえば行った＝22.2%、どちらかといえば行っていない＝38.9%、ほとんど行っていない＝27.8%となっているように、回答にバラつきが見られる。

次に、国語の指導に対して心がけたことについては、「小学生と合同の教育活動を行うこと」、「小学校の国語のカリキュラムとの関連を意識して授業を行うこと」、「小学校の国語の授業方法との関連を意識して授業を行うこと」、「生徒の小学校時代の学習状況などについて情報を得ること」、「市教委の小中一貫教育の方針を考慮すること」の5つを準備した。結果は図表 1-2 に示したが、「どちらかといえば重視しなかった」と「ほとんど重視しなかった」の割合が高いことがわかる。比較的には、「生徒の小学校時代の学習状況などについて情報を得ること」と「市教委の小中一貫教育の方針を考慮すること」について「どちらかといえば重視した」の割合が高いものの、全項目に対して「とても重視した」と回答した教師は一人もいなかった。

図表 1-2 国語の指導の心がけ (N=18)



4 分析 2:「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」国語の指導方法が学力の変化に与える効果分析

4.1 教育実践による国語学力スコアの変化

それでは、国語についての教育実践が実際に学力を向上させるのかについて分析している。用いる項目は、最も教師の回答にバラつきがみられた「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」とする。

なお、ここでの分析では、国語学力の変化のスコアをクラス（学級）内での平均値算出し、クラス内平均値と「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」の回答結果との関連を示す。

分析の結果は、図表 1-3 に示した通りである。表中の **Mean** が学力スコア変化の平均値を表しており、数値がプラスであればスコアの上昇、スコアがマイナスであればスコアの低下を意味している。図表 1-3 を確認するとわかるように、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」に対して「よく行った」と回答している教師のクラスほど学力スコアが向上しており、「ほとんど行っていない」と回答した教師のクラスほど学力スコアが低下している。分散分析による検定を行った結果、**F** 値を確認しても学力には統計的に有意差があることがわかる。

図表 1-3 国語において「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」かどうかによる国語スコアの変化 (N=18)

	Mean	S.D.	Min.	Max.	F値	有意確率
基本問題のスコア差						
よく行った (N=2)	0.16	0.11	0.08	0.24	3.933	0.032 *
どちらかといえば行った (N=4)	0.09	0.13	-0.03	0.23		
どちらかといえば行っていない (N=7)	0.04	0.15	-0.10	0.26		
ほとんど行っていない (N=5)	-0.21	0.21	-0.42	0.01		
応用問題のスコア差						
よく行った (N=2)	0.26	0.22	0.10	0.42	4.155	0.027 *
どちらかといえば行った (N=4)	0.14	0.19	-0.13	0.30		
どちらかといえば行っていない (N=7)	0.01	0.13	-0.27	0.14		
ほとんど行っていない (N=5)	-0.19	0.21	-0.50	0.05		
全体のスコア差						
よく行った (N=2)	0.22	0.16	0.11	0.33	6.890	0.004 **
どちらかといえば行った (N=4)	0.12	0.11	0.03	0.27		
どちらかといえば行っていない (N=7)	0.03	0.12	-0.08	0.22		
ほとんど行っていない (N=5)	-0.22	0.18	-0.40	0.00		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 + p<0.1

4.2 マルチレベル分析

以上の分析では、国語において「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動を行うことが学力スコアを向上させることが示唆された。それでは本章の最後に、マルチレベル分析を用いた教育効果の検証を行う⁴⁾。

そしてマルチレベル分析の結果が図表 1-4 である。レベル 1 が生徒の性別や家庭の本の冊数による効果を表し、レベル 2 が教師の特性や教育実践の効果を表している。まずレベル 1 の変数の効果を見ると、生徒の性別も家庭の本の冊数も統計的に有意ではない。つまり、性別や家庭の本の冊数は学力スコアの変化には影響がないということである⁵⁾。

続いて、レベル 2 の変数の効果を確認すると、教師の性別である男性ダミーがマイナスで有意である。つまり、女性の教師が担当しているクラスほど学力スコアが上昇するということを意味している。また教師の経験年数がマイナスに 10%水準で有意傾向があるため、若い教師ほど学力スコアが上昇しやすいことが示唆される。最後に、国語において「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動を行うことの効果は 0.1%水準でプラスに有意である。つまり、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れ」ている国語教師が担当しているクラスほど学力スコアが上昇するということである。

以上より、国語の学力スコアの変化について、教師の教育実践がポジティブな影響を持つことを明らかにすることができた。

図表 1-4 小 6 から中 1 の国語スコアの変化に対するマルチレベル分析 (N=535)

<i>Fixed Effect</i>	Coef.	S.E.	<i>p</i> -value
レベル1の切片			
生徒の性別 (男子ダミー)	-0.055	0.065	0.403
家庭の本の冊数	0.000	0.000	0.355
レベル2の切片			
教師の性別 (男性ダミー)	-0.116	0.049	0.034 *
教師経験年数	-0.004	0.002	0.097 +
クラスサイズ	0.000	0.004	0.994
学習振り返る活動	0.153	0.028	0.000 ***
<i>Random Effect</i>	標準偏差	分散成分	<i>p</i> -value
χ^2 (<i>d.f.</i> =13)	17.395		0.181
INTRCPT1, u_0	0.074	0.005	
level-1, r	0.702	0.493	

*** $p < 0.001$ ** $p < 0.01$ * $p < 0.05$ + $p < 0.1$

5 まとめ

本章では、どのような国語の指導法が学力を向上させるのかについて、パネルデータを用いて分析を行ってきた。これまでの分析から得られた知見は次の点に集約される。すなわち、国語の担当教師が「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動を行っているクラスほど、中学1年生から2年生にかけての学力スコアが向上するということである。

すでに図表1-および図表1-2で実際に行った国語の指導法を確認したように、基本的に国語教師は、一部を除き、どの指導法もほとんどよく行っていることが示された。その中で「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」という活動を行っている教師とそうではない教師が比較的に分散していた。本稿では、授業の振り返り活動に対する取り組みの分散が、結果的には国語学力を向上させるか否かに関わっていることが明らかになったのである。

加えて、浜野（2015）が列挙した学校の効果的な取り組みの中にも「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」が含まれている点にも注目したい。こうした複数の分析から類似の知見が得られたということは、授業での振り返りの活動は重要であることが想定されよう。

以上のような知見が得られた一方で、残された課題としては、本章の知見がモノグラフデータの分析に過ぎないという点が挙げられるだろう。例えば、女性教師ほど国語学カスコアが向上したということは、単純に解釈すれば「女性教師ほど国語の指導が上手である」ということになるわけだが、この点は今後も分析を重ねる必要がある。

また、教師の経験年数が短いほど学力が向上するという傾向についても解釈が難しい。シンプルに若い教師の方が「良い」授業を行っているということか。あるいは若い教師の方が生徒との年齢が近いために、良好な教師・生徒間の関係を形成しやすく、結果として「良い」授業を行えている可能性もある。いずれにしても推測の域を出ないため、今後もこうした研究を蓄積していくことが求められよう。

[注]

- 1) 平成25年度には、例外的にナショナルサンプリングによる保護者調査が実施され、この分析結果はお茶の水女子大学（代表：耳塚寛明）によってまとめている。詳細は次のURLを参照されたい。

http://www.nier.go.jp/13chousakekkahoukoku/kannren_chousa/hogosya_chousa.html, 2016年12月31日取得。

- 2) 分析に用いるソフトウェアは、HLM ver.7 (Raudenbush et. al. 2011) である。
- 3) 分析ケースは、分析に使用するすべての変数について情報が揃っているケースのみを対象とした。
- 4) マルチレベル分析は結果が収束しない場合があるため、ここでのマルチレベル分析では国語の総合したスコアのみを用いる。なお、分析に用いる記述統計量は図表1-5に示した通りである。

図表 1-5 マルチレベル分析に使用する変数の記述統計量

	N	MEAN	S.D.	MIN.	MAX.
レベル1					
国語基本スコアの差	535	0.00	0.80	-3.31	2.20
国語応用スコアの差	535	-0.01	1.04	-3.05	2.83
国語スコアの差	535	0.00	0.72	-2.90	2.10
生徒の性別（男子ダミー）	535	0.54	0.50	0.00	1.00
家庭の本の冊数	535	82.43	103.78	0.00	400.00
レベル2					
教師の性別（男性ダミー）	18	0.72	0.46	0.00	1.00
教員経験年数	18	8.83	10.36	1.00	33.00
クラスサイズ	18	34.28	4.99	16.00	39.00
学習振り返る活動	18	2.17	0.99	1.00	4.00

- 5) ここでの分析結果が意味するのは、性別や家庭の本の冊数が学力スコアの変化には統計的に有意ではないということであり、学力スコアの水準に影響がないということではない、ということの意味するものではないことに注意されたい。

[参考文献]

- 浜野隆, 2015, 「『教育効果の高い学校』と『教育効果の低い学校』の比較分析」お茶の水女子大学『平成 26 年度 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究（効果的な指導方法に資する調査研究）』pp.38-69。
- 荻谷剛彦・志水宏吉編, 2004, 『学力の社会学—調査が示す学力の変化と学習の課題』岩波書店。
- 耳塚寛明, 2007, 「小学校学力格差に挑む—だれが学力を獲得するのか」『教育社会学研究』第 80 集, pp.23-39。
- 中西啓喜, 2015, 「パネルデータを用いた学力格差の変化についての研究」『教育学研究』第 82 巻第 4 号, pp.583-593。
- Raudenbush Stephen, Anthony Brik, Yuk Fai Cheong, Richard Congdon, and Mathilda du Toit, 2011, *HLM7: Hierarchical Linear and Nonlinear Modeling*, Scientific Software International.
- Robinson William S., 1950, “Ecological correlations and the behavior of individuals” *American Sociological Review* Vol.15 pp.351-57.
- 清水裕士, 2014, 「個人と集団のマルチレベル分析」ナカニシヤ出版。
- 須藤康介, 2013, 『学校のエデュケーションと階層』東洋館出版社。
- 山崎博敏・廣瀬等・西本裕輝編, 2014, 『沖縄の学力追跡分析—学力向上の要因と指導法』協同出版。

第2章 学力・レリバンス意識・進路に関する意識と進路希望 ——中1から中2にかけての進学希望学科の変化に着目して——

小黒恵 （東京大学大学院）

本章では、進学希望学科に着目し、中1から中2にかけての進学希望学科の変化と、学力・レリバンス意識・進路に関する意識との関連について検証した。

分析の結果、まず進学希望学科について、中2時点でも約半分が学科未定となっている。また、全体でみると2時点で希望学科の分布はほとんど変化がないようにみえるが、個人の変化に着目すると、進学希望学科はかなり変動していることが明らかになった。中1・中2の段階では、学科選択に関する進路希望は未だかなり不安定だといえるだろう。学力・レリバンス意識・進路に関する意識と進学希望学科の変化との関連については、普通科が高校階層構造上位に位置することを反映していると考えられる関連や、将来について具体的に考えていると希望学科を持ちやすいなどの関連がみられた。今後、中3時点のデータ蓄積を待ち、学科選択の過程や、本稿で検討した変数に関する因果推論を試みることが残された課題である。

1 問題関心

本稿の目的は、中学生の進路希望、特に高校でどの学科に進学したいかという進学希望学科に着目し、その中1時点から中2時点にかけての変化、ならびに生徒の学力やレリバンス意識、ならびに進路に関する意識との関連を明らかにすることである。

この問題に着目する意義は、大きく2つある。まず1つ目は、高校の多様化・個性化に伴い、中学段階での進路選択が複雑になりつつあるなかで、中学生が学科選択を行う過程とそこに関連する要因について、改めて検証する必要があるということだ。近年、1990年代初頭以降の生徒数の減少により、全国的に高校再編が進められ、耳塚・樋田ら（1996）が指摘したような高校の多様化・個性化はさらに進行してきている。こうした高校の多様化・個性化において、その主たる目的とされているのは、中学生の多様なニーズに応えることや、幅広い進路選択を可能にすることである（例えば、新潟県教育委員会（2016））。しかしながら、どのような生徒が、どのような契機で学科を選択していくのかというプロセスは必ずしも十分に検証されていない。ゆえに今一度、生徒の学科選択のプロセスと関連する要素について実証的な検証を行うことも重要であると考えられる。例えば、高校階層構造において専門学科は下位に位置する（竹内 1995）などの学科の位置づけから、学力は進学希望学科と関連している可能性がある。また、高校やその後の学校段階までの進学、ならびに将来の進路に関する意識との関連も考えられる。

2つ目は、専門教育とレリバンスとの関連について、専門教育を受けられる学科の選択とレリバンス意識との、中学校段階における関連を検討する必要があるという点である。本田

(2009) やシム (2009) は、専門高校の卒業生や生徒のレリバンス認知が高いことを実証的に示し、専門高校における専門性の高い教育が生徒のレリバンス認知を高めていると指摘している。しかし、そもそもそれ以前、すなわち中学生の学科選択の段階において、生徒のレリバンス意識と学科選択がどのように関連しているのかについては検証が必要である。

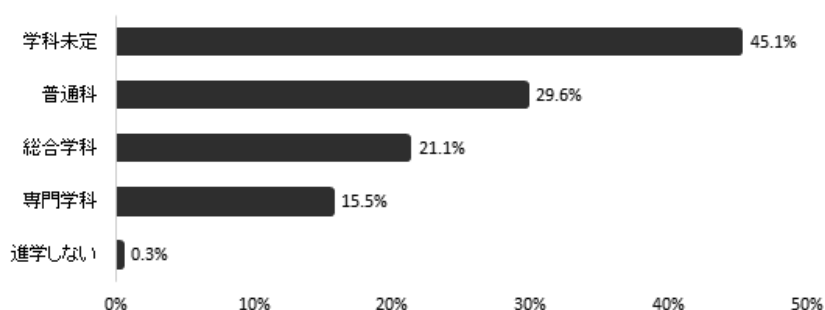
以上の関心から、本稿では、進学希望学科の変化と、中 2 時点における学力・レリバンス意識・進路に関する意識との関連を検討していくこととする。

2 進学希望学科の分布と変化

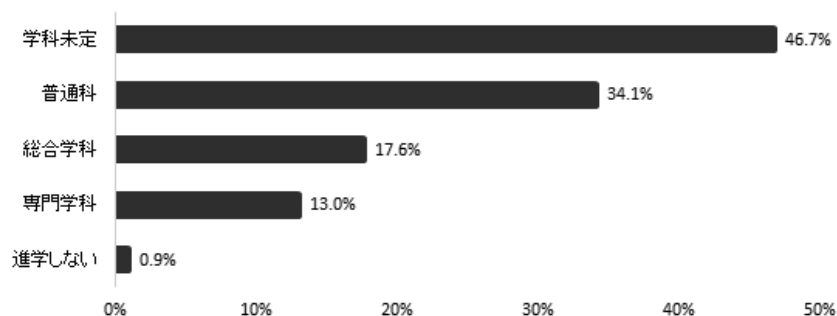
2.1 2 時点における分布

まず、本稿で主に着目する変数である進学希望学科について、「あなたが高校で進学したい学科は、次のうちどれですか。候補として少しでも考えている学科すべてに○をつけてください」という項目を用い、中 1 時点、中 2 時点での分布をそれぞれ確認してみると、順に以下の図表 2-1、図表 2-2 のようになる。

図表 2-1 中 1 進学希望学科の単純集計（多重回答）



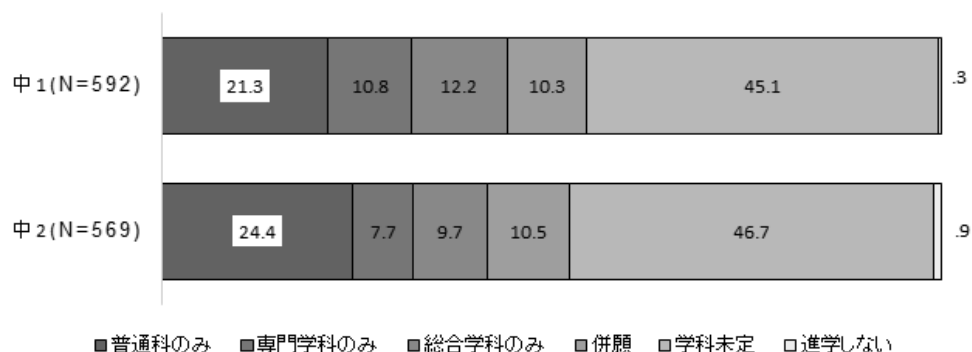
図表 2-2 中 2 進学希望学科の単純集計（多重回答）



2つの図表を比較してみると、中1時点、中2時点ともに、多いほうから順に「学科未定」、「普通科」、「総合学科」、「専門学科」、「進学しない」となっている。何らかの進学希望学科があるケースについてみれば、普通科を選択する割合は5ポイントほど増加し、総合学科と専門学科はそれぞれやや減少している。全体的に、各項目が選択されている割合は、中1時点から中2時点にかけてやや変化はみられるものの、あまり大きくは変動していないといえるだろう。

上記の分布は設問に対する多重回答をそのまま集計したものであるため、中1、中2の各時点について、個人の重複がないよう進学希望学科を6類型に分類したものが、以下の図表2-3である。なお、6類型の作成にあたっては、単純化をはかり、細分化によって分析に耐えない類型が生じることを避けるため、2つ以上の複数の学科を検討しているケースについては「併願」として統合し、「普通科のみ」「専門学科のみ」「総合学科のみ」「併願」「学科未定」「進学しない」の6つとした。

図表 2-3 中1・中2各時点の進学希望学科類型



図表2-3を見てみると、基本的に進学希望学科の分布は中1から中2であまり大きく変わっていない。「学科未定」は1.5ポイントほど微増しているがほぼ変化がなく、「併願」も0.2ポイント差とほとんど変わらない。やや差が見られるものについては、「普通科のみ」が3ポイントほど増加し、「専門学科のみ」、「総合学科のみ」はそれぞれ3ポイントほど減少している。興味深いのは、中1時点から中2時点になっても、進学希望学科は未定という生徒が半数近くを占めていることである。

2.2 中1時点から中2時点にかけての変化

続いて、前項で示した中1、中2の各時点における進学希望学科の分布について、2時点間の変化がどのようになっているかをみていく。次ページの図表2-4は、中1時点の進学希望を独立変数、中2時点の進学希望を従属変数としたクロス集計表である。

図表 2-4 中 1 進学希望学科と中 2 進学希望学科の関係

		中2進学希望学科					合計	有効度数
		普通科のみ	専門学科のみ	総合学科のみ	併願	学科未定		
中1進学 希望学科	普通科のみ	48.7%	5.0%	0.8%	10.9%	34.5%	100.0%	(119)
	専門学科のみ	21.7%	28.3%	6.7%	15.0%	28.3%	100.0%	(60)
	総合学科のみ	13.8%	9.2%	40.0%	13.8%	23.1%	100.0%	(65)
	併願	26.3%	5.3%	7.0%	22.8%	38.6%	100.0%	(57)
	学科未定	15.9%	3.3%	8.2%	6.5%	66.1%	100.0%	(245)
合計		24.5%	7.3%	10.1%	11.0%	47.1%	100.0%	(546)
McNemar-Bowker検定		p=0.036						

中 1 時点から中 2 時点にかけて、上述のように進学希望学科の全体的な分布はほぼ変化がなかったが、図表 2-4 から、個人の変化という点で見れば、進学希望学科はかなり変動していることがわかる。例えば、中 1 時点で普通科のみを希望していた生徒のうち、中 2 時点でも同様に普通科のみを希望している生徒は約 48%と半数に満たない。同様に見ていくと、中 1 時点から中 2 時点にかけて「専門学科のみ」で変化のない生徒は約 28%と 3 割に満たず、「総合学科のみ」、「併願」で変化のない生徒は双方とも約 39%と 4 割に満たない。

先述したように、中 2 時点になっても進学したい学科が 1 つも決まっていない生徒は半数近くを占め、中 1 時点から減少するどころか微増している。このことに加え、全体の分布で見ればあまり変化がないが、個人内での変化に着目すると、中 1 時点から中 2 時点にかけて進路希望は一貫しておらず変動が大きいということは、興味深い知見である。

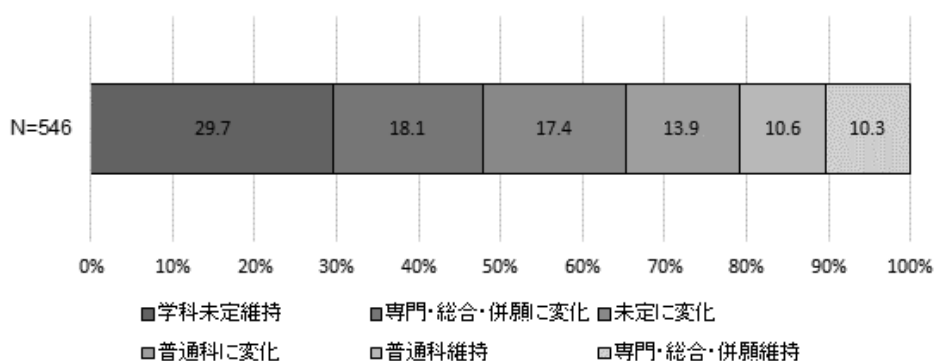
一方、「学科未定」については、中 1 時点で進学希望学科が未定であった生徒のうち、中 2 時点でも進学したい学科が特に決まっていない生徒は約 66%と 7 割弱を占めている。その他、すなわち中 1 時点で何らかの具体的に進学を検討している学科があったケースについて、各タイプにおける分布を見てみると、中 1 時点で「普通科のみ」「専門学科のみ」「総合学科のみ」「併願」を希望しており、中 2 にかけて進学希望が変化しているケースでは、中 2 時点で「学科未定」になっているケースが多く、順に約 34%、約 28%、約 22%、約 39%である。

つまり、全般的に中 1 から中 2 の段階では、各時点での分布、ならびに時点間の変化ともに、生徒の進路希望は未だ不安定であるということである。今後、中 3 になり、高校進学が近づくとともに、いずれかの時点で進路希望が一気に固まってくることが予想されるため、来年度の追跡調査が待たれる。

続いて、この中 1 から中 2 にかけての進学希望学科の変化について、簡易化のためカテゴリを統合しつつ、「学科未定維持」「専門・総合・併願に変化」「未定に変化」「普通科に変化」「普通科維持」「専門・総合・併願維持」の 6 つの類型を作成²⁾した。分布は次の図表 2-5 に示したとおりである。図表 2-5 をみてみると、「学科未定維持」すなわち 2 時点で共通して進学したい学科が未定である層が、約 30%と最も大きな割合を占める。中 1 から

中2にかけて変化があった3つの類型がこれに続き、中2時点で専門学科のみ・総合学科のみ・複数の学科併願のいずれかに変化した「専門・総合・併願に変化」、ならびに中1時点では何らかの希望があったが中2時点では特に進学を希望する学科がなくなった「未定に変化」がともに約18%を占めている。なお、中2時点で普通科のみの希望に変化した「普通科に変化」は約14%となっている。既に述べたように、「未定」以外の進学希望学科を中1時点から中2時点まで変わらず保っている層は最も少なく、2時点にわたって普通科のみ希望で一貫している層、ならびに専門学科のみ・総合学科のみ・複数学科併願のいずれかで一貫している層が、ともに10%程度となっている。今後の分析では、進学希望学科についてはこの変化類型を用いることとする。

図表 2-5 中1時点から中2時点にかけての進学希望学科の変化



ここで、次節以降の分析に用いる変数の一覧、ならびにそれらの設定に際して行った操作について、以下の図表 2-6 に示しておく。なお、第1節で述べたように、「進路希望変化」との関連を検討する変数については、全て中2時点のものを用いている。

図表 2-6 変数の設定

進路希望変化	「あなたが高校で進学したい学科は、次のうちどれですか。候補として少しでも考えている学科すべてに○をつけてください」という項目を用い、中1、中2それぞれの時点について「普通科のみ」「専門学科のみ」「総合学科のみ」「併願(2つ以上の学科を選択している層)」「学科未定」の5タイプに分類した上で、中1時点から中2時点への変化を「普通科維持」「専門・総合・併願維持」「学科未定維持」「普通科に変化」「専門・総合・併願に変化」「学科未定に変化」の6つの類型に分類した。なお、「高校には進学しない」は中1時点、中2時点ともに数名しか存在せず、分析に耐えないため分析から除外した。
--------	---

国語スコア	国語スコアを、なるべく度数が均等になるように三分割し、「高」「中」「低」とした。
数学スコア	数学スコアを、なるべく度数が均等になるように三分割し、「高」「中」「低」とした。
主観的成績	「あなたは学年の中でどれくらい勉強ができるほうだと思いますか」について、「とてもよくできる」「よくできる」を「上」、「普通」を「中」、「あまりできない」「まったくできない」を「下」とした。
主観的 国語成績	「あなたは学年の中でどれくらい国語の勉強ができるほうだと思いますか」について、「とてもよくできる」「よくできる」を「上」、「普通」を「中」、「あまりできない」「まったくできない」を「下」とした。
主観的 数学成績	「あなたは学年の中でどれくらい数学の勉強ができるほうだと思いますか」について、「とてもよくできる」「よくできる」を「上」、「普通」を「中」、「あまりできない」「まったくできない」を「下」とした。
高校の勉強 不安	「高校に進学したら、勉強についていけるかどうか不安だ」について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を「あてはまらない」とした。
レリバンス意識	「高校で仕事に直接役立つことを学びたい」について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を「あてはまらない」とした。
興味を活かせる 仕事	「将来、自分の興味・関心をいかせる仕事につきたい」について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を「あてはまらない」とした。
いい学校志向	「少しでも学力の高い学校へ進学したい」について、「とてもあてはまる」「まああてはまる」を「あてはまる」、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を「あてはまらない」とした。
希望最終学歴	「あなたは将来、どの学校まで進みたいですか」について、サンプルサイズを考慮して「四年制大学まで」と「大学院まで」を統合し、「高校まで」「専門学校・各種学校まで」「短期大学まで」「四大・大学院まで」の4つに分類した。
将来の夢や 目標	「将来の夢や目標を持っている」について、「とてもあてはまる」「まああてはまる」を「持っている」、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を「持っていない」とした。
将来や進路に ついて話す	「将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする」について、「とてもあてはまる」「まああてはまる」を「あてはまる」、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を「あてはまらない」とした。

3 学力、レリバンス意識、進路に関する意識と進学希望学科の変化

本節では、第2節で検討した中1時点から中2時点にかけての進学希望学科の変化を従属変数とし、これに関連すると考えられる中2時点の学力・レリバンス意識・ならびに進路

に関する意識との関係について検証を行う。

ただし、ここで検討しているのはあくまでもこれらの変数と進学希望学科の変化との関係であり、因果推論が可能になるものではないという点には注意が必要である。

3.1 学力と進学希望学科の変化

まず、学力と進学希望学科の変化との関係について検討する。独立変数である学力については、まず、図表 2-6 に示したとおり 3 段階に分類した国語スコア・数学スコア、および総合的な学力に対する自己認知を表す主観的成績、国語や数学の学力に対する自己認知である主観的国語成績、主観的数学成績を用いる。また、やや異質ではあるが、自らの学力に対する認識の一環として、また高校では学科によって普通科目の学習のウェイトが異なることから学科選択に関係するのではないかと考え、高校の勉強についていけるかどうか不安だという意識との関係についても検討する。

次の図表 2-7、図表 2-8 は、それぞれ国語スコア、数学スコアと進学希望学科との関係をみたクロス集計表である。

図表 2-7 国語スコアと進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
国語スコア	高	15.4%	8.7%	31.8%	15.9%	17.4%	10.8%	(187)
	中	7.3%	11.6%	29.3%	14.6%	19.5%	17.7%	(164)
	低	8.6%	10.7%	27.8%	11.2%	17.6%	24.1%	(195)
合計		10.6%	10.3%	29.7%	13.9%	18.1%	17.4%	(546)
独立性のカイ二乗検定					p=0.035			

図表 2-8 数学スコアと進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
数学スコア	高	17.3%	9.1%	26.9%	18.3%	16.8%	11.7%	(158)
	中	7.4%	11.1%	35.8%	12.1%	20.5%	13.2%	(190)
	低	6.3%	10.8%	25.9%	10.1%	17.1%	29.7%	(197)
合計		10.6%	10.3%	29.7%	13.8%	18.2%	17.4%	(545)
独立性のカイ二乗検定					p=0.000			

国語スコア・数学スコアと進学希望学科の変化との関連をみると、国語は 5%水準、数学は 0.1%水準で統計的に有意な関連があった。「普通科維持」については、国語・数学とも、スコアが高い層はスコア中・低層と比較して普通科のみの希望を維持しやすい。「普通科に変化」についても、国語スコアのほうは差が小さいが、国語・数学スコアとも、スコアが高い層で普通科のみの希望に変化している傾向にあるようだ。一般に、高校階層構

造で上位に位置する高校は普通科が多いため、成績上位層は一貫して普通科のみ検討しやすくなっていると考えられる。「専門・総合・併願維持」については、どちらもスコアが高い層に比べて中・低層でやや多くなっているが、差は小さい。「未定維持」については、国語スコアではスコアが高い層でわずかに多いが差は大きいものではなく、数学スコアでは中スコア層で多くなっているなど、全体にはっきりした傾向があるとはいえないようだ。「専門・総合・併願に変化」については、数学・国語とも、スコアが中程度の層で多くなっている。

続いて、自分が学年の中でどの程度勉強ができるほうだと認識しているか、という主観的成績と、進学希望学科の変化との関係について検討する。勉強全般における主観的成績と進学希望学科の変化との関係をみたクロス集計表が以下の図表 2-9、国語の主観的成績との関係、数学の主観的成績との関係をあらわしたクロス集計表が順に図表 2-10、2-11 である。

図表 2-9 主観的成績と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
主観的成績	できる	22.1%	3.9%	27.3%	19.5%	11.7%	15.6%	(77)
	普通	11.6%	8.1%	31.4%	14.3%	20.9%	13.6%	(258)
	できない	5.3%	15.4%	27.9%	11.5%	16.8%	23.1%	(208)
合計		10.6%	10.3%	29.7%	13.9%	18.1%	17.4%	(543)
独立性のカイ二乗検定					p=0.000			

図表 2-10 主観的国語成績と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
主観的 国語成績	できる	11.5%	1.3%	28.2%	20.5%	20.5%	17.9%	(75)
	普通	12.1%	10.6%	32.8%	13.6%	15.8%	15.1%	(265)
	できない	8.5%	13.5%	26.0%	12.0%	20.0%	20.0%	(200)
合計		10.7%	10.3%	29.7%	14.0%	18.0%	17.3%	(543)
独立性のカイ二乗検定					p=0.066			

図表 2-11 主観的数学成績と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
主観的 数学成績	できる	21.8%	6.7%	27.7%	21.0%	10.1%	12.6%	(119)
	普通	7.7%	8.7%	31.4%	13.5%	21.3%	17.4%	(207)
	できない	7.3%	13.8%	28.9%	10.6%	19.3%	20.2%	(218)
合計		10.7%	10.3%	29.6%	14.0%	18.0%	17.5%	(544)
独立性のカイ二乗検定					p=0.000			

主観的成績、主観的数学成績は0.1%水準で、主観的国語成績は10%水準ではあるが、それぞれ進学希望学科の変化と統計的に有意な関連がみとめられた。「普通科維持」については、主観的成績、主観的数学成績、主観的国語成績とも、勉強ができるほうだという自己認知を持っている層で多くなっており、図表2-7、2-8で検討した数学スコア・国語スコアとの関係と類似の結果となっている。これは「普通科に変化」に関しても同様である。「専門・総合・併願維持」については、主観的成績、主観的数学成績、主観的国語成績のいずれに関しても、勉強ができないほうだという自己認知を持っている層が多い。これは、傾向としては数学スコア・国語スコアと進学希望学科変化との関係において見られたものと同様であるが、数学スコア・国語スコアとの関係では差が2～3ポイントとほとんどなかったのに対し、主観的成績との関係においてはより差が大きくなっている。主観的成績・主観的国語成績との関係では、主観的成績が「できる」と「できない」との差は12～13ポイント程度、主観的数学成績との関係では7ポイント程度である。これは主観的成績が高い層で多い「普通科維持」や「普通科に変化」と対照的な結果であり、専門学科や総合学科が普通科高校と比較すると高校階層構造において相対的に下位に位置することと関係していると考えられる。「未定維持」については、主観的成績・主観的国語成績・主観的数学成績のいずれも成績が普通であるという認識を持っている層で多くなっており、先述の国語スコア・数学スコアとの関連もあわせ、特に成績不振者がずっと希望学科を決められないなどといった傾向があるわけではないといえるだろう。「専門・総合・併願に変化」については、主観的数学成績との関連においては、数学ができると感じている層と比較して、普通・できないと感じている層で多くなっているが、主観的成績・主観的国語成績については一貫した傾向は見られない。

成績とは異なるが、勉強に関して、高校での勉強についていけるかどうか不安だという意識と進学希望学科の変化との関連について検討したものが以下の図表2-12である。これについては、統計的に有意な関連はみとめられなかった。

図表 2-12 高校の勉強不安と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
高校の	あてはまる	10.6%	10.8%	28.9%	13.8%	18.2%	17.8%	(501)
勉強不安	あてはまらない	11.4%	4.5%	36.4%	15.9%	18.2%	13.6%	(44)
合計		10.6%	10.3%	29.5%	13.9%	18.2%	17.4%	(545)
独立性のカイ二乗検定		p=0.725						

3.2 レリバンス意識と進学希望学科の変化

続いて、レリバンス意識や仕事に関する意識と進学希望学科の変化との関連について検討する。次の図表2-13、2-14は、それぞれ高校で仕事に直接役立つことを学びたいという

レリバンス意識、ならびに自分の興味や関心をいかした仕事に就きたいという意識と、進学希望学科の変化との関連をみたクロス集計表である。

これらの図表によると、中 2 段階でのレリバンス、ならびに仕事に関する意識と中 1 時点から中 2 時点にかけての進学希望学科の変化との間には、統計的に有意な関連はみとめられなかった。ただし、進学希望学科の変化の類型によっては、レリバンス意識や仕事に関する意識によって差があるものも見受けられるため、今後検証していく意義はあると考えられる。

図表 2-13 レリバンス意識と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
レリバンス意識	高い	9.6%	11.0%	29.8%	13.5%	18.8%	17.3%	(446)
	低い	15.2%	7.1%	28.3%	16.2%	15.2%	18.2%	(99)
合計		10.6%	10.3%	29.5%	13.9%	18.2%	17.4%	(545)
独立性のカイ二乗検定					p=0.459			

図表 2-14 興味をいかせる仕事と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
興味をいかせる仕事	あてはまる	10.7%	10.7%	28.5%	14.3%	18.0%	17.8%	(512)
	あてはまらない	9.4%	3.1%	46.9%	9.4%	18.8%	12.5%	(32)
合計		10.7%	10.3%	29.6%	14.0%	18.0%	17.5%	(544)
独立性のカイ二乗検定					p=0.289			

3.3 進路に関する意識と進学希望学科の変化

最後に、進路に関する意識と進学希望学科の変化との関連について検討を行う。まず、進学に関する意識との関連についてみていく。次の図表 2-15、図表 2-16 は、それぞれできるだけ学力の高い学校に進学したいといういい学校志向、ならびに最終的にどの学校段階まで進学したいかという意識と、進学希望学科の変化との関係をみたクロス集計表である。

図表 2-15 いい学校志向と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
いい学校志向	あてはまる	11.6%	10.0%	27.9%	16.3%	18.1%	16.0%	(430)
	あてはまらない	6.3%	10.8%	36.9%	5.4%	18.0%	22.5%	(111)
合計		10.5%	10.2%	29.8%	14.0%	18.1%	17.4%	(541)
独立性のカイ二乗検定					p=0.013			

まず、図表 2-15 をみてみると、少しでも学力の高い学校に進学したいという意識と 2 時

点間の進学希望学科の変化との関連は、5%水準で統計的に有意である。学力の高い学校に進学したいと考えている層で「普通科維持」、ならびに「普通科に変化」類型になりやすい。これは学力と進学希望学科の変化との関連においてみられた傾向と同様の解釈、すなわち高校階層構造上の普通科高校の位置を受けての傾向であると考えることが可能だろう。対して、「未定維持」については、学力の高い学校に進学したいとは考えていない層で多くなっている。「専門・総合・併願維持」、ならびに「専門・総合・併願に変化」については、少しでも学力の高い学校に進学したいという意識による差はほぼない。

図表 2-16 希望最終学歴と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
希望最終学歴	高校	3.0%	8.0%	35.0%	16.0%	8.0%	30.0%	(100)
	専門学校・各種学校	6.0%	21.0%	26.0%	6.0%	28.0%	13.0%	(100)
	短大	11.8%	10.3%	33.8%	4.4%	27.9%	11.8%	(68)
	四大・大学院	17.8%	7.8%	23.9%	18.7%	18.3%	13.5%	(230)
合計		11.6%	10.8%	27.9%	13.7%	19.5%	16.5%	(543)
独立性のカイ二乗検定					p=0.000			

続いて、図表 2-16 から、最終的にどの学校段階まで進学したいかという希望と進学希望学科の変化との関係をみると、両者の関係は 0.1% で有意となっているが、「普通科維持」を除いて、その関係はやや複雑なものである。「普通科維持」については、最終希望学歴が高校、専門学校・各種学校、短大、四大・大学院の順で多くなっており、高い最終学歴を希望している層で「普通科維持」しやすいという関連がよみとれる。これに比して「普通科に変化」では、専門学校・各種学校や短大まで進学したいと考えている層と比較して、高校もしくは四大・大学院までの進学を考えている層が多くなっている。「未定維持」については、高校、短大までを希望する層でなりやすく、「専門・総合・併願維持」については、高校、四大・大学院までと比較して、短大までが若干多く、専門学校・各種学校まで進学希望の層で最も多くなっている。「専門・総合・併願に変化」に関しては、専門学校・各種学校までの進学を希望している層が多い。このように、希望最終学歴と進学希望学科との関連について、統計的に有意な差は認められるものの、「普通科維持」類型を除けば、取り立てて一貫した傾向は見出せないようであった。これには、サンプルサイズの問題で本来はそれぞれ異質なカテゴリ、例えば専門学科、総合学科、複数の学科希望者などをひとくくりに行っていることも関係しているかもしれない。しかし、第 2 節で検討したように、中 1 から中 2 という段階において、進路希望が未だ極めて不安定であることの影響も小さくないと考えられる。

続いて、将来に関する意識と進学希望学科の変化との関係について検討する。将来の夢

や目標を持っているかどうかと進学希望学科の変化との関係をみたものが次の図表 2-17、家庭で将来の夢や目標について話をするかどうかと進学希望学科の変化との関係をみたものが図表 2-18 である。

図表 2-17、2-18 をみても、将来の夢や目標の有無については 5%水準、将来については話すかどうかについては 0.1%水準で有意になっており、それぞれ進学希望学科の変化と基本的には類似の傾向がみとれる。

図表 2-17 将来の夢や目標と進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
将来の夢や目標	ある	11.5%	12.1%	26.6%	12.6%	20.3%	16.8%	(364)
	ない	9.5%	6.5%	36.7%	15.4%	13.0%	18.9%	(169)
合計		10.9%	10.3%	29.8%	13.5%	18.0%	17.4%	(533)
独立性のカイ二乗検定					p=0.032			

図表 2-18 将来について話すことと進学希望学科の変化との関係

		進学希望学科の変化					合計	有効度数
		普通科維持	専門・総合・併願維持	未定維持	普通科に変化	専門・総合・併願に変化		
将来について話す	あてはまる	12.7%	12.4%	22.9%	16.2%	20.3%	15.6%	(315)
	あてはまらない	7.8%	7.4%	39.0%	10.8%	15.2%	19.9%	(231)
合計		10.6%	10.3%	29.7%	13.9%	18.1%	17.4%	(546)
独立性のカイ二乗検定					p=0.000			

「普通科維持」、「専門・総合・併願維持」、「専門・総合・併願に変化」については、将来の夢や目標がある層、ならびに家庭で将来の夢や目標について話す層で多くなっている。対して「未定維持」については、将来の夢や目標がなく、家庭で将来について話さない層で多くなっている。このように、将来の夢や目標を持っていたり、家庭の人々と将来のことについて話す機会を持っている生徒は、特定の進学したい学科を考えていたり、中 1 から中 2 にかけて希望を持ったりするようになっている。ただし、「普通科に変化」については、将来の夢や目標との関連では、将来の夢や目標がない層でやや多く、将来について話すかどうかとの関連では、逆に将来について話す層で多くなっており、傾向が異なっていた。

4 結論

本稿では、中 1 時点から中 2 時点にかけての進路希望、特に進学希望学科の変化に着目し、中 2 時点における学力・レリバンス意識・将来に関する意識との関連について検証を行ってきた。

その結果、まず、中 1 時点から中 2 時点にかけての段階では、生徒たちの進学希望学科は未だかなり不安定であるという知見が得られた。まず、中 2 段階になっても、中 1 時点と同様に、半分近くが特に進学したい学科がないと回答している。加えて、全体的な分布で見れば、中 1 時点から中 2 時点にかけて進学希望学科には一見して変化がなさそうであるが、個人の希望の変化に着目すると、進学希望学科はかなり変動していることが明らかになった。無論、限定的な地域におけるデータであるため、知見の一般化には十分慎重になる必要があるが、中 1 から中 2 までの時点では、中学生は高校でどのような学科に進学するかということについてあまり考えておらず、希望も不安定なものであるというのは興味深い結果であり、生徒への進路指導に際しても重要な点であると考えられる。今後、中 3 時点におけるデータの蓄積を待って、どの時点で生徒の希望が固まり、特定の学科に振り分けられていくのかをさらに検討していく必要があるだろう。

次に、学力・レリバンス意識・将来に関する意識と進学希望学科の変化との関連について検討した結果、まず学力との関連では、国語・数学のスコアならびに国語・数学の主観的成績について、基本的に高い層で「普通科維持」や「普通科に変化」が多く、対して低い層で「専門・総合・併願維持」が多いという傾向が見られた。これは学科の高校階層構造上の位置づけを反映した傾向であると解釈できる。学科未定層については、特にスコアや主観的成績が低い層が学科未定になりやすいといった傾向があるとはいえないようであった。

レリバンス意識との関連については、中 2 時点のレリバンスや仕事に関する意識と進学希望学科の変化との間に統計的に有意な関連は認められなかった。ただし、有意ではないが進学希望学科の変化類型によってはレリバンスや仕事に関する意識によって差があるものもみられたため、中 3 時点までのデータの蓄積を待って今後検証を行う意義はあるだろう。

進路に関する意識との関連については、まず進学に関する意識と進学希望学科の変化について、学力の高い学校に進学したいと考えている層で「普通科維持」、「普通科に変化」になりやすい傾向がみられた。最終的にどの学校段階まで進学したいかという希望については、進学希望学科の変化と統計的に有意な関連があるものの、「普通科維持」を除いて関連が複雑になっており、明確な傾向があるとはいえなかった。将来に関する意識との関連については、将来の夢や目標を持っていたり、家庭の人々と将来のことについて話す機会を持っている生徒は、特定の進学したい学科を考えていたり、中 1 から中 2 にかけて希望を持ったりするようになっていくという傾向が共通してみられた。

このように、中 2 時点の学力・レリバンス意識・進路に関する意識と、進学希望学科の中 1 時点から中 2 時点にかけての変化との関連について検証を行った結果、基本的に高校階層構造上の学科の位置づけを反映していると考えられる関連や、将来について具体的に考えていると学科希望を維持したり持つようになったりするという関連が認められた。ただし、これはあくまでも中 2 時点の各変数と進学希望学科の変化との関係について検討した分析であり、因果推論を行うことはできないという本分析の限界には、十分に留意する必要

がある。中 3 時点におけるデータの蓄積を待って、進学希望学科の決定過程の分析を行い、本稿で検討した変数の変化と進学希望学科の変化との関連について因果推論を試みることも、来年度に向けての分析課題である。

〔注〕

- 1) ただし、「進学しない」については、性質上ほかの類型と統合することができないため、ここでは 1 つの類型として残し、第 3 節以降の分析に際して分析から除外するという方法をとった。
- 2) 注 1 で触れたように、高校に進学する予定がないというケースについては、非常に少数であるため、この変化類型からは除外した。

〔参考文献〕

- 耳塚寛明・樋田大二郎編、1996、「多様化と個性化の潮流をさぐる—高校教育改革の比較教育社会学」学事出版。
- 本田由紀、2009、「専門高校生の職業への移行」小杉礼子編『若者の働きかた』ミネルヴァ書房、46・73。
- 新潟県教育委員会、2016、「県立高校の将来構造——中長期を見据えた魅力ある学校づくり」。
- シム・チュン・キャット、2009、『シンガポールの教育とメリトクラシーに関する比較社会学的研究』東洋館出版社。
- 竹内洋、1995、『日本のメリトクラシー——構造と心性』東京大学出版会。

第3章 家庭内の関係と地域とのつながりの変化がもたらすもの —学業成績、学校適応と将来への意識との関連を中心に—

香川めい（東京大学）

本章では、家庭内での保護者との関係や地域とのつながりと学業成績、学校適応や将来意識との関連について検討する。中1から中2にかけての家族との関係や地域とのつながりは総じて関係性が低くなり、子ども、保護者、学校（学業）の三者の関連が中1から中2にかけて変化する。家族や家庭の学業や学習に関する直接的な関与が低くなるといえる。全体として見れば、家族との関係や地域とのつながりは子どもの学業成績や学校適応、将来への意識と関連している。しかし、中1から中2にかけての変化という点から見ると、家族関係の変化がテストスコアに与える影響はほぼなく、学校適応や将来意識に関して影響がみられた。中学生にとって家族関係が直接学力に与える効果はそれほど大きいとはいえず、むしろ情緒や精神面での安定に寄与していると考えられる。

1 はじめに

子どもの学業成績や進学意識に保護者のかかわりや家庭環境が重要になることは、これまで多く指摘されてきた。家庭の経済状況や保護者の学歴によって子どもの教育達成や学業成績に違いがあることはよく知られている。本章では「社会関係資本」という概念を切り口に、家庭内での親子関係や地域とのつながりと子どもの学業成績、学校適応や将来への意識などの関連を検討していく。

教育と「社会関係資本」に関する古典の1つであるコールマン（1988＝2006）では、子どもの教育達成（＝人的資本形成）への家庭内外の社会関係資本の重要性が論じられている。彼の社会関係資本理論の特徴は、社会関係資本を恩義、情報の流通経路（チャンネル）、社会規範という3つの形態に分類すること、そして、社会構造の閉鎖性（教育の場合は世代間閉鎖性）の役割を重視することである（金光 2006）。コールマンは特に次世代の人的資本形成にとって社会関係資本が重要な役割を担うととらえていた。彼の議論では、「家庭における社会関係資本」と「コミュニティにおける社会関係資本」のいずれもが肝要であるとされている。家庭内の社会関係資本とは「親子関係のこと」であり、仮に両親の人的資本（＝両親の教育程度）が高かったとしても「家族関係というかたちをとった社会関係資本によって補完されないなら、子どもの教育上の成長には無関係」（コールマン 2006：224）であるとされ、具体的には家庭内社会関係資本は家庭内の大人の存在と、大人が子どもに向ける注意や関心の程度として測られる。一方、コミュニティ内の社会関係資本とは、上述の世代間閉鎖性に見られるような保護者同士の関係性や学校をはじめとするコミュニティの諸機関との関係性を指している。コミュニティ内の大人に構造的

な閉鎖性が見られるときに社会関係資本が存在するといえる。これら、家庭内および家庭外の社会関係資本によって、子どもの教育達成が促進され、人的資本に転換されることとなるのである。

欧米ではコールマンのこの論文を出発点にして、社会関係資本と教育達成（学業達成、学校適応、進学等）についての数えきれないほどの論考が産出されている。欧米ほどではないものの日本のデータを用いた分析も徐々になされるようになってきている。例えば志水・中村・知念（2012）は、「つながり格差」という用語を用いて、社会関係資本と学力の関連について検討している。さまざまな指標と学力との関連から「離婚率」「持ち家率」「不登校率」の3つの影響力が過去に比べて強くなっていることを発見し、「持ち家率」の高さは「地域とのつながり」の強度を、「離婚率」は「家庭とのつながり」を、そして、「不登校率」は「学校とのつながり」を意味し、これらの「つながり」が疎である自治体の子どもたちの学力は低い傾向にあり、経済的な要因とは別に「つながり」自体が子どもの学力に影響を与える回路があると主張している。それに加えて、学力データを含むミクロデータを分析し、子どもの社会関係資本が学力に与える影響は経済階層が低い層で強いことも見出している。ほかにも Matsuoka（2014）は、中学2年生のデータを用いて保護者の子どもへの関与について検討されており、保護者の子どもや学校への関与が数学のスコアに影響を与えるとされている。つまり、保護者や地域とのつながりのあり方によって子どもの学業成績は異なり、総じてつながりが強い子どもほど学業成績も高い傾向にあるという結果が得られているのである。

以上をふまえ、本章では、家族関係や地域とのつながりが中学生の学業成績に与える影響を検討する。それに加え、学校適応や将来への意識といった意識面との関連についてもみていきたい。

2 家庭や地域とのつながり

2.1 変数

家族との関係や地域とのつながりをみるために本章では以下の変数に注目する。まず家族との関係のあり方については、「家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う」、「勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる」「将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする」「新聞に書かれていることについて家の人と話をする」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」「家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がある」という6つの設問からとらえることとする。最初の2つは、あくまでも子どもサイドの認知であり、実際の保護者の行動がそのまま反映されているわけではないことには留意が必要であるものの、保護者がどの程度自分のことを気にかけて、応援してくれるかという情緒的サポートの側面を測っているととらえられる。続く3つの項目（「将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする」「新聞に書かれていること

について家の人と話をする」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話を
する）」は保護者との会話のトピックや頻度を測るものである。保護者とのコミュニケーション
の側面からみた密度やその内容を示している。最後の「家で学習していて、わからない
ときは教えてくれる人がいる」は家庭にある学業支援の資源を示していると考えられる。
また、「新聞に書かれていることについて家の人と話をする」というのも部分的には家庭内
の学業に対するサポート量を示すと考えられるだろう。「新聞に書かれていること」を話す
ことで、社会に対する興味関心が喚起されたり、家庭内の学業支援の資源を利用できたり
することで学力上昇につながると想定できる。

地域とのつながりについては、「地域の行事に参加する」という項目を用いる。一般に成
長にともなって地域とのつながりは薄弱化すると考えられるが、このようなつながりが
あることで、精神面での安定に寄与する可能性が考えられる。

2.2 中1から中2にかけて家族との関係や地域とのつながりはどう変化するのか

図表 3-1 は、それぞれの設問について中1時点と中2時点で「とてもあてはまる」と「ま
あてはまる」を選択した生徒の比率を示したものである。

図表 3-1 家族との関係や地域とのつながりの中1から中2にかけての変化

		該当割合	変化量	マクネマー検定	有効度数
家族との関係					
家の人（自分のことを気にかけてく れていると思う	中1	87.0%	-0.7%	p=.755	560
	中2	86.3%			
勉強やスポーツのことで、家の人が 応えんしてくれる	中1	88.9%	-4.8%	**	559
	中2	84.1%			
将来の夢やこれからの進路について 家の人と話をする	中1	59.0%	-1.6%	p=.523	561
	中2	57.4%			
新聞に書かれていることについて家 の人と話をする	中1	33.3%	-10.9%	***	559
	中2	22.4%			
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校で の出来事について話をする	中1	80.3%	-9.1%	***	552
	中2	71.2%			
家で学習していて、わからないとき は教えてくれる人がいる	中1	82.6%	-13.2%	***	552
	中2	69.4%			
地域とのつながり					
今住んでいる地域の行事に参加して いる	中1	48.4%	-9.2%	***	543
	中2	39.2%			

注：* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

中学1年生から2年生にかけて、家族との関係や地域とのつながりは総じて疎遠になる
方向に変化している。家族との関係については、「新聞に書かれていることについて家の人

と話をする」を除いて該当比率は高く、基本的には家族と良好な関係を築いているととらえられる。減少幅が大きいのは、「新聞で書かれていることについて家の人と話をする」、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」と「家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる」の3つの項目であり、それぞれ中2になると「あてはまる」との回答が10ポイント近く減少している。一方、「家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う」と「将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする」の2つの項目はほとんど減少していない。また、「勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる」の減少幅も統計的に有意ではあるものの小さい。学校や学習に直接かかわる事柄については家族との関係に変化が生じているととらえられるが、情緒的なサポートという側面での家族との関係の変化は小さいととらえられる。地域の行事への参加は減っている。

3 家族との関係や地域とのつながりは学力や意識に影響を与えるのか

次に家族との関係や地域とのつながりが、学業成績や意識とどのような関係にあるのかを確認しよう。

3.1 変数間の関連

学業成績として国語と数学のスコア⁽¹⁾、意識としては「学校に行くのが楽しい」「将来の夢や目標がある」「将来幸せに生きていける」の3つの項目に注目する。図表3-2には、中2の回答と中1の回答との差をとったもの同士の相関係数を計算した。一方が増えたときにもう一方の変数も増えればプラスの値をとり、逆に減る傾向にあった時にはマイナスの値をとる。

図表 3-2 中1から中2の変化量の相関係数

	国語スコア 差	数学スコア 差	学校が 楽しい	将来の目標 がある	将来幸せに 生きていける
国語スコア差	1.000	0.167 ***	-0.038	0.023	0.024
数学スコア差	0.167 ***	1.000	0.123 **	0.035	0.076 +
学校が楽しい	-0.038	0.123 **	1.000	0.050	0.133 **
将来の目標がある	0.023	0.035	0.050	1.000	0.112 *
将来幸せに生きていける	0.024	0.076 +	0.133 **	0.112 *	1.000
家の人は自分のことを気にかけてくれている	0.019	0.044	0.155 ***	0.053	0.193 ***
家の人は応援してくれる	0.069	0.034	0.156 ***	0.013	0.218 ***
将来の夢や進路について家の人と話す	-0.014	0.085 *	0.117 **	0.227 ***	0.169 ***
新聞に書かれていることについて家の人と話す	-0.046	0.010	0.081 +	0.115 **	0.052
わからないことを教えてくれる人が家にいる	0.038	0.042	0.119 **	0.085 *	0.107 *
家の人と学校の出来事について話す	0.018	0.045	0.052	0.077 +	0.072 +
地域の行事に参加する	0.046	-0.048	0.040	0.044	0.065

注：* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$

学業成績の変化を示す国語と数学のスコア差の列をみると、相関係数の絶対値が小さいものが多く、家族との関係の変化や地域とのつながりの変化と学業成績との関連はそれほど強くないことが示されている。特に国語のスコア差について、なんらかの有意な関連が認められるのは数学のスコア差しかなく、家族や地域にまつわることのみならず学校適応や将来に関する意識の変化についてもほぼ関連がないことがわかる。

一方、学校適応や将来の目標があること、将来幸せに生きていけるといった意識の変化については、有意な関連がある項目が複数あり、いずれもプラスの値をとっている。「将来の夢や進路について家の人と話す」「わからないことを教えてくれる人が家にいる」については3つの意識項目すべてと有意なプラスの関連があり、家族関係のプラスの変化（あるいはマイナスの変化）と意識の面での変化が連動していることが示されている。家の人が自分のことを気にかけてくれたり、応援してくれたりするようになれば、本人の学校適応や将来の目標に関する意識も前向きに変化する傾向があるといえよう。

地域とのつながりの変化については有意な相関をもつものではなく、地域の行事に参加するようになったり、逆に参加しないようになったりしたからといって学業成績や意識面での変化とは連動していないことも示されている。

3.2 家族との関係や地域とのつながりによって学業成績や意識は異なるのか

次に学業成績や意識が、家族との関係、地域とのつながりとどのように関連しているのかを確認しよう。中1時点と中2時点のデータを合併して Pooled OLS を用いて分析した。分析に用いた変数については図表 3-3 に、結果は図表 3-4 に示す通りである。国語のスコアと数学のスコアについて確認しよう。国語のスコアには「家の人は自分のことを気にかけてくれている」(5%水準)、「新聞に書かれていることを家の人と話す」(0.1%水準)、「家の人と学校の出来事について話す」(10%水準) に有意な効果が確認される。いずれの係数の値もプラスなので、気にかけてくれると思うほど、また家の人と新聞に書かれていることや学校の出来事について話すほど国語のスコアが高くなるという傾向がある。数学のスコアについては、「家の人は自分のことを気にかけてくれる」の効果がなくなり、「将来の夢や進路について話す」が 10%水準で有意となっている。学業成績については、国語と数学の両方について「新聞について家の人と話す」に有意なプラスの効果が確認される。新聞を購読して、子ども、家の人とともに読んでいるという家庭の文化的な背景によるものなのか、それとも新聞を読み、考えることによって子どもの興味関心が触発されているのかは分からないが、10%水準とはいえ学校での出来事を親子間で共有することにも効果があるので、子どもの知的関心を喚起するような保護者の関わり方と学業成績の間にはプラスの関連があると解釈できるだろう。「自分のことを気にかけてくれる」「応援してくれる」といった情緒的なサポートには国語への効果しかみられず、わからないことを教えてくれる人が家にいるという直接的な支援については効果が見られないことから、

図表 3-3 分析に用いた変数 (Pooled OLS)

変数名	
従属変数	
国語スコア、 数学スコア	それぞれの時点の国語の標準化スコア、数学の標準化スコア
学校が楽しい	「学校に行くのが楽しい」に対する回答を以下のように得点化した。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
将来の目標がある	「将来の夢や目標をもっている」に対する回答を以下のように得点化した。「あてはまる」を4点、「あてはまらない」を1点。
将来幸せに生きていける	「あなたは将来、どれくらい幸せに生きていけると思いますか」という質問に対し「まったく幸せに生きていけない」を1点、「とても幸せに生きていける」を6点。
独立変数	
家の人は自分のことをき にかけてくれている	「家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う」に対する回答。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
家の人は応えんしてくれ る	「勉強やスポーツのことで、家の人が応えんしてくれる」に対する回答。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
将来の夢や進路について 家の人と話す	「将来の夢や進路について家の人と話をする」に対する回答。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
新聞に書かれていること について家の人と話す	「新聞に書かれていることについて家の人と話をする」に対する回答。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
わからないことを教えて くれる人が家にいる	「家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる」に対する回答。「とてもあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点。
家の人と学校の出来事について 話す	「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」に対する回答。「あてはまる」を4点、「あてはまらない」を1点。
地域の行事に参加する	「今住んでいる地域の行事に参加している」に対する回答。「あてはまる」を4点、「あてはまらない」を1点。
男子ダミー	男子が1、女子が0。

興味関心の喚起といった間接的なサポートの方が学業成績との関連が強いと考えられる。地域の行事に参加することには効果は認められないので、地域とのつながりと学力の間には関連はないといえるだろう。

学校が楽しい、将来の目標がある、将来幸せに生きていけるといった意識面についての傾向は学業成績のものとは傾向が異なっている。決定係数の値が国語や数学のスコアに関してのモデルに比べて高く、モデルの説明力が高いことが分かる。保護者の情緒的サポートや保護者との会話、地域とのつながりは子どもの学業成績よりは意識面との関連が高いといえる。

図表 3-4 国語スコア、数学スコア、学校適応や将来意識の規定要因 (Pooled OLS)

	国語のスコア		数学のスコア	
	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差
家の人は自分のことを気にかけてくれている	1.179 *	0.489	0.303	0.499
家の人は応えんしてくれる	-0.390	0.476	-0.524	0.487
将来の夢や進路について家の人と話す	-0.299	0.335	0.565 +	0.342
新聞に書かれていることについて家の人と話す	1.141 ***	0.320	1.037 **	0.327
わからないことを教えてくれる人が家にいる	-0.331	0.346	0.482	0.354
家の人と学校の出来事について話す	0.670 +	0.365	0.639 +	0.373
地域の行事に参加する	0.196	0.303	-0.135	0.309
男子ダミーマー	-0.445	0.620	0.999	0.634
(定数)	44.930 ***	1.689	43.763 ***	1.727
有効度数	1027		1028	
決定係数	0.029		0.033	
自由度調整済み決定係数	0.022		0.026	
回帰のF検定	p=.000		p=.000	

	学校が楽しい		将来の目標がある		将来幸せに生きていける	
	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差
家の人は自分のことを気にかけてくれている	0.103 *	0.045	-0.042	0.049	0.155 **	0.059
家の人は応えんしてくれる	0.186 ***	0.044	0.084 +	0.048	0.345 ***	0.057
将来の夢や進路について家の人と話す	-0.014	0.031	0.290 ***	0.034	0.077 +	0.040
新聞に書かれていることについて家の人と話す	0.007	0.029	-0.049	0.032	-0.025	0.039
わからないことを教えてくれる人が家にいる	0.135 ***	0.032	0.080 *	0.035	0.086 *	0.042
家の人と学校の出来事について話す	0.091 **	0.033	0.105 **	0.037	0.058	0.044
地域の行事に参加する	0.054 +	0.028	0.017	0.031	0.076 *	0.036
男子ダミーマー	-0.164 **	0.057	-0.166 **	0.063	-0.034	0.074
(定数)	1.395 ***	0.155	1.780 ***	0.170	1.777 ***	0.204
有効度数	1028		1016		1024	
決定係数	0.148		0.154		0.152	
自由度調整済み決定係数	0.141		0.148		0.145	
回帰のF検定	p=.000		p=.000		p=.000	

注：* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

「学校が楽しい」という学校適応については、保護者の情緒的サポート、「わからないことを教えてくれる人が家にいる」、「家の人と学校での出来事について話す」という変数がプラスの有意な効果を持っている。10%水準ではあるが、「地域の行事に参加する」にもプラスの効果が認められる。将来の目標があるについては情緒的なサポートよりも、会話の関連が高いようであり、また、「わからないことを教えてくれる人が家にいる」にもプラスの効果がある。「将来幸せに生きていける」については、家族の情緒的サポートに加えて、「わからないことを教えてくれる人」そして、「地域の行事に参加する」にも正の関連がある。「新聞について書かれていることについて家の人と話す」は、学業成績についてはプラスの関連があったものの、子どもの学校適応や将来への前向きな意識には直接的な関連はないようである。家族が気にかけたり、応援したりと子どもを情緒的にサポートすることは、学業成績との関連はそれほど高いとは言えないものの、意識面にはプラスの効果をもたらすといえるだろう。加えて、「わからないことを教えてくれる人」の存在も、学業成績に直接影響しなくても、意識の点では前向きに作用するようである。家族の子どもとのかかわりは、子どもの精神面での安定化との関連が高いといえる。そして、地域とのかかわりも子どもの学業成績への影響があまり強くなかったとしても、将来に対するポジティブな見通しを持たせるという点で子どもの生活や成長に関連していると考えられる。また、男子ダミーの係数の符号がマイナスであることから、傾向としては男子の方がネガティブな意識を持ちやすいと考えられる。

3.3 中1から中2にかけての変化

ここまで確認したのは、全体として家族との関係や地域とのつながりが学業成績や本人の学校適応、将来意識とどう関連しているかということである。最後に中1から中2にかけての変化について検討する。分析には一階差分モデルを用いた。図表 3-5 に分析に用いた変数を、図表 3-6 にその結果を示している。

学業成績の変化についての結果から確認しよう。回帰の F 検定に示すようにモデル自体が有意ではなく、決定係数に示される説明力も低い。すなわち、中1から中2にかけての国語や数学のスコアの変化は、家での家族関係の変化や地域とのつながりの変化によってはほとんど説明することはできない^②。

図表 3-5 分析に用いた変数

変数名		最小値	最大値	平均値
従属変数				
国語スコア	国語の標準化スコアの中 1 と中 2 の差。	-28.95	21.00	0.06
数学スコア	数学の標準化スコアの中 1 と中 2 の差。	-20.87	20.32	-0.14
学校が楽しい	「学校に行くのが楽しい」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.22
将来の目標がある	「将来の夢や目標をもっている」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.34
将来幸せに生きていける	「あなたは将来、どれくらい幸せに生きていけると思いますか」という質問への 中 1 と中 2 の差。	-5	4	-0.15
独立変数				
家の人は自分のことをきにかけてくれている	「家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.11
家の人は応えんしてくれる	「勉強やスポーツのことで、家の人が応えんしてくれる」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.18
将来の夢や進路について家の人と話す	「将来の夢や進路について家の人と話を する」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.05
新聞に書かれていることについて家の人と話す	「新聞に書かれていることについて家の人と話を する」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.26
わからないことを教えてくれる人が家にいる	「家で学習していて、わからないときは 教えてくれる人がいる」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.37
家の人と学校の出来事について話す	「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での 出来事について話を する」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.21
地域の行事に参加する	「今住んでいる地域の行事に参加している」に対する回答の中 1 と中 2 の差。	-3	3	-0.21

図表 3-6 国語スコア、数学スコア、学校適応や将来意識の変化の規定要因（一階差分モデル）

	国語のスコア				数学のスコア			
	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差
家の人 は 自分のことを 気にかけて くれる	0.046	0.401	0.212	0.372				
家の人 は 応えんして くれる	0.691	+	0.391	0.362	-0.038			
将来の夢や進路について 家の人 と 話す	-0.129		0.304	0.281	0.467	+		
新聞に書かれていることについて 家の人 と 話す	-0.347		0.294	0.272	-0.253			
わからないことを 教えて くれる人 が 家に いる	0.103		0.318	0.294	0.292			
家の人 と 学校 の 出来事 について 話す	0.114		0.353	0.328	0.142			
地域 の 行事 に 参加 する	0.354		0.317	0.294	-0.430			
(定数)	0.214		0.345	0.320	-0.230			
有効度数	513				514			
決定係数	0.014				0.014			
自由度調整済み決定係数	0.000				0.001			
回帰のF検定	p=.421				p=.391			
	学校が楽しい				将来の目標がある			
	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差	回帰係数	標準誤差
家の人 は 自分のことを 気にかけて くれる	0.090	0.055	-0.030	0.058	0.141	*	0.065	
家の人 は 応えんして くれる	0.106	*	0.053	0.057	-0.077	**	0.063	
将来の夢や進路について 家の人 と 話す	0.048		0.041	0.044	0.207	***	0.049	*
新聞に書かれていることについて 家の人 と 話す	0.033		0.040	0.043	0.037		0.013	0.048
わからないことを 教えて くれる人 が 家に いる	0.057		0.043	0.047	0.057		0.039	0.051
家の人 と 学校 の 出来事 について 話す	0.004		0.048	0.052	0.066		0.007	0.057
地域 の 行事 に 参加 する	-0.020		0.043	0.047	-0.007		0.057	0.052
(定数)	-0.166	***	0.047	0.050	-0.294	***	-0.037	0.056
有効度数	514				510			
決定係数	0.038				0.078			
自由度調整済み決定係数	0.025				0.065			
回帰のF検定	p<0.01				p=.000			

注：* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

一方、「学校が楽しい」「将来の目標がある」「将来幸せに生きていける」という意識関連の変化には家族の情緒的サポートの変化にプラスの有意な効果が確認される。「学校が楽しい」の変化については、「家の人は応えんしてくれる」の変化が、「将来の目標がある」については、「将来の夢や進路について家の人と話す」の変化が、そして「将来幸せに生きていける」には「家の人が気にかけてくれる」、「応えんしてくれる」、そして「進路や夢についての会話」の変化がプラスに作用している。家族が子どもを理解し、気にかけてたり、応援したりといったサポートを行うこと、そして将来の夢や進路について話し合いを行うことで、子どもの意識にポジティブな変化が生じると読み取ることができそうである。

以上より、家族の情緒的サポートが高まることで子どもの学校適応や将来への前向きな意識を喚起するといえるが、学力への変化の効果は大きくないと考えられる。

4 まとめと考察

ここまでわかったことを再度簡単にまとめておこう。中1から中2にかけての家族との関係や地域とのつながりの変化を見ると、総じて関係性が低くなる傾向になることが示された。家族との関係でいえば、「新聞について話す」「学校での出来事について話す」「勉強で分からないことを教えてくれる人が家にいる」という学習や学校との関連が強いものの減少幅が大きい一方、「家の人は気にかけてくれる」「スポーツや勉強について応えんしてくれる」という情緒的なサポートの減少幅は小さかった。ここから、子ども、保護者、学校（学業）の三者の関連が中1から中2にかけて変化し、家族や家庭の学業や学習に関する直接的な関与が低くなる傾向にあるということが出来る。本データからは親子間の会話の総量自体は分からないため、第二次反抗期に伴って親子間の会話が減少したことによって新聞や学校についての会話も減ったのか、他の話題が増えたために新聞や学校的话题を話さなくなったのかは分からないが、いずれにせよ、保護者と子どもとのコミュニケーションのあり方が変化することは示された。「勉強で分からないことを教えてくれる人が家にいる」の減少は、学習内容の難易度が上がるため、それを教えられる人材が家庭内になくなることを反映していると考えられる。

全体として見れば、家族との関係や地域とのつながりは子どもの学業成績や学校適応、将来への意識と関連している。Pooled OLSの結果では、学業成績については新聞に関する会話にプラスの影響がある。家の人の情緒的なサポートも国語のスコアとは正の関連がある。一方で学校適応や将来への意識については、新聞に関する会話の効果はなく、家族の情緒的サポートや新聞以外の会話の影響が見られる。意識については、家庭における教えてくれる人の存在の効果が見られる。ここから、家庭内で勉強を教えてくれる人の存在は、学業に関わる直接的な資源としてではなく、むしろ意識面での安定化に作用する資源となっている可能性が示唆される。また、地域とのつながりについても「将来幸せに生きていける」に対する効果が見られる。

しかし、中1から中2にかけての変化という点から見ると、これらの項目の影響力は大きくない。学業成績に関するモデルは統計的に有意とならず、国語や数学のテストスコアの変化が家族関係や地域とのつながりの変化によってはほぼ説明できないことが示された。このことは、例えば、Pooled OLS では有意となった「新聞に関する会話量」そのものを变化させても、国語や数学のテストスコアは変化しないことを意味する。一方で、意識面での変化は、家族関係の変化との関連があることも明らかとなった。情緒的サポートが上昇や、将来の夢や進路について保護者と子どもでコミュニケーションを取るようになることで、学校適応や将来への意識はポジティブな方向へと変化する。家族関係のあり方は子どもの精神面に与える影響の方が大きいと言えるだろう。

以上より、中学生にとって家族関係そのものが学力に与える効果はそれほど大きくないといえる。国語と数学のスコアに対して影響があるといえるのは、「新聞についての会話」だけである。分からないときに尋ねることができる、すなわち学業を支援する資源となる保護者の存在によってすらテストのスコアが左右されることはない。中学生ともなれば、学業成績の良しあしはそれまでの蓄積によるものが反映されているので、そう簡単には上がったり、下がったりということは起きないのかもしれない。短期間のショックが反映されるほど学業成績の感応性はよくはないという解釈も可能であろう。

しかし、家族関係や地域とのつながりが子どもの生活にとって全く影響がないというわけではない。本章の分析の結果からは、「毎日を平穏に楽しく暮らす」ことができるか、「将来についての前向きな意識を持つ」ことができるかは保護者や家族との関係性のあり方に左右されていると見ることができる。中学生が第二次反抗期という局面に差ししかかっていることを鑑みれば、精神面での安定化に家族関係が果たしている役割を無視することはできないだろう。

本章では、家族関係と地域のつながりを主軸に据えたため、中学生にとって生活の中心となる場である学校生活の側面を扱うことができなかった。中学生になれば、学業成績であれ、学校適応や将来への意識であれ、友人関係や学校生活が及ぼす影響が大きいことは容易に予測できる。また家族関係と学校生活が組み合わさることで、一方の影響が強まったり、逆に弱まったりすることも考えられる。これら点については、稿を改めて検討したい。

【注】

- 1) データの国語スコアと数学スコアを用いた。スコア化については序章を参照されたい。
- 2) モデルに学習時間の変化を投入したものが検討したが、国語のスコア差、数学のスコア差ともに有意な結果は得られなかった。学力がこれまでの積み重ねから生じるのだとしたら、1年というスパンで増減したとしてもすぐには学力には反映されない可能性が考えられる。

[参考文献]

- Coleman, James S., 1988, "Social Capital in the Creation of Human Capital", *American Journal of Sociology*, vol.94. (=2006, 金光淳訳「人的資本の形成における社会関係資本」野沢慎司編・監訳『リーディングス ネットワーク論——家族・コミュニティ・社会関係資本』勁草書房, pp.205-238).
- Matsuoka, Ryoji, 2014, "An Empirical Investigation of Relationships between Junior High School Students' Family Socioeconomic Status, Parental Involvement, and Academic Performance in Japan", *Sociological Theory and Method (理論と方法)*, vol.29 No.1, pp.147-165.
- 金光淳, 2006, 「著者紹介・文献解題 ジェームズ・コールマン」野沢慎司編・監訳『リーディングス ネットワーク論——家族・コミュニティ・社会関係資本』勁草書房, pp.239-241.
- 志水宏吉・中村瑛仁・知念渉, 2012, 「学力と社会関係資本——『つながり格差』について」志水宏吉・高田一宏編著『学力政策の比較社会学 【国内編】全国学力テストは都道府県に何をもたらしたか』明石書店, pp.52-89.

第4章 メディア利用と学校参与・友人関係の関連 ——テレビ・ゲーム・ケータイに着目した経年分析——

須藤 康介（明星大学）

まず、中学1年生から2年生にかけてのメディア利用の変化、学校参与・友人関係の変化を分析した結果、次の三点が示された。第一に、テレビ時間は減少し、ゲーム時間はほとんど変化せず、ケータイ時間は増加しているが、これらのメディア利用は中1からの継続性が高い。第二に、授業への集中、宿題をやるか、部活動に熱心に取り組むか、課外活動に参加するかという学校参与については、低下が見られる。第三に、友人関係については、友達とうまくやっている、外遊びをする、友達のよいところを認めている割合はほとんど変化しておらず、クラスで馬鹿にされていると感じる割合は減少している。次に、メディア利用の変化と学校参与・友人関係の変化の関連を分析した結果、明確な関連は見出せなかった。中2の中だるみや友人関係の変化は、メディア利用とは独立した事象として生じていると考えられる。メディア利用の影響を過大視する議論は、再考の余地がある。

1 問題設定

本稿の目的は、中学1年生から2年生にかけてのメディア利用の変化、学校参与・友人関係の変化、そして両者の関連を明らかにすることである。

中2という時期は、中1のときの新生活に向けたモチベーションは減退し、中3のときの高校入試に向けた緊迫感もない、中だるみの時期と言われている。須藤（2013）では、この時期に授業理解度の階層差が拡大することも示されている。このような中だるみの時期において、学校でも家庭でも関心が向けられるものの一つが、メディア利用である。清水（1993）はかつて、テレビの普及をはじめとした情報化社会の進展によって、子どもたちにとっての学校の重要性が揺らいでいることを指摘した。また、深谷ほか（1989）による「ファミコン・シンドローム」をはじめ、ゲームによって学校不適応が生じる（加速する）という議論も、以前から存在する。しかし、改めて考えると、メディア利用と学校参与はそれほど関連しているのだろうか。中だるみは、三年制教育課程の中間という学校システムの構造と、その影響を受けやすい一部の生徒たちの心性に由来するもので、メディア利用と直接的な関連がない可能性もある。生徒指導や家庭教育の前提として、メディア利用と学校参与の関連を検証することは意義があるだろう。

一方、メディア利用は友人関係との関連でも論じられている。土井（2014）は、ケータイ（携帯電話・スマートフォンの総称とする）によって友人関係が常時接続化され、人間関係の息苦しさが増していることを指摘している。森（2005）は、ケータイの友人関係は非対面であるために、相手の感情に不安を覚える要因となっていることを指摘している。しかし、これらの議論は十分なエビデンスを伴っておらず、Cohen（2002）の言うモラル

パニックである可能性も否定できない¹⁾。メディア利用の影響とされるものの、どこまでが真実でどこからが虚像なのか、検証の余地がある。

以上の問題関心から、本稿では、中1から中2にかけてのメディア利用の変化、学校参与・友人関係の変化、そして両者の関連について、実証分析を試みる。

2 使用する変数

本稿では、中学生の代表的なメディア利用として、テレビ・ゲーム・ケータイの三つに着目する。それぞれ、平日（学校がある日）の平均利用時間を7件法で調査しており、選択肢に応じて実時間を割り当て、量的変数として扱う。「3時間以上」は3.5時間、「4時間以上」は4.5時間、「持っていない」は0時間とした。なお、ケータイ時間は、携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間を含まず、ゲーム時間との重複はない。

学校参与は、授業集中・宿題遂行・部活動熱心・課外参加の四つの側面から捉える。授業集中は「授業を集中して受けている」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。宿題遂行は「学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。部活動熱心は「あなたは現在、部活動に参加していますか」について、「運動部に参加し、熱心に活動している」「文化部に参加し、熱心に活動している」を「あてはまる」、「運動部に参加しているが、あまり熱心には活動していない」「文化部に参加しているが、あまり熱心には活動していない」「部活動に参加していない」を「あてはまらない」とした。「運動部と文化部の両方に参加している」と回答した生徒が中1時に4人、中2時に2人いたが、経年分析に適さないと判断し、分析から除外した。課外参加は「放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。

友人関係は、校友関係円滑・外遊び・友人肯定・学級内被害意識の四つの側面から捉える。校友関係円滑は「学校の友だちとうまくやれていると思う」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。外遊びは「友だちと外で遊んでいる」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。友人肯定は「友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。学級内被害意識は「クラスの中で馬鹿にされていると感じることがある」について、4件法を「あてはまる」「あてはまらない」に割り当てた。

以上すべての変数について、中1と中2でまったく同じ質問文と選択肢で調査がなされていることが、パネル調査である本データの特長である。同一個人のメディア利用と学校参与・友人関係が、中1から中2にかけてどのように変化したのか（しなかったのか）を分析できる設計となっている。

3 メディア利用の変化

本節では、メディア利用時間（テレビ時間・ゲーム時間・ケータイ時間）の、中1から中2にかけての変化を分析する。対応のあるt検定の結果が図表4-1である。

図表 4-1 メディア利用時間の変化

		平均値	変化量	対応のあるt検定	有効度数
テレビ時間	中1	2.016	-0.135	p=0.004	(557)
	中2	1.882			
ゲーム時間	中1	1.103	0.045	p=0.324	(561)
	中2	1.148			
ケータイ時間	中1	1.337	0.378	p=0.000	(545)
	中2	1.715			

中1から中2にかけて、テレビ時間は減少し、ゲーム時間はほとんど変化せず、ケータイ時間は増加している。一見すると、「テレビを見る代わりに、ケータイを使うようになった」と読み取れる。しかし、その解釈は正しいとは限らない。なぜなら、テレビ時間の減少とケータイ時間の増加は連動しておらず、同時期に起こった別の事象である可能性があるからである。三者の連動を検証するため、テレビ時間変化・ゲーム時間変化・ケータイ時間変化の相関係数を算出した。結果が図表4-2である。

図表 4-2 メディア利用時間変化の相関係数

	テレビ時間変化	ゲーム時間変化	ケータイ時間変化
テレビ時間変化	1.000	0.133	0.082
ゲーム時間変化	—	1.000	0.182
ケータイ時間変化	—	—	1.000
有効度数	541		

欠損値はリストワイズで処理した。すべての相関係数は有意確率0.1未満。

テレビ時間変化・ゲーム時間変化・ケータイ時間変化の間には、すべて正の相関が認められる。つまり、「テレビを見る代わりに、ケータイを使うようになった」ということはなく、むしろ「テレビを見るようになった生徒は、ケータイも使うようになった」ということである。これは、テレビを見ながら SNS をするといった「ながら行動」が存在するためと考えられる。ただし、相関係数の値は総じて小さく、テレビ・ゲーム・ケータイは概ね独立に増減している。

また、前掲の分析とは別に、中1と中2の同一メディアの利用時間どうしの相関係数を算出したところ、中1テレビ時間と中2テレビ時間の相関係数は0.537、中1ゲーム時間と中2ゲーム時間の相関係数は0.577、中1ケータイ時間と中2ケータイ時間の相関係数は

は 0.577 であった。この結果は二つの点で興味深い。第一に、中 1 と中 2 の同一メディアの利用時間は強く相関している。つまり、中 2 になってゲームやケータイに没入する生徒もいるが、多くの場合は、中 1 のときの行動をそのまま継続している。良くも悪くも、メディア利用は継続性があるということである。第二に、テレビ・ゲーム・ケータイは異なるメディアであるにもかかわらず、中 1 と中 2 の相関の強さはほぼ同じである。ケータイ依存の文脈で、「一度ケータイを持つと癖になる」と議論されることがあるが、ケータイ時間の継続性はテレビ時間の継続性と同程度である。

4 学校参与・友人関係の変化

次に、学校参与と友人関係について、中 1 から中 2 にかけての変化を分析する。

4.1 学校参与の変化

学校参与（授業集中・宿題遂行・部活動熱心・課外参加）の変化について、マクネマー検定を行った結果が図表 4-3 である。

図表 4-3 学校参与の変化

		該当割合	変化量	マクネマー検定	有効度数
授業集中	中1	78.1%	-7.1	p=0.001	(562)
	中2	71.0%			
宿題遂行	中1	83.5%	-7.5	p=0.000	(550)
	中2	76.0%			
部活動熱心	中1	84.9%	-10.2	p=0.000	(550)
	中2	74.7%			
課外参加	中1	73.3%	-12.7	p=0.000	(559)
	中2	60.6%			

中 1 から中 2 になり、学校への参与（コミットメント）は総じて低下している。すなわち、授業には集中しなくなり、宿題はやらなくなり、部活動には不熱心になり、課外活動には参加しなくなる。中 2 が中だるみの時期というのはイメージではなく、学校生活全般で実態として存在する。なお、表中には掲載していないが、部活動非加入率は 7.6%から 12.4%に上昇している。一方、通塾率は 49.6%から 61.5%に上昇しており、学校外での勉強に対しては、むしろ参与が高まっている。

4.2 友人関係の変化

友人関係（校友関係円滑・外遊び・友人肯定・学級内被害意識）の変化について、マクネマー検定を行った結果が図表 4-4 である。

図表 4-4 友人関係の変化

		該当割合	変化量	マクネマー検定	有効度数
校友関係円滑	中1	90.3%	-0.7	p=0.731	(554)
	中2	89.5%			
外遊び	中1	67.8%	-1.2	p=0.597	(562)
	中2	66.5%			
友人肯定	中1	73.9%	2.0	p=0.413	(555)
	中2	75.9%			
学級内被害意識	中1	25.0%	-4.9	p=0.018	(547)
	中2	20.1%			

中1から中2にかけて、友達とうまくやっている割合、外遊びをする割合、友達のよいところを認めている割合はほとんど変化していない。これらの友人関係の在り方は可塑性が低い。一方、クラスで馬鹿にされていると感じる割合はやや減少している。中1の1学期には、見知らぬ同級生がいることによる不安感があり、その不安感が漠然とした被害意識につながっていたが、学年進行とともに同級生を知るようになり、不安感が薄らいだと考えられる。中1ギャップが解消されたとも言えるだろう。

5 メディア利用と学校参与・友人関係の関連

本節では、メディア利用と学校参与の変化の関連、メディア利用と友人関係の変化の関連をそれぞれ分析する。

5.1 メディア利用と学校参与の関連

メディア利用と学校参与の変化の関連をクロス集計で示す。なお、サンプルサイズが小さいため、通常のカイ二乗検定ではなく、フィッシャーの直接検定によって関連の有無を検証する²⁾。結果が図表 4-5～4-7 である。

図表 4-5 テレビ時間変化と学校参与変化の関係

		授業集中変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	21.9%	69.0%	9.0%	100.0%	(155)
	変化なし	13.3%	77.3%	9.5%	100.0%	(211)
	減少	14.7%	77.5%	7.9%	100.0%	(191)
合計		16.2%	75.0%	8.8%	100.0%	(557)
フィッシャーの直接検定				p=0.218		
クラメールのV係数				0.073		

		宿題遂行変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	18.0%	78.0%	4.0%	100.0%	(150)
	変化なし	10.7%	81.0%	8.3%	100.0%	(205)
	減少	15.7%	77.5%	6.8%	100.0%	(191)
合計		14.5%	78.9%	6.6%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定				p=0.182		
クラメールのV係数				0.075		

		部活動熱心変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	19.2%	74.8%	6.0%	100.0%	(151)
	変化なし	12.1%	81.6%	6.3%	100.0%	(206)
	減少	19.7%	72.9%	7.4%	100.0%	(188)
合計		16.7%	76.7%	6.6%	100.0%	(545)
フィッシャーの直接検定				p=0.218		
クラメールのV係数				0.071		

		課外参加変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	23.4%	67.5%	9.1%	100.0%	(154)
	変化なし	22.9%	64.3%	12.9%	100.0%	(210)
	減少	25.1%	64.4%	10.5%	100.0%	(191)
合計		23.8%	65.2%	11.0%	100.0%	(555)
フィッシャーの直接検定				p=0.814		
クラメールのV係数				0.038		

図表 4-6 ゲーム時間変化と学校参与変化の関係

		授業集中変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	13.9%	78.0%	8.1%	100.0%	(173)
	変化なし	17.0%	72.5%	10.5%	100.0%	(229)
	減少	17.0%	75.5%	7.5%	100.0%	(159)
合計		16.0%	75.0%	8.9%	100.0%	(561)
フィッシャーの直接検定				p=0.705		
クラメールのV係数				0.045		

		宿題遂行変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	13.7%	79.2%	7.1%	100.0%	(168)
	変化なし	12.6%	81.2%	6.3%	100.0%	(223)
	減少	17.1%	75.3%	7.6%	100.0%	(158)
合計		14.2%	78.9%	6.9%	100.0%	(549)
フィッシャーの直接検定				p=0.716		
クラメールのV係数				0.043		

		部活動熱心変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	16.2%	77.2%	6.6%	100.0%	(167)
	変化なし	19.3%	75.0%	5.7%	100.0%	(228)
	減少	13.6%	78.6%	7.8%	100.0%	(154)
合計		16.8%	76.7%	6.6%	100.0%	(549)
フィッシャーの直接検定				p=0.626		
クラメールのV係数				0.049		

		課外参加変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	24.4%	66.9%	8.7%	100.0%	(172)
	変化なし	23.8%	66.5%	9.7%	100.0%	(227)
	減少	22.0%	62.9%	15.1%	100.0%	(159)
合計		23.5%	65.6%	10.9%	100.0%	(558)
フィッシャーの直接検定				p=0.417		
クラメールのV係数				0.060		

図表 4-7 ケータイ時間変化と学校参与変化の関係

		授業集中変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	18.7%	73.0%	8.3%	100.0%	(230)
	変化なし	14.4%	76.7%	8.9%	100.0%	(202)
	減少	12.4%	77.0%	10.6%	100.0%	(113)
合計		15.8%	75.2%	9.0%	100.0%	(545)
フィッシャーの直接検定				p=0.553		
クラメールのV係数				0.053		

		宿題遂行変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	14.7%	77.8%	7.6%	100.0%	(225)
	変化なし	13.1%	81.3%	5.6%	100.0%	(198)
	減少	14.4%	78.4%	7.2%	100.0%	(111)
合計		14.0%	79.2%	6.7%	100.0%	(534)
フィッシャーの直接検定				p=0.900		
クラメールのV係数				0.031		

		部活動熱心変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	19.2%	73.7%	7.1%	100.0%	(224)
	変化なし	14.6%	80.3%	5.1%	100.0%	(198)
	減少	17.9%	73.2%	8.9%	100.0%	(112)
合計		17.2%	76.0%	6.7%	100.0%	(534)
フィッシャーの直接検定				p=0.426		
クラメールのV係数				0.059		

		課外参加変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	23.2%	64.9%	11.8%	100.0%	(228)
	変化なし	23.3%	68.8%	7.9%	100.0%	(202)
	減少	27.4%	59.3%	13.3%	100.0%	(113)
合計		24.1%	65.2%	10.7%	100.0%	(543)
フィッシャーの直接検定				p=0.370		
クラメールのV係数				0.061		

以上の分析から、メディア利用の変化と学校参与の変化に明確な関連は見られないことが分かる。統計的に有意でないだけでなく、関連の強さを表すクラメールのV係数もすべて0.1未満である。つまり、メディア利用が増えた層でも、減った層でも、変化していない層でも、中だるみは同程度に起こっている。確かに、中2一時点のデータで見れば、メディア利用時間が長い生徒ほど、学校参与が低い傾向がある。しかしそれは、向学校的な価値観を持っていない生徒において、メディア利用時間が長く、学校参与が低い傾向があるためで、メディア利用と学校参与に因果関係があるわけではないと考えられる。

5.2 メディア利用と友人関係の関連

次に、メディア利用と友人関係の変化の関連をクロス集計で示す。検定は前項と同様、フィッシャーの直接検定を用いる。結果が図表4-8～4-10である。

図表 4-8 テレビ時間変化と友人関係変化の関係

		校友関係円滑変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	8.7%	86.7%	4.7%	100.0%	(150)
	変化なし	7.1%	83.9%	9.0%	100.0%	(211)
	減少	6.3%	88.9%	4.8%	100.0%	(189)
合計		7.3%	86.4%	6.4%	100.0%	(550)
フィッシャーの直接検定				p=0.355		
クラメールのV係数				0.065		

		外遊び変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	13.5%	71.0%	15.5%	100.0%	(155)
	変化なし	10.9%	79.1%	10.0%	100.0%	(211)
	減少	12.6%	79.1%	8.4%	100.0%	(191)
合計		12.2%	76.8%	11.0%	100.0%	(557)
フィッシャーの直接検定				p=0.239		
クラメールのV係数				0.072		

		友人肯定変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	16.3%	69.9%	13.7%	100.0%	(153)
	変化なし	11.5%	77.4%	11.1%	100.0%	(208)
	減少	10.5%	71.1%	18.4%	100.0%	(190)
合計		12.5%	73.1%	14.3%	100.0%	(551)
フィッシャーの直接検定				p=0.134		
クラメールのV係数				0.081		

		学級内被害意識変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
テレビ時間 変化	増加	16.6%	76.2%	7.3%	100.0%	(151)
	変化なし	13.2%	78.4%	8.3%	100.0%	(204)
	減少	11.7%	78.7%	9.6%	100.0%	(188)
合計		13.6%	77.9%	8.5%	100.0%	(543)
フィッシャーの直接検定				p=0.723		
クラメールのV係数				0.044		

図表 4-9 ゲーム時間変化と友人関係変化の関係

		校友関係円滑変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	5.9%	87.0%	7.1%	100.0%	(169)
	変化なし	8.0%	86.7%	5.3%	100.0%	(226)
	減少	7.6%	84.8%	7.6%	100.0%	(158)
合計		7.2%	86.3%	6.5%	100.0%	(553)
フィッシャーの直接検定				p=0.809		
クラメールのV係数				0.037		

		外遊び変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	13.9%	77.5%	8.7%	100.0%	(173)
	変化なし	12.7%	73.8%	13.5%	100.0%	(229)
	減少	9.4%	81.1%	9.4%	100.0%	(159)
合計		12.1%	77.0%	10.9%	100.0%	(561)
フィッシャーの直接検定				p=0.341		
クラメールのV係数				0.065		

		友人肯定変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	12.2%	76.2%	11.6%	100.0%	(172)
	変化なし	12.5%	73.2%	14.3%	100.0%	(224)
	減少	12.7%	69.6%	17.7%	100.0%	(158)
合計		12.5%	73.1%	14.4%	100.0%	(554)
フィッシャーの直接検定				p=0.629		
クラメールのV係数				0.049		

		学級内被害意識変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ゲーム時間 変化	増加	14.7%	75.9%	9.4%	100.0%	(170)
	変化なし	13.6%	78.7%	7.7%	100.0%	(221)
	減少	11.6%	79.4%	9.0%	100.0%	(155)
合計		13.4%	78.0%	8.6%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定				p=0.883		
クラメールのV係数				0.032		

図表 4-10 ケータイ時間変化と友人関係変化の関係

		校友関係円滑変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	8.4%	85.5%	6.2%	100.0%	(227)
	変化なし	7.5%	85.6%	7.0%	100.0%	(201)
	減少	5.4%	88.3%	6.3%	100.0%	(111)
合計		7.4%	86.1%	6.5%	100.0%	(539)
フィッシャーの直接検定				p=0.909		
クラメールのV係数				0.032		

		外遊び変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	11.3%	76.1%	12.6%	100.0%	(230)
	変化なし	11.9%	77.2%	10.9%	100.0%	(202)
	減少	14.2%	77.9%	8.0%	100.0%	(113)
合計		12.1%	76.9%	11.0%	100.0%	(545)
フィッシャーの直接検定				p=0.732		
クラメールのV係数				0.043		

		友人肯定変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	11.8%	74.7%	13.5%	100.0%	(229)
	変化なし	14.6%	71.4%	14.1%	100.0%	(199)
	減少	10.8%	73.0%	16.2%	100.0%	(111)
合計		12.6%	73.1%	14.3%	100.0%	(539)
フィッシャーの直接検定				p=0.819		
クラメールのV係数				0.038		

		学級内被害意識変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
ケータイ時間 変化	増加	13.9%	76.7%	9.4%	100.0%	(223)
	変化なし	14.1%	77.4%	8.5%	100.0%	(199)
	減少	10.9%	81.8%	7.3%	100.0%	(110)
合計		13.3%	78.0%	8.6%	100.0%	(532)
フィッシャーの直接検定				p=0.882		
クラメールのV係数				0.035		

以上の分析から、メディア利用の変化と友人関係の変化に明確な関連は見られないことが分かる。統計的に有意でないだけでなく、関連の強さを表すクラメールのV係数もすべ

て 0.1 未満である。このことから、中学生の友人関係の在り方は、学級文化や各自のパーソナリティ（集団志向か個人志向かなど）に由来しており、メディア利用によって変化するほど、単純なものではないと考えられる。たとえば、友達とうまく付き合おうとしてケータイを積極的に使ったり、クラスで馬鹿にされないために「オタク」と思われがちなゲーム趣味をやめたりすることは、有効とは言いがたい³⁾。

6 まとめと結論

本稿で得られた知見をまとめる。まず、中 1 から中 2 にかけての変化については、次の三点が指摘できる。第一に、テレビ時間は減少し、ゲーム時間はほとんど変化せず、ケータイ時間は増加しているが、これらのメディア利用は中 1 からの継続性が高い。第二に、授業への集中、宿題をやるか、部活動に熱心に取り組むか、課外活動に参加するかという学校参与については、低下が見られる。第三に、友人関係については、友達とうまくやっている割合、外遊びをする割合、友達のよいところを認めている割合はほとんど変化しておらず、クラスで馬鹿にされていると感じている割合は減少している。

そして、メディア利用の変化と学校参与・友人関係の変化の関連については、明確な関連が見出せなかった。学校参与の低下は、三年制教育課程の中間という学校システムの構造と、その影響を受けやすい一部の生徒たちの心性に由来しており、メディア利用を制限することで防げるかどうかは確かではないと考えられる。藤田（1991）はかつて、テレビは受動的で非直接経験であるため、努力の困難さを実感することが難しいと指摘した。しかし、現代ほどテレビが普及し、日常の一部となっている状況では、テレビと学校参与の関連は極めて限定的と考えられる。また、千葉（2004）は学校の生徒指導担当はケータイを学業の妨げとして排除したがる傾向があり、ケータイとの適切な付き合い方を指導すべきであるという情報教育担当と衝突することがあると指摘している。本稿の分析結果をふまえると、たとえば宿題をやらなくなった生徒に対応するとき、ケータイを買った／買わないという表面的な行動を問題視しても、解決には至らない可能性がある。

また、友人関係についても、学級文化や各自のパーソナリティに由来しており、メディア利用で変化するほど単純なものではないと考えられる。近年の子どもの友人関係を論じるとき、必ずと言っていいほど、ケータイやゲームが取り上げられる。しかし、メディア利用の影響を過大視することは、一種のモラルパニックである可能性がある⁴⁾。分析結果は省略するが、メディア利用の変化と「夜は決まった時間にねている」の変化との間にも関連は見出されなかった。大多和（2004）は、「ゲームをするのはひまなとき」と述べる生徒が多いことをふまえ、ゲームは何かの原因ではなく、むしろ結果としてあると指摘している。本稿の分析結果は、この指摘を裏付けるものである。

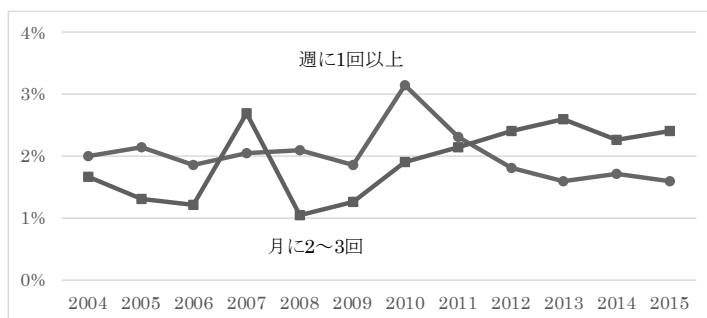
本稿の限界は、サンプルサイズが小さいデータであるため、統計的に有意な関連を見出さなかったことである。そのため、本稿で得られた知見は、あくまで仮説的なものと捉

える必要がある。今後、より多くの時点のデータを集め、正確な因果推論のための多変量解析を行うことが求められる。

[注]

- 1) モラルパニックとは、多数派の人々が少数派の人々の文化に対して、誤解や偏見に基づいて集団的に批判や攻撃を加えることである。自分が理解できないものに対して恐怖を抱くという人の心理によって生じる現象と考えられている。歴史的には魔女狩りや赤狩りが代表例とされ、新しいメディアが登場したときの年長世代の反応もモラルパニックに位置づけられることがある。
- 2) フィッシャーの直接検定では、試行サイズ 10000 のモンテカルロ法によって、正確有意確率を算出している。モンテカルロ法は、乱数を複数回発生させて、より正確な確率を求める方法である。
- 3) もっとも、これだけスマートフォンのアプリゲームが普及している現在、ゲーム趣味が中学生の世界でどれだけ「オタク」と見なされるのかについては、検証の余地がある。ゲームの機器（スマートフォンか DS か PS4 かなど）やジャンルによる違いもあり得る。
- 4) 国立教育政策研究所（2016）の「いじめ追跡調査」を見ても、過去 12 年間でメディアを用いたいじめが増加しているわけではない。当該調査は同一地域の小 4～中 3 全員を対象に、継続的に実施されている。「パソコンや携帯電話で、イヤなことをされた」中学生の割合（6 月と 11 月の平均値、男女の平均値）を算出し、その推移を示したものが図表 4-11 である。

図表 4-11 「パソコンや携帯電話で、イヤなことをされた」中学生の割合



国立教育政策研究所「いじめ追跡調査」より

[参考文献]

- 千葉勝吾, 2004, 「ケータイ vs. 学校」 酒井朗・伊藤茂樹・千葉勝吾編『電子メディアのある「日常」－ケータイ・ネット・ゲームと生徒指導』学事出版, pp.65-78.
- Cohen, S., 2002, *Folk Devils and Moral Panics 3rd edition*, Taylor and Francis.
- 土井隆義, 2014, 『つながりを煽られる子どもたち－ネット依存といじめ問題を考える』岩波ブックレット。

- 藤田英典, 1991, 『子ども・学校・社会ー『豊かさ』のアイロニーのなかで』東京大学出版会。
- 深谷昌志・深谷和子編, 1989, 『ファミコン・シンドローム』同朋舎出版。
- 国立教育政策研究所, 2016, 「いじめ追跡調査 2013-2015」(<http://www.nier.go.jp/shido/shienshiryou/>)。
- 森真一, 2005, 『日本はなぜ静いの多い国になったのかー「マナー神経症」の時代』中公新書ラクレ。
- 大多和直樹, 2004, 「テレビゲームをするのは『ひまなとき』」酒井朗・伊藤茂樹・千葉勝吾編『電子メディアのある「日常」ーケータイ・ネット・ゲームと生徒指導』学事出版, pp.119-132.
- 清水義弘, 1993, 「現代教師のカルテ」木原孝博・熊谷一乗・武藤孝典・藤田英典編『学校文化の社会学』福村出版, pp.237-251.
- 須藤康介, 2013, 『学校の教育効果と階層ー中学生の理数系学力の計量分析』東洋館出版。

第5章 中1ギャップ経験が学校生活に与える影響 ——友人関係面と学力面に着目して——

豊永 耕平（東京大学大学院）

小中一貫教育を義務教育学校として制度的に行うことが2016年度から可能になるなど、近年では小中連携や小中一貫教育への関心が高まっている。しかしながら、中1ギャップ経験（小中間移行のつまづき経験）が、学校生活にどのような影響を与えるのかはこれまで十分に検討されてこなかった。そこで、本章では、中1ギャップ経験が、中学生の友人関係面と学力面にどのような影響を与えるのかを検討した。分析の結果、次の二点が示された。第一に、中1ギャップを経験した生徒は、中学2年時点ではクラス内で馬鹿にされていると感じる割合が減少傾向にあるが、友達とうまくやっている、学校はたのしい、と感じる割合が依然として低い。第二に、中1ギャップを経験した生徒は、高校進学後の勉強面に不安を覚える傾向にあるが、実際には国語や数学の学力が低いわけではない。以上から、中1ギャップ経験のネガティブな影響は、その後緩和する部分と持続する部分の二面性があり、特に、友人関係面や高校への移行の不安としてネガティブな影響が持続することが明らかになった。

1 問題設定

本章の目的は、中学校1年時と中学校2年時の2時点間のパネルデータの分析を通じて、中1ギャップ経験（小中間移行のつまづき経験）が学校生活にどのような影響を与えるのかを明らかにすることである。中1ギャップとは、中学校に移行した中学1年生が、小中間に大きな壁を感じとって、中学校生活にとけ込めない状態を指す（児島・佐野 2006）。特に、小学校から中学校への移行は、日本においてはほとんどすべての子どもが経験する環境移行でありながら、異なる校種への移行と児童期から思春期への移行とが重なる移行であるため、二重の意味で危機的であることが指摘されてきた（古川・小泉・浅川 1992）。しかしながら、異なる校種をまたいで縦断的な調査を行うことの研究上の困難さや、「小中間の移行による学校不適応は時間とともに改善していくので、特別な措置は不必要である」というような楽観的な考え方の中で、実証的な研究はほとんど蓄積されてこなかった。

豊永（2016）では、「中1ギャップ」が発生する背景を分析した結果、中学校に入学して勉強についていけなくなるのではなく、むしろ中学校入学による人間関係の変化や、クラスの雰囲気によって、小中間移行のつまづきが発生していることが明らかになった。以下の図表5・1は、2016年度に学級担任に行った調査データを基にして、中学校1年時の学級担任が「生徒たちが作る友達グループ同士は交流が少なかった」を肯定している場合を「交流非活発」、否定している場合を「交流活発」とした学級の雰囲気と、当該の学級に「小学校と中学校の違いで困ったことがある」を肯定している生徒（中1ギャップを経験している生徒）が、どの程度在籍しているのかを集計したクロス集計表である。

図表 5-1 学級担任が認識する学級の雰囲気と中1ギャップ

		中1ギャップ		合計	有効度数
		該当	非該当		
学級の雰囲気 (担任認識)	交流活発	48.3%	51.7%	100.0%	(439)
	交流非活発	65.1%	34.9%	100.0%	(109)
合計		51.6%	48.4%	100.0%	(548)
フィッシャーの直接検定				p=0.002	
クラメールのV係数				0.135	

図表 5-1 からは、「生徒たちが作る友達グループ同士は交流が少なかった」と学級担任が評価している学級ほど（交流非活発な学級ほど）、中1ギャップを経験している生徒が多いことが読み取れるだろう。逆をいえば、友達グループ同士の交流が多いような中学1年時の学級では、「小学校と中学校の違いで困ったことがある」生徒は少ないことを意味しており、学級内部での人間関係やクラスの雰囲気が、小中間の移行を円滑にする上で、無視しえない役割を果たしているといえる。同様の傾向は、生徒個人の友人関係への態度面から学級の雰囲気を推察しても確認できる¹⁾。以下の図表 5-2 は、「いつも一緒にいる友だちグループ以外の人とは、特に仲良くしたいとは思わない」を肯定する生徒が多い学級を「交流非活発」、肯定する生徒が少ない学級を「交流活発」としてクロス集計したものである。

図表 5-2 生徒個人が認識する学級の雰囲気と中1ギャップ

		中1ギャップ		合計	有効度数
		該当	非該当		
学級の雰囲気 (生徒認識)	交流活発	42.5%	57.5%	100.0%	(289)
	交流非活発	59.2%	40.8%	100.0%	(292)
合計		50.8%	49.2%	100.0%	(581)
フィッシャーの直接検定				p=0.000	
クラメールのV係数				0.167	

図表 5-2 からも、「いつも一緒にいる友だちグループ以外の人とは、特に仲良くしたいとは思わない」生徒が多い学級ほど（交流非活発な学級ほど）、中1ギャップを経験している生徒が多いことが確認できよう。このように、中1ギャップ経験（小中間移行のつまづき経験）は、中学校に入学して勉強についていけなくなるのではなく、むしろ、中学校入学による人間関係の変化や、クラスの雰囲気によって発生しているのである。

しかしながら、このような中1ギャップ経験が、その後の学校生活にどのような影響を与えるのかは必ずしも明らかではない。先行研究では、中1ギャップの背後要因の検討は行われても、中1ギャップ経験が学校生活にどのような影響を与える（与えない）のかは十分に検討されてこなかった（酒井 2007 など）。本章の問題関心は、こうした中1ギャ

ップ経験が、その後の学校生活にどのような影響を与えるのかを明らかにすることである。もちろん、中1ギャップの発生自体が重要な課題であり、その背後要因を検討することは重要な課題である。しかしながら、中1ギャップ経験が、その後の学校生活に与える影響の大きさが明らかになれば、小中間移行に関する政策動向に対しても示唆的であろう。

本章の構成を説明する。第2節では、本章の分析で使用する変数を説明する。そして、第3節と第4節では、友人関係面と学力面に着目して、中1ギャップ経験がその後の学校生活に対して、どのような影響を与えている（与えていない）のかを明らかにする。以上を踏まえて、第5節では、本章の結論と今後の課題について議論し、結びとしたい。

2 使用する変数

本章で分析に使用する変数の設定は以下の図表5-3の通りである。本章で分析を加えていく「中1ギャップ」は、「小学校と中学校の違いで困ったことがある」という質問項目からとらえていく。この変数は、入学したばかりの中学1年生の段階において、①小学校と中学校の違いを認知して、②その違いに困った経験を捉えている。もちろん、この変数だけでは具体的にどのような違いに困っているのかは明らかではないことは事実であり、これまでの研究蓄積で用いられてきた学校適応感尺度とも、少々性格が異なっている。しかしながら、小中間移行のつまずき経験のひとつであることも事実であることから、本章では、このようなつまずき経験が学校生活にどのような影響を与えるのか検討していく。

図表 5-3 本章で分析に使用する変数の設定

変数名	変数の設定
中1ギャップ経験	「小学校と中学校の違いで困ったことがある」への回答（四件法）を二値化した。
学級内被害意識	「クラスの中で馬鹿にされていると感じることがある」への回答（四件法）を二値化した。
仲良しグループ志向	「いつも一緒にいる友だちグループ以外の人とは、特に仲良くしたいと思わない」への回答（四件法）を二値化した。
交友関係円滑	「学校の友だちとうまくやれていると思う」への回答（四件法）を二値化した。
学校の楽しさ	「学校が楽しい」への回答（四件法）を二値化した。
高校進学不安感	「高校に進学したら、勉強についていけるかどうか不安だ」への回答（四件法）を二値化した。
客観的国語学力	国語と数学のスコアを3等分割し、上位、中位、下位とした。
客観的数学学力	
主観的国語学力	「あなたは学年の中でどれくらい国語(数学)の勉強ができるほうだと思いますか」について、「とてもよくできる」「よくできる」を上位、「普通」を中位、「あまりできない」「まったくできない」を下位とした。
主観的数学学力	

3 中1ギャップ経験が友人関係面に与える影響

本節では、中1ギャップ経験が友人関係面に与える影響を検討する。具体的には、中1ギャップ経験が、①学級内被害意識、②仲良しグループ志向、③交友関係円滑、④学校の楽しさに与える影響を検討していく。先述のように、学級内被害意識は、「クラスの中で馬鹿にされていると感じることがある」という意識、仲良しグループ志向は、「いつも一緒にいる友だちグループ以外の人とは、特に仲良くしたいとは思わない」という意識、交友関係円滑は、「学校の友だちとうまくやれていると思う」という意識、学校の楽しさは、「学校が楽しい」という意識を指す。まず、学級内被害意識について検討すると、以下の図表5-4から図表5-6のようになる。

図表 5-4 中1ギャップと学級内被害意識の関連（中学1年時）

		学級内被害意識 (中1時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	34.5%	65.5%	100.0%	(290)
	経験なし	14.6%	85.4%	100.0%	(280)
合計		24.7%	75.3%	100.0%	(570)
フィッシャーの直接検定		p=0.000			
クラメールのV係数		0.230			

図表 5-5 中1ギャップと学級内被害意識の関連（中学2年時）

		学級内被害意識 (中2時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	25.3%	74.7%	100.0%	(269)
	経験なし	13.4%	86.6%	100.0%	(276)
合計		19.3%	80.7%	100.0%	(545)
フィッシャーの直接検定		p=0.000			
クラメールのV係数		0.151			

図表 5-6 中1ギャップと学級内被害意識の変化

		学級内被害意識の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	8.7%	73.5%	17.8%	100.0%	(264)
	経験なし	8.2%	83.0%	8.9%	100.0%	(270)
合計		8.4%	78.3%	13.3%	100.0%	(534)
フィッシャーの直接検定				p=0.008		
クラメールのV係数				0.134		

図表 5-4 からは、中 1 ギャップ経験をしている生徒ほど、学級内被害意識を持っていることが確認できる。中学 2 年時点での関連を示した図表 5-5 を確認しても、同様の傾向が確認できるものの、中学 2 年時点で学級内被害意識を持つ中 1 ギャップ経験者は減少しており、関連の強さを表すクラメールの V 係数も 0.23 から 0.151 まで減少している。また、中学 1 年時点から中学 2 年時点への学級内被害意識の変化を示す図表 5-6 を確認すると、中 1 ギャップを経験していた生徒のうち 17.8%が学級内被害意識を感じなくなっている。以上を踏まえれば、小学校から中学校への移行に伴う人間関係の変化によって生じていた学級内被害意識は緩和傾向にあり、この面では中 1 ギャップは解消されてきたといえる。

次に、仲良しグループ志向については、以下の図表 5-7 から図表 5-9 のようになる。

図表 5-7 中 1 ギャップと仲良しグループ志向の関連（中学 1 年時）

		仲良しグループ志向 (中1時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	19.4%	80.6%	100.0%	(294)
	経験なし	14.4%	85.6%	100.0%	(285)
合計		16.9%	83.1%	100.0%	(579)
フィッシャーの直接検定		p=0.121			
クラメールのV係数		0.067			

図表 5-8 中 1 ギャップと仲良しグループ志向の関連（中学 2 年時）

		仲良しグループ志向 (中2時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	22.2%	77.8%	100.0%	(270)
	経験なし	19.6%	80.4%	100.0%	(276)
合計		20.9%	79.1%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定		p=0.463			
クラメールのV係数		0.033			

図表 5-9 中 1 ギャップと仲良しグループ志向の変化

		仲良しグループ志向の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	14.1%	74.0%	11.9%	100.0%	(269)
	経験なし	13.8%	77.8%	8.4%	100.0%	(275)
合計		14.0%	75.9%	10.1%	100.0%	(544)
フィッシャーの直接検定				p=0.380		
クラメールのV係数				0.060		

図表 5-7 と図表 5-8 を確認すると、中 1 ギャップを経験している生徒の方が、若干ではあるものの、仲良しグループ志向を肯定する傾向にある。しかしながら、統計的には有意ではない上に、関連の強さを示すクラメールの V 係数もすべて 0.1 未満である。仲良しグループ志向の変化を検討した図表 5-9 でも、中 1 ギャップ経験者でわずかに正の変化が大きい傾向にあるものの、統計的に有意な変化は確認できない。したがって、中 1 ギャップを経験した生徒ほど、仲良しグループで固まる傾向にあるというわけではないといえる。むしろ、中 1 ギャップを経験している生徒も経験していない生徒も、等しく、「いつも一緒にいる友だちグループ以外の人」と交流したいと考えていることは確かなのである。

次に、交友関係円滑については、以下の図表 5-10 から図表 5-12 のようになる。

図表 5-10 中 1 ギャップと交友関係円滑の関連（中学 1 年時）

		交友関係円滑 (中 1 時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中 1 ギャップ	経験あり	72.9%	27.1%	100.0%	(295)
	経験なし	68.5%	31.5%	100.0%	(276)
合計		70.7%	29.3%	100.0%	(574)
フィッシャーの直接検定		p=0.271			
クラメールの V 係数		0.049			

図表 5-11 中 1 ギャップと交友関係円滑の関連（中学 2 年時）

		交友関係円滑 (中 2 時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中 1 ギャップ	経験あり	87.4%	12.6%	100.0%	(270)
	経験なし	92.4%	7.6%	100.0%	(276)
合計		89.9%	10.7%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定		p=0.064			
クラメールの V 係数		0.083			

図表 5-12 中 1 ギャップと交友関係円滑の変化

		交友関係円滑の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	5.9%	74.8%	19.3%	100.0%	(270)
	経験なし	3.7%	69.5%	26.8%	100.0%	(269)
合計		4.8%	72.2%	23.0%	100.0%	(539)
フィッシャーの直接検定				p=0.077		
クラメールのV係数				0.098		

図表 5-10 を確認すると、若干ではあるものの、中 1 ギャップを経験している生徒ほど「学校の友だちとうまくやれている」と感じる傾向にあることが確認できるが、統計的には有意ではない。しかしながら、このような傾向は中学 2 年の時点では逆転している。図表 5-11 を確認すると、10%水準ではあるものの統計的に有意な水準で、中 1 ギャップを経験していない生徒の方が、交友関係が円滑であると感じるようになっている。その証左として、中学 1 年時から中学 2 年時への変化を検討した図表 5-12 を確認すると、全体的に交友関係が円滑になる生徒は増加しているものの、その程度は、中 1 ギャップを経験していない生徒の方が大きく、中 1 ギャップ経験がその後でも影響しているといえる。

最後に、学校の楽しさについては、以下の図表 5-13 から図表 5-15 のようになる。

図表 5-13 中 1 ギャップと学校の楽しさの関連（中学 1 年時）

		学校の楽しさ (中1時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	78.3%	21.7%	100.0%	(295)
	経験なし	80.8%	19.2%	100.0%	(286)
合計		79.5%	20.5%	100.0%	(581)
フィッシャーの直接検定		p=0.474			
クラメールのV係数		0.031			

図表 5-14 中 1 ギャップと学校の楽しさの関連（中学 2 年時）

		学校の楽しさ (中2時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	72.0%	28.0%	100.0%	(271)
	経験なし	78.6%	21.4%	100.0%	(276)
合計		75.3%	24.7%	100.0%	(547)
フィッシャーの直接検定		p=0.075			
クラメールのV係数		0.077			

図表 5-15 中 1 ギャップと学校の楽しさの変化

		学校の楽しさの変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	15.1%	77.5%	7.4%	100.0%	(271)
	経験なし	12.3%	78.3%	9.4%	100.0%	(276)
合計		13.7%	77.9%	8.4%	100.0%	(547)
フィッシャーの直接検定				p=0.487		
クラメールのV係数				0.052		

図表 5-13 と図表 5-14 を確認すると、中 1 ギャップを経験している生徒よりも、経験していない生徒の方が、「学校が楽しい」と感じる傾向にあることが読み取れる。学校の楽しさの変化を検討した図表 5-15 から、同様の傾向が確認できる。全体的に、学校が楽しくなくなっている生徒が増加しているが（学校を楽しんでいる生徒が減少しているが）、学校の楽しさの減少の程度は、中 1 ギャップを経験している生徒の方が大きいのである。

これら友人関係面の諸点を統合してみる限り、小学校から中学校への移行に伴って生じていた学級内被害意識は緩和傾向にあり、中 1 ギャップを経験した生徒もそうではない生徒も仲よしグループ志向が強いわけではないといえる。しかしながら、中 1 ギャップを経験した生徒は、経験していない生徒と比較して、友人関係が円滑であると感じない傾向にあり、そのこともあってか、学校が楽しいと感じる生徒が少ないことが明らかになった。小中間移行に伴う友人関係面でのつまずきは、中学校 2 年時点では完全に解消に向かうわけではなく、その後に緩和する部分と持続する部分の二面性があるといえるだろう。

4 中 1 ギャップ経験が学力面に与える影響

本節では、中 1 ギャップ経験が学力面に与える影響を検討する。具体的には、中 1 ギャップ経験が、①高校進学不安、②国語学力（客観的・主観的）、③数学学力（客観的・主観的）に与える影響を検討していく。先述のように、高校進学不安は、「高校に進学したら、勉強についていけるかどうか不安だ」という意識、国語（数学）学力は、学力スコア（客観的）と「学年の中でどれくらい国語（数学）の勉強ができるほうだと思いますか」という学力の自己認知（主観的）を指す。まず、高校進学不安について検討したい。中 1 ギャップ経験との関連を示すと、以下の図表 5-16 から図表 5-18 のようになる。

図表 5-16 からは、中学 1 年時点では、全体の生徒の 88.7%が高校に進学した後で勉強についていけるか不安に感じており、その中でも特に、中 1 ギャップを経験した生徒では不安に感じている生徒が多いことが読み取れるだろう（91.6%）。中学 2 年時点での関連を示した図表 5-17 を確認しても同様の傾向にあるが、中 1 ギャップを経験していない生徒でも、高校進学後の勉強面に不安を感じる生徒が増加していることが確認できる。

図表 5-16 中 1 ギャップと高校進学不安の関連（中学 1 年時）

		高校進学不安感 (中1時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	91.6%	8.4%	100.0%	(287)
	経験なし	85.6%	14.4%	100.0%	(278)
合計		88.7%	11.3%	100.0%	(565)
フィッシャーの直接検定		p=0.025			
クラメールのV係数		0.095			

図表 5-17 中1ギャップと高校進学不安の関連（中学2年時）

		高校進学不安感 (中2時点)		合計	有効度数
		該当	非該当		
中1ギャップ	経験あり	94.1%	5.9%	100.0%	(270)
	経験なし	89.1%	10.9%	100.0%	(276)
合計		91.6%	8.4%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定		p=0.045			
クラメールのV係数		0.089			

図表 5-18 中1ギャップと高校進学不安の変化

		高校進学不安感の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	7.3%	87.0%	5.7%	100.0%	(262)
	経験なし	10.0%	84.4%	5.6%	100.0%	(270)
合計		8.7%	85.7%	5.6%	100.0%	(532)
フィッシャーの直接検定				p=0.537		
クラメールのV係数				0.049		

このように、全体的に「高校に進学したら、勉強についていけるかどうか不安だ」と感じる生徒が多いことは確かであるが、その傾向は小中間の移行でつまずいた（中1ギャップを経験した）生徒で多いことが明らかになった。このこともあつてか、中学1年時と中学2年時の変化を検討した図表 5-18 では、統計的に有意な変化を確認できない。

しかしながら、中1ギャップを経験した生徒は、中学校の段階から勉強面でつまずきを感じているために、高校進学後の勉強面でも不安を覚えているのだろうか。そのことを検証するために、国語と数学に関して、客観的・主観的な学力と中1ギャップ経験を検証していく。客観的な国語学力と、主観的な国語学力と中1ギャップ経験の関連を検討しているのが、以下の図表 5-19 から図表 5-24 である。

図表 5-19 中1ギャップと国語学力の関連（中学1年時）

		国語学力 (中1時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	33.1%	24.2%	42.7%	100.0%	(293)
	経験なし	32.2%	25.2%	42.7%	100.0%	(286)
合計		32.6%	24.7%	42.7%	100.0%	(579)
フィッシャーの直接検定				p=0.960		
クラメールのV係数				0.013		

図表 5-20 中1ギャップと国語学力の関連（中学2年時）

		国語学力 (中2時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	28.8%	38.0%	33.2%	100.0%	(271)
	経験なし	26.0%	35.7%	38.3%	100.0%	(277)
合計		27.4%	36.9%	35.8%	100.0%	(548)
フィッシャーの直接検定				p=0.464		
クラメールのV係数				0.053		

図表 5-21 中1ギャップと国語学力の変化

		国語学力の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	21.2%	60.6%	18.2%	100.0%	(269)
	経験なし	17.0%	66.1%	17.0%	100.0%	(277)
合計		19.1%	63.4%	17.6%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定				p=0.360		
クラメールのV係数				0.061		

図表 5-22 中1ギャップと主観的国語学力の関連（中学1年時）

		主観的国語学力 (中1時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	39.4%	47.0%	13.6%	100.0%	(287)
	経験なし	38.4%	45.6%	16.0%	100.0%	(281)
合計		38.9%	46.3%	14.8%	100.0%	(568)
フィッシャーの直接検定				p=0.735		
クラメールのV係数				0.034		

図表 5-23 中1ギャップと主観的国語学力の関連（中学2年時）

		主観的国語学力 (中2時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	35.6%	49.3%	14.8%	100.0%	(270)
	経験なし	36.8%	48.9%	14.3%	100.0%	(272)
合計		36.2%	49.3%	14.6%	100.0%	(542)
フィッシャーの直接検定				p=0.964		
クラメールのV係数				0.013		

図表 5-24 中 1 ギャップと主観的国語学力の変化

		主観的国語学力の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	17.9%	61.1%	21.0%	100.0%	(262)
	経験なし	20.8%	60.2%	19.0%	100.0%	(269)
合計		19.4%	60.6%	20.0%	100.0%	(531)
フィッシャーの直接検定				p=0.657		
クラメールのV係数				0.040		

以上の分析から、中 1 ギャップ経験と客観的・主観的国語学力には明瞭な関連は見られないことが読み取れるだろう。いずれのクロス表も、統計的に有意でないだけでなく、クラメールの V 係数もすべて 0.1 未満である。つまり、中 1 ギャップを経験している生徒ほど、国語の成績が低い傾向にあるわけではなく、自らの国語の成績を低く位置付ける傾向にあるわけではないのである。豊永（2016）が議論しているように、小中間移行に伴うつまづきは、勉強面というよりも、人間関係面で生じていることから明らかであろう。以上から、中 1 ギャップ経験が、その後の勉強面には、少なくとも国語に関してはネガティブな影響を与えるわけではないといえる。最後に、数学学力と中 1 ギャップ経験の関連を検討しているのが、以下の図表 5-25 から図表 5-30 である。

図表 5-25 中 1 ギャップと数学学力の関連（中学 1 年時）

		数学学力 (中1時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	27.9%	37.4%	34.7%	100.0%	(294)
	経験なし	31.8%	33.6%	34.6%	100.0%	(286)
合計		29.8%	35.5%	34.7%	100.0%	(579)
フィッシャーの直接検定				p=0.507		
クラメールのV係数				0.048		

図表 5-26 中 1 ギャップと数学学力の関連（中学 2 年時）

		数学学力 (中2時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	29.3%	36.7%	34.1%	100.0%	(270)
	経験なし	30.3%	32.1%	37.6%	100.0%	(277)
合計		29.8%	34.4%	35.8%	100.0%	(547)
フィッシャーの直接検定				p=0.513		
クラメールのV係数				0.049		

図表 5-27 中 1 ギャップと数学学力の変化

		数学学力の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	19.0%	65.4%	15.6%	100.0%	(269)
	経験なし	16.3%	65.3%	18.4%	100.0%	(277)
合計		17.6%	65.4%	17.0%	100.0%	(546)
フィッシャーの直接検定				p=0.560		
クラメールのV係数				0.047		

図表 5-28 中 1 ギャップと主観的数学学力の関連（中学 1 年時）

		主観的数学学力 (中1時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	35.5%	39.0%	25.4%	100.0%	(287)
	経験なし	27.1%	43.1%	29.9%	100.0%	(281)
合計		31.3%	41.0%	27.6%	100.0%	(568)
フィッシャーの直接検定				p=0.088		
クラメールのV係数				0.092		

図表 5-29 中 1 ギャップと主観的数学学力の関連（中学 2 年時）

		主観的数学学力 (中2時点)			合計	有効度数
		下位層	中位層	上位層		
中1ギャップ	経験あり	42.2%	35.9%	21.9%	100.0%	(270)
	経験なし	37.0%	40.7%	22.3%	100.0%	(273)
合計		39.6%	38.3%	22.1%	100.0%	(543)
フィッシャーの直接検定				p=0.422		
クラメールのV係数				0.057		

図表 5-30 中 1 ギャップと主観的数学学力の変化

		主観的数学学力の変化			合計	有効度数
		負の変化	変化なし	正の変化		
中1ギャップ	経験あり	27.5%	59.5%	13.0%	100.0%	(262)
	経験なし	27.4%	61.1%	11.5%	100.0%	(270)
合計		27.4%	60.3%	12.2%	100.0%	(532)
フィッシャーの直接検定				p=0.868		
クラメールのV係数				0.024		

以上の分析から、国語学力の場合と同様に、中 1 ギャップ経験と客観的・主観的数学学力には明瞭な関連は見られないことが読み取れるだろう。ほとんどのクロス表で統計的に有意でないだけでなく、クラメールの V 係数もすべて 0.1 未満であることが読み取れる。もちろん、中学 1 年生時点での主観的数学学力との関連を示した図表 5-28 だけは 10%水準を認めれば有意であり、中 1 ギャップを経験している生徒ほど、若干ではあるものの、自らの数学学力を低く位置付ける傾向にあることは事実である。また、中学 2 年生時点での主観的数学学力との関連を示した図表 5-29 でも、統計的に有意ではないが、中 1 ギャップを経験している生徒のうち、42.2%が自らの数学学力を低く位置付けている。

しかしながら、実際の数学の学力との関連を示す図表 5-25・図表 5-26・図表 5-27 から読み取れるように、実際には、中 1 ギャップを経験した生徒の数学の学力が低い傾向にあるわけではない。すなわち、中 1 ギャップを経験した生徒は、自らの数学学力に厳しい評価を下す傾向にあるといえるだろう。いずれにせよ、中 1 ギャップ経験自体が、学力面にネガティブな影響を与えているわけではないことが明らかになった。

5 結論

本章では、中学校 1 年時と中学校 2 年時の 2 時点間のパネルデータという本調査の特徴をいかして、中 1 ギャップ経験が、友人関係面と勉強面の学校生活に与える影響を検討してきた。その結果、以下のようなことが明らかになった。

第一に、中 1 ギャップを経験した生徒は、中学校 2 年時点ではクラス内で馬鹿にされていると感じる割合が減少傾向にあるものの、友達とうまくやっている、学校はたのしい、と感じる割合が依然として低いことが明らかになった。このことは、小中間移行のつまずき経験（中 1 ギャップ経験）がその後の友人関係面に与える影響は、持続的な部分と緩和的な部分の二面性があることを意味している。小学校から中学校へと移行したばかりの中学校 1 年時においては、中 1 ギャップを経験した生徒は「クラス内で馬鹿にされていると感じることがある」という学級内被害意識を持つ傾向にあったが、中学校 2 年時には、学級内被害意識は緩和する傾向にあった。したがって、この面では、中 1 ギャップは解消に向かっているといえる。しかしながら、友人関係円滑や学校の楽しさにおいては、若干ではあるが、中 1 ギャップを経験した生徒の方が、肯定する割合が低い傾向にあったため、この面では中 1 ギャップ経験のネガティブな影響が持続している。このように、中 1 ギャップ経験の影響には持続的な部分と緩和的な部分の二面性があることが明らかになった。

第二に、中 1 ギャップを経験した生徒は、高校進学後の勉強面に不安を覚える傾向にあるが、実際には国語や数学の学力が低いわけではないことが明らかになった。中 1 ギャップを経験した生徒は、自らの数学学力に対して厳しい評価を下す傾向にあったが、実際には、国語や数学の学力が低い傾向にあるわけではないのである。このことは、小中間移行のつまずき経験自体が、中学校から高校への将来の学校間移行の見通しを暗くしているこ

とを意味している。中1ギャップ経験は実際の勉強面とは関係なく、将来の移行への見通しを暗くするという意味でも持続的なネガティブな影響を与えることが明らかになった。

以上から、中1ギャップ経験のネガティブな影響は、学力面というよりもむしろ、友人関係面や高校への移行の不安として存続することが明らかになった。したがって、「小中間の移行による学校不適応は時間とともに改善していくので、特別な措置は不必要である」というような楽観的な考え方は検討の余地がある。中1ギャップ経験のネガティブな影響が、緩和する部分と持続する部分の二面性を慎重に見極めていくことが重要であろう。

本章の限界は、サンプルサイズが小さいこともあって、統計的に有意な関連を見出しづらかったことである。したがって、より多くの時点のデータを集めて、正確な因果推論のための多変量解析を行うことが必要である。しかしながら、従来の研究蓄積では十分に検討されてこなかった、中1ギャップ経験自体がその後の学校生活にもたらす影響を検討し、そうしたネガティブな影響の二面性を指摘した本章の意義は決して小さくはないだろう。本章の議論は、今後の研究蓄積の素地として位置づけられる。

[注]

- 1) 学級担任の認識と生徒の認識が異なっている可能性を考慮して、学級担任と生徒の両方から学級の雰囲気进行了考察した。これらの結果が一致しているということは、中学1年時の学級担任は、生徒たちの様子から学級の雰囲気を正確に把握していたといえるだろう。
- 2) 「学校が楽しい」という意識は正確には友人関係面とは言いがたいが、友人関係から「学校が楽しい」と感じる側面があることも事実であることから、議論の便宜上、本章では友人関係面の意識とした。

[参考文献]

- 古川雅文・小泉令三・浅川潔司, 1992, 「小・中・高等学校を通じた移行」 山本多喜司・ワップナー編『人生移行の発達心理学』, 北大路書房, pp.152-178。
- 児島邦宏・佐野金吾, 2006, 『中1ギャップ克服のプログラム』明治図書。
- 酒井朗, 2007, 「首都圏における中学進学問題と学校不適応——小中移行の追跡パネル調査をもとに」酒井朗・青木紀久代・菅原ますみ編『子どもの発達危機の理解と支援——漂流する子ども』(誕生から死までの人間発達科学 お茶の水女子大学 21世紀 COE プログラム 第3巻), 金子書房, pp.81-97。
- 豊永耕平, 2016, 「なぜ「中1ギャップ」が発生するのか——小学校6年時と中学校1年時のパネルデータから」堤孝晃・須藤康介編『X 市中学生パネル学力調査——第一次調査報告』東京大学社会科学研究所研究シリーズ, No.60, pp.81-98。

調査票①

以下は、ベネッセコーポレーションへ委託した「総合学力調査」のうちの「学習意識調査」の調査票である。なお、「学習到達度調査」に関しては非公開である。

平成 28 年度

中学校第 2 学年 学習についてのアンケート

組 番 名前

■あなたのことについて、あてはまるものを右の1～4から一つ選びなさい。

とても
あてはまる

まあ
あてはまる

あまり
あてはま
らない

まったく
あてはま
らない

- | | | | | | | | | |
|------|--|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) | 友だちと外で遊んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (2) | ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (3) | 本や新聞を読んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (4) | パソコンやインターネットを使う。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (5) | 放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (6) | ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。) | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (7) | ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。) | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (8) | 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (9) | 今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (10) | 勉強やスポーツのことで、家の人が応えんしてくれる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (11) | 将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (12) | 新聞に書かれていることについて家の人と話をする。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (13) | 朝食は毎日食べている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (14) | 朝、起こされなくても自分で起きている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (15) | 夜は決まった時間にねている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (16) | 家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (17) | 食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (18) | ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (19) | 本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (20) | 学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (21) | 学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (22) | 学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (23) | 学校に行くのが楽しい。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (24) | 同じ間違いをしないように気をつけている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (25) | 努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |

		とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまら ない	まったく あてはまら ない
(26)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(27)	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	1	2	3	4
(28)	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	1	2	3	4
(29)	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	1	2	3	4
(30)	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	1	2	3	4
(31)	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	1	2	3	4
(32)	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	1	2	3	4
(33)	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	1	2	3	4
(34)	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(35)	自分で学習の計画を立てている。	1	2	3	4
(36)	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	1	2	3	4
(37)	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	1	2	3	4
(38)	学習を始めたなら、他のことに気をとられないで、集中している。	1	2	3	4
(39)	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	1	2	3	4
(40)	正しい姿勢で学習している。	1	2	3	4
(41)	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	1	2	3	4
(42)	授業を集中して受けている。	1	2	3	4
(43)	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	1	2	3	4
(44)	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	1	2	3	4
(45)	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	1	2	3	4
(46)	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	1	2	3	4
(47)	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	1	2	3	4
(48)	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	1	2	3	4
(49)	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	1	2	3	4
(50)	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	1	2	3	4
(51)	いつも新しいアイディアを考えたり、工夫したりしている。	1	2	3	4
(52)	自分と違う意見も尊重している。	1	2	3	4

とても まあ あまり まったく
あてはまる あてはまる あてはまら あてはまら
 ない ない

(53) 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがあ 1 — 2 — 3 — 4
る。

(54) 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。 1 — 2 — 3 — 4

■あなたは、次の教科などの勉強がどれくらい好きですか？ 右の1～4から一つ選びなさい。

		とても 好き	まあ 好き	あまり 好きでは ない	好きでは ない
(55)	国語	1	2	3	4
(56)	社会	1	2	3	4
(57)	数学	1	2	3	4
(58)	理科	1	2	3	4
(59)	音楽	1	2	3	4
(60)	美術	1	2	3	4
(61)	保健体育	1	2	3	4
(62)	技術	1	2	3	4
(63)	家庭	1	2	3	4
(64)	英語	1	2	3	4
(65)	総合的な学習の時間	1	2	3	4
(66)	道徳	1	2	3	4
(67)	学級活動	1	2	3	4

■あなたは、次の教科などの授業が、どれくらいわかっていますか？ 右の1～4から一つ選びなさい。

		よく わかって いる	まあ わかって いる	あまり わかって いない	まったく わかって いない
(68)	国語	1	2	3	4
(69)	社会	1	2	3	4
(70)	数学	1	2	3	4
(71)	理科	1	2	3	4
(72)	音楽	1	2	3	4
(73)	美術	1	2	3	4
(74)	保健体育	1	2	3	4
(75)	技術	1	2	3	4
(76)	家庭	1	2	3	4
(77)	英語	1	2	3	4

■あなたのことについて、あてはまるものを下の1～7から一つ選びなさい。

- (78) あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)

0冊	1, 2冊	3, 4冊	5, 6冊	7, 8冊	9, 10冊	11冊以上
1	2	3	4	5	6	7

- (79) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。

ほとんど 見なかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

- (80) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。

ほとんど 見なかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

- (81) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)

ほとんど しなかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

- (82) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)

ほとんど しなかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

- (83) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。

ほとんど しなかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

- (84) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。

ほとんど しなかった	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	2	3	4	5	6	7

■あなたの学校での学習や宿題などについて、あてはまるものを右の1～4から一つ選びなさい。

- | | | とても
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはま
らない | まったく
あてはま
らない |
|-------|--|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| (85) | 国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (86) | 国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (87) | 国語の授業で、物語を作ったことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (88) | 国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (89) | 数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (90) | 数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (91) | 数学の宿題で、文章題を作ったことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (92) | 数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (93) | 社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (94) | 社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (95) | 社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (96) | 社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (97) | 理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (98) | 理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (99) | 理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (100) | 理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (101) | 英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (102) | 英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話文を作ってコミュニケーションしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (103) | 英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (104) | 英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

■あなたのことについて、あてはまるものを右の1～4から一つ選びなさい。

とても
あてはまる

まあ
あてはまる

あまり
あてはま
らない

まったく
あてはま
らない

- | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (105) | 私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (106) | 私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (107) | 私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (108) | 私は、生徒会で決めた活動や学校行事に、進んで取り組んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (109) | 私は、学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (110) | 私は、楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (111) | 私は、集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守っている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (112) | 私は、学級会で、司会や記録を担当して話し合いを進めたことがある。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (113) | 私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (114) | 私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (115) | 私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (116) | 私は、異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめたことがある。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (117) | 私は、家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (118) | 私は、小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (119) | 私は、「ありがとう」を伝え合っている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (120) | 私は、授業中、グループ学習やグループ活動によく協力している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (121) | 私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (122) | 私は、友だちの間に上下関係なく、誰とでも平等に接している。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (123) | 私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (124) | 私は、男女仲よく、共に学んだり活動したりしている。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |
| (125) | 私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。 | 1 | — | 2 | — | 3 | — | 4 |

■あなたの家庭での学習について、あてはまるものを右の1～4から一つ選びなさい。

- | | とても
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはま
らない | まったく
あてはま
らない |
|---|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| (129) 家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (130) 家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (131) 学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (132) 次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (133) 自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (134) テレビやラジオをつけないで集中して学習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (135) 授業で習ったことは、その日のうちに復習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

■あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1～4から一つ選びなさい。

(136)

- 1 部活動に参加し、熱心に活動している。
- 2 部活動に参加しているが、あまり熱心に活動していない。
- 3 以前は参加していたが、現在は参加していない。
- 4 今までに参加したことはない。

■あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1～6から一つ選びなさい。

(137)

- 1 高校まで
- 2 専門学校・各種学校まで
- 3 短期大学まで
- 4 四年制大学まで
- 5 大学院まで
- 6 その他

続いて、別紙の質問に答えましょう。

調査票②

「学習意識調査」に本研究会が追加して実施した質問紙の調査票である。

●学習についてのアンケート 追加用紙

- ※ 回答はこの追加用紙から始めてください。
 ※ この用紙への回答は直接記入してください。

●●中学校 2 学年		シール
組	番	

Q 1 あなたは現在、部活動に参加していますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 運動部に参加し、熱心に活動している
2. 運動部に参加しているが、あまり熱心には活動していない
3. 文化部に参加し、熱心に活動している
4. 文化部に参加しているが、あまり熱心には活動していない
5. 運動部と文化部の両方に参加している
6. 部活動に参加していない

Q 2 あなたは、学年の中でどれくらい勉強ができるほうだと思いますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とてもよくできる
2. よくできる
3. 普通
4. あまりできない
5. まったくできない

Q 3 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	どちらかと いえば	どちらかと いえば	
あてはまる	あてはまる	あてはまらない	あてはまらない

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A. 自分にはよいところがあると思う | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| B. 学校の友だちとうまくやれていると思う | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| C. 将来の夢や目標を持っている | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| D. 家の人（兄弟姉妹を除く）と
学校での出来事について話をする | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| E. 家の人が新聞を読んでいるのをよく見かける | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| F. クラスの中で馬鹿にされていると感じることがある | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |
| G. いつも一緒にいる友だちグループ以外の人とは、
特に仲良くしたいとは思わない | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | - | - | - | 4 |

Q 4 あなたが高校で進学したい^{がっか}学科は、次のうちどれですか。
 今、候補^{こうほ}として少しでも考えている番号すべてに○をつけてください。

1. 普通科（国社数理英を中心に学ぶ高校）
2. 専門^{せんもん}学科（国社数理英以外を中心に学ぶ高校）
3. 総合^{そうごう}学科（関心のある科目を自由に選択する高校）
4. 高校には進学する予定だが、学科はまったく考えていない
5. 高校には進学しない予定

Q 5 次のことは、あなたにはどれくらいあてはまりますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	あてはまる	どちらかと いえば あてはまる	どちらかと いえば あてはまらない	あてはまらない
A. 今住んでいる ^{ちいき} 地域の行事に参加している	1	2	3	4
B. いじめは、どんな理由があっても いけないことだと思う	1	2	3	4
C. 学校の先生たちの言うことは ^{しんらい} 信頼できると思う	1	2	3	4
D. テストの点数で人を ^{ひょうか} 評価することは よくないことだと思う	1	2	3	4
E. 実力テストや ^{もぎしけん} 模擬試験の結果を見たとき、 もっと ^{がんば} 頑張って勉強しようと思う	1	2	3	4
F. 困っている人がいたら 社会みんなで助けるべきだと思う	1	2	3	4
G. 少しでも学力の高い高校へ進学したい	1	2	3	4
H. 高校で仕事に ^{ちよくせつ} 直接役立つことを学びたい	1	2	3	4
I. 高校に進学したら、 勉強についていけるかどうか不安だ	1	2	3	4
J. 将来、地位や ^{ちいめいと} 名誉のある職業につきたい	1	2	3	4
K. 将来、自分の ^{きょうみ} 興味・ ^{かんしん} 関心を いかせる仕事につきたい	1	2	3	4

うらにも質問があります

Q 6 あなたは^{がくしゅうじゅく}学習塾（^{かていきょうし}家庭教師の先生に教わっている場合も含みます）で勉強をしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ^{がくしゅうじゅく}学習塾に通っていない
2. 学校の勉強より進んだ内容や、^{むずかしい}難しい内容を勉強している
3. 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している
4. 上記2, 3の両方の内容を勉強している
5. 上記2, 3の両方のどちらともいえない

Q 7 あなたは、テストの点数で測ることのできる能力以外の能力をどれくらい持っていると思いますか。まったく持っていない場合を1点、十分に持っている場合を5点として、点数に○をつけてください。

まったく持っていない

十分に持っている

1 - - - - - 2 - - - - - 3 - - - - - 4 - - - - - 5

Q 8 あなたは将来、どれくらい幸せに生きていけると思いますか。まったく幸せに生きていけないと思う場合を1点、とても幸せに生きていけると思う場合を6点として、点数に○をつけてください。

まったく幸せに
生きていけない

とても幸せに
生きていける

1 - - - - - 2 - - - - - 3 - - - - - 4 - - - - - 5 - - - - - 6

Q 9 あなたは普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、^{けいたいでんわ}携帯電話やスマートフォンで^{つうわ}通話やメール、インターネットをしますか（^{けいたいでんわ}携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます）。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない
6. 30分より少ない
7. ^{けいたいでんわ}携帯電話やスマートフォンを持っていない

Q 1 0 あなたの家には、本（マンガ、雑誌、学習参考書以外）はどれくらいありますか。
あなたの家族の本も含みます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ほとんどない
2. 20冊くらい（本棚^{ほんだな}1段分くらい）
3. 50冊くらい（本棚半分くらい）
4. 100冊くらい（本棚1つ分くらい）
5. 200冊くらい（本棚2つ分くらい）
6. 300冊くらい（本棚3つ分くらい）
7. 400冊以上（本棚4つ分以上）

Q 1 1 あなたは学年の中でどれくらい国語の勉強ができるほうだと思いますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とてもよくできる
2. よくできる
3. 普通
4. あまりできない
5. まったくできない

Q 1 2 あなたは学年の中でどれくらい数学の勉強ができるほうだと思いますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とてもよくできる
2. よくできる
3. 普通
4. あまりできない
5. まったくできない

質問は以上です 引き続き、マークシートの問題を回答してください

付表

以下は、2016 年度中学 2 年生の「総合学力調査」の「学習意識調査」および研究会が追加した別紙の質問紙調査の結果を集計したものである。

調査結果を読むうえでの基礎的な情報として、①「単純分布」、②「中 2 状況ごとの中 2 国語スコアの平均値」、③「中 2 状況ごとの中 2 数学スコアの平均値」、④「中 2 状況と中 2 国語スコア 3 分位とのクロス集計」、⑤「中 2 状況と中 2 数学スコア 3 分位とのクロス集計」の 5 つの列を作成した。これらはすべて列を集計し 100%となるよう集計されている。

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
友だちと外で遊んでいる。	とてもあてはまる	200	34.8%	47.79	46.86	44.5%	29.0%	26.5%	52.8%	19.9%	27.3%
	まああてはまる	181	31.5%	50.90	51.01	32.0%	29.3%	38.7%	29.1%	25.5%	45.5%
	あまりあてはまらない	137	23.8%	50.13	50.89	32.8%	27.0%	40.1%	32.6%	24.2%	43.2%
	まったくあてはまらない	57	9.9%	52.50	52.44	17.5%	43.9%	38.6%	19.6%	39.2%	41.2%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	とてもあてはまる	314	54.6%	48.47	48.16	42.0%	27.7%	30.3%	45.4%	22.1%	32.5%
	まああてはまる	139	24.2%	51.79	51.95	24.5%	31.7%	43.9%	24.8%	28.6%	46.6%
	あまりあてはまらない	72	12.5%	52.09	52.26	25.0%	33.3%	41.7%	21.5%	32.3%	46.2%
	まったくあてはまらない	49	8.5%	49.44	49.36	34.7%	36.7%	28.6%	42.2%	17.8%	40.0%
	無回答	1	0.2%	40.36	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
本や新聞を読んでいる。	とてもあてはまる	141	24.5%	52.47	51.80	25.5%	24.1%	50.4%	30.0%	20.8%	49.2%
	まああてはまる	173	30.1%	51.72	51.07	27.2%	31.8%	41.0%	31.6%	25.7%	42.8%
	あまりあてはまらない	163	28.3%	49.28	50.16	34.4%	36.2%	29.4%	31.5%	29.5%	38.9%
	まったくあてはまらない	98	17.0%	43.41	43.34	64.3%	25.5%	10.2%	64.5%	20.4%	15.1%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パソコンやインターネットを使う。	とてもあてはまる	241	41.9%	50.38	49.19	36.1%	23.7%	40.2%	39.9%	21.6%	38.5%
	まああてはまる	166	28.9%	50.86	51.06	29.5%	33.1%	37.3%	32.7%	24.8%	42.5%
	あまりあてはまらない	96	16.7%	48.76	50.45	37.5%	33.3%	29.2%	28.6%	31.0%	40.5%
	まったくあてはまらない	71	12.3%	46.75	47.03	42.3%	39.4%	18.3%	48.5%	26.5%	25.0%
	無回答	1	0.2%	47.10	55.44	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	とてもあてはまる	201	35.0%	50.76	50.31	31.3%	30.3%	38.3%	34.6%	23.6%	41.8%
	まああてはまる	144	25.0%	50.76	50.78	31.9%	31.3%	36.8%	35.6%	21.2%	43.2%
	あまりあてはまらない	130	22.6%	49.47	50.50	39.2%	23.1%	37.7%	32.2%	24.8%	43.0%
	まったくあてはまらない	99	17.2%	46.87	45.74	42.4%	36.4%	21.2%	50.6%	31.5%	18.0%
	無回答	1	0.2%	47.10	45.79	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	とてもあてはまる	112	19.5%	50.55	50.55	31.3%	32.1%	36.6%	33.3%	24.8%	41.9%
	まああてはまる	132	23.0%	52.02	52.40	24.2%	36.4%	39.4%	23.3%	29.2%	47.5%
	あまりあてはまらない	139	24.2%	49.39	50.98	38.8%	23.7%	37.4%	30.5%	23.4%	46.1%
	まったくあてはまらない	192	33.4%	48.12	46.36	42.2%	29.2%	28.6%	53.8%	22.2%	24.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	とてもあてはまる	155	27.0%	52.10	52.00	26.5%	29.0%	44.5%	27.9%	23.6%	48.6%
	まああてはまる	95	16.5%	50.57	51.85	29.5%	34.7%	35.8%	26.7%	23.3%	50.0%
	あまりあてはまらない	129	22.4%	49.68	50.18	36.4%	29.5%	34.1%	33.1%	28.9%	38.0%
	まったくあてはまらない	194	33.7%	47.57	46.40	44.3%	28.9%	26.8%	52.6%	22.9%	24.6%
	無効回答	2	0.3%	57.21	51.99	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う。	とてもあてはまる	279	48.5%	50.32	50.27	33.3%	30.5%	36.2%	35.3%	23.1%	41.6%
	まああてはまる	217	37.7%	49.55	49.69	35.9%	30.9%	33.2%	35.5%	27.4%	37.1%
	あまりあてはまらない	64	11.1%	49.13	48.31	37.5%	26.6%	35.9%	45.6%	17.5%	36.8%
	まったくあてはまらない	15	2.6%	46.35	44.59	46.7%	26.7%	26.7%	53.3%	40.0%	6.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれたと思う。	とてもあてはまる	95	16.5%	50.72	51.02	32.6%	28.4%	38.9%	34.1%	22.4%	43.5%
	まああてはまる	271	47.1%	50.80	50.66	32.8%	28.4%	38.7%	32.0%	25.6%	42.4%
	あまりあてはまらない	162	28.2%	47.89	47.94	40.7%	30.9%	28.4%	44.4%	22.9%	32.6%
	まったくあてはまらない	46	8.0%	48.47	46.92	34.8%	41.3%	23.9%	47.7%	29.5%	22.7%
	無回答	1	0.2%	60.58	67.84	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	とてもあてはまる	301	52.3%	50.13	49.89	33.2%	31.2%	35.5%	37.3%	22.5%	40.2%
	まああてはまる	183	31.8%	50.45	50.65	32.8%	31.1%	36.1%	31.1%	29.9%	38.9%
	あまりあてはまらない	63	11.0%	46.67	47.34	49.2%	22.2%	28.6%	47.5%	16.9%	35.6%
	まったくあてはまらない	27	4.7%	49.01	46.40	40.7%	25.9%	33.3%	50.0%	26.9%	23.1%
	無回答	1	0.2%	47.10	47.16	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	とてもあてはまる	157	27.3%	49.96	50.93	38.2%	25.5%	36.3%	32.9%	23.1%	44.1%
	まああてはまる	172	29.9%	50.60	51.01	32.6%	28.5%	39.0%	30.1%	25.0%	44.9%
	あまりあてはまらない	151	26.3%	49.73	48.96	33.1%	33.8%	33.1%	40.7%	26.7%	32.6%
	まったくあてはまらない	95	16.5%	48.16	46.38	37.9%	34.7%	27.4%	50.0%	23.3%	26.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	とてもあてはまる	43	7.5%	51.75	51.17	27.9%	27.9%	44.2%	30.0%	20.0%	50.0%
	まああてはまる	84	14.6%	52.72	52.74	23.8%	33.3%	42.9%	24.3%	28.4%	47.3%
	あまりあてはまらない	174	30.3%	50.62	50.62	35.1%	23.0%	42.0%	32.7%	22.4%	44.9%
	まったくあてはまらない	274	47.7%	48.07	47.91	39.8%	33.9%	26.3%	44.5%	25.6%	29.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
朝食は毎日食べている。	とてもあてはまる	447	77.7%	50.46	50.57	33.3%	29.1%	37.6%	33.9%	25.4%	40.7%
	まああてはまる	82	14.3%	47.97	47.62	39.0%	34.1%	26.8%	44.9%	24.6%	30.4%
	あまりあてはまらない	23	4.0%	45.14	43.81	52.2%	30.4%	17.4%	54.5%	27.3%	18.2%
	まったくあてはまらない	23	4.0%	48.07	45.73	39.1%	34.8%	26.1%	55.0%	5.0%	40.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	％ (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
朝、起これなくても自分で起きています。	とてもあてはまる	161	28.0%	49.85	49.12	34.8%	30.4%	34.8%	40.0%	27.3%	32.7%
	まああてはまる	169	29.4%	50.17	50.22	33.1%	32.5%	34.3%	34.2%	22.1%	43.6%
	あまりあてはまらない	146	25.4%	50.78	51.67	32.9%	28.8%	38.4%	28.4%	27.6%	44.0%
	まったくあてはまらない	99	17.2%	47.62	46.73	42.4%	27.3%	30.3%	49.5%	19.8%	30.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
夜は決まった時間になています。	とてもあてはまる	67	11.7%	49.58	49.63	37.3%	32.8%	29.9%	38.5%	24.6%	36.9%
	まああてはまる	127	22.1%	50.97	50.56	28.3%	34.6%	37.0%	30.2%	29.3%	40.5%
	あまりあてはまらない	196	34.1%	51.12	51.71	29.6%	27.0%	43.4%	27.4%	25.1%	47.5%
	まったくあてはまらない	184	32.0%	47.71	47.00	44.6%	29.3%	26.1%	51.5%	20.9%	27.6%
	無回答	1	0.2%	38.11	36.14	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	とてもあてはまる	123	21.4%	47.83	47.91	43.1%	29.3%	27.6%	43.9%	25.4%	30.7%
	まああてはまる	166	28.9%	50.98	50.88	30.7%	30.1%	39.2%	29.5%	28.2%	42.3%
	あまりあてはまらない	198	34.4%	50.55	50.84	31.3%	30.8%	37.9%	33.0%	21.8%	45.3%
	まったくあてはまらない	87	15.1%	48.67	47.34	40.2%	29.9%	29.9%	49.4%	23.5%	27.2%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしています。	とてもあてはまる	156	27.1%	48.77	48.39	38.5%	33.3%	28.2%	44.6%	20.1%	35.3%
	まああてはまる	195	33.9%	51.49	51.53	28.7%	29.2%	42.1%	26.7%	30.6%	42.8%
	あまりあてはまらない	166	28.9%	49.70	49.42	36.1%	28.3%	35.5%	38.6%	23.5%	37.9%
	まったくあてはまらない	58	10.1%	47.14	47.66	44.8%	29.3%	25.9%	48.1%	19.2%	32.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	とてもあてはまる	180	31.3%	51.39	49.61	26.7%	35.6%	37.8%	38.7%	25.2%	36.2%
	まああてはまる	210	36.5%	50.28	50.70	33.3%	29.0%	37.6%	31.9%	24.6%	43.5%
	あまりあてはまらない	144	25.0%	48.33	49.05	41.7%	27.1%	31.3%	38.9%	26.0%	35.1%
	まったくあてはまらない	41	7.1%	45.45	47.03	58.5%	22.0%	19.5%	48.7%	17.9%	33.3%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	とてもあてはまる	182	31.7%	51.39	50.52	25.8%	34.1%	40.1%	33.5%	23.4%	43.1%
	まああてはまる	184	32.0%	50.52	50.46	34.8%	27.7%	37.5%	36.3%	21.6%	42.1%
	あまりあてはまらない	134	23.3%	48.15	48.81	41.8%	28.4%	29.9%	37.5%	30.8%	31.7%
	まったくあてはまらない	75	13.0%	47.07	47.33	46.7%	29.3%	24.0%	47.0%	24.2%	28.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	とてもあてはまる	185	32.2%	50.44	50.84	31.4%	31.9%	36.8%	33.3%	23.4%	43.3%
	まああてはまる	195	33.9%	50.85	51.53	31.8%	28.2%	40.0%	26.9%	29.1%	44.0%
	あまりあてはまらない	121	21.0%	48.68	47.69	40.5%	28.9%	30.6%	43.6%	27.3%	29.1%
	まったくあてはまらない	74	12.9%	47.22	45.21	44.6%	32.4%	23.0%	61.8%	11.8%	26.5%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	とてもあてはまる	233	40.5%	49.76	49.83	35.2%	31.3%	33.5%	39.0%	23.3%	37.6%
	まああてはまる	207	36.0%	50.51	51.17	32.9%	29.0%	38.2%	28.3%	28.8%	42.9%
	あまりあてはまらない	99	17.2%	49.55	47.65	37.4%	26.3%	36.4%	42.2%	22.2%	35.6%
	まったくあてはまらない	36	6.3%	46.60	45.79	41.7%	38.9%	19.4%	60.6%	15.2%	24.2%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	とてもあてはまる	262	45.6%	50.22	50.47	33.6%	29.8%	36.6%	34.2%	23.5%	42.4%
	まああてはまる	196	34.1%	49.56	49.44	35.7%	31.6%	32.7%	36.7%	30.6%	32.8%
	あまりあてはまらない	86	15.0%	49.61	49.01	36.0%	27.9%	36.0%	40.5%	17.6%	41.9%
	まったくあてはまらない	31	5.4%	48.18	46.50	41.9%	29.0%	29.0%	55.6%	14.8%	29.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学校に行くのが楽しい。	とてもあてはまる	204	35.5%	49.77	50.06	36.3%	27.5%	36.3%	37.2%	23.6%	39.3%
	まああてはまる	223	38.8%	50.43	50.79	33.6%	30.5%	35.9%	30.8%	26.7%	42.6%
	あまりあてはまらない	89	15.5%	48.39	47.52	34.8%	36.0%	29.2%	44.6%	24.1%	31.3%
	まったくあてはまらない	59	10.3%	49.57	47.44	37.3%	28.8%	33.9%	47.3%	21.8%	30.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
同じまちがいをしないように気をつけている。	とてもあてはまる	207	36.0%	51.15	51.09	29.5%	30.4%	40.1%	33.9%	21.4%	44.8%
	まああてはまる	274	47.7%	50.23	50.59	35.4%	27.7%	36.9%	32.7%	27.5%	39.8%
	あまりあてはまらない	71	12.3%	46.75	44.78	42.3%	38.0%	19.7%	51.6%	26.6%	21.9%
	まったくあてはまらない	23	4.0%	41.82	41.47	60.9%	30.4%	8.7%	82.4%	11.8%	5.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
努力をすれば、自分もたいていのことはできと思う。	とてもあてはまる	218	37.9%	49.51	49.64	36.2%	33.5%	30.3%	37.8%	25.0%	37.2%
	まああてはまる	233	40.5%	49.75	49.92	36.9%	27.0%	36.1%	35.5%	25.6%	38.9%
	あまりあてはまらない	93	16.2%	50.36	49.91	30.1%	28.0%	41.9%	37.8%	20.0%	42.2%
	まったくあてはまらない	31	5.4%	50.43	47.56	29.0%	35.5%	35.5%	40.7%	29.6%	29.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	とてもあてはまる	368	64.0%	49.94	49.52	33.7%	33.4%	32.9%	38.0%	24.9%	37.1%
	まああてはまる	148	25.7%	50.64	51.13	36.5%	21.6%	41.9%	30.4%	26.8%	42.8%
	あまりあてはまらない	41	7.1%	48.08	48.81	36.6%	29.3%	34.1%	39.5%	18.4%	42.1%
	まったくあてはまらない	18	3.1%	43.85	43.11	50.0%	33.3%	16.7%	71.4%	14.3%	14.3%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	とてもあてはまる	158	27.5%	50.88	52.04	30.4%	31.0%	38.6%	29.3%	19.7%	51.0%
	まああてはまる	185	32.2%	51.19	51.35	29.2%	30.3%	40.5%	27.8%	30.2%	42.0%
	あまりあてはまらない	160	27.8%	48.40	47.56	42.5%	28.8%	28.8%	45.1%	25.4%	29.6%
	まったくあてはまらない	72	12.5%	46.91	44.98	44.4%	30.6%	25.0%	60.6%	19.7%	19.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	％ (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	とてもあてはまる	96	16.7%	53.44	54.30	25.0%	21.9%	53.1%	16.1%	25.3%	58.6%
	まああてはまる	193	33.6%	51.11	51.62	28.5%	33.2%	38.3%	28.1%	27.0%	44.9%
	あまりあてはまらない	186	32.3%	48.27	48.21	40.9%	31.2%	28.0%	42.3%	26.2%	31.5%
	まったくあてはまらない	99	17.2%	46.51	44.24	47.5%	29.3%	23.2%	64.4%	16.7%	18.9%
	無回答	1	0.2%	53.84	40.27	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	とてもあてはまる	101	17.6%	51.73	52.75	26.7%	29.7%	43.6%	23.9%	20.7%	55.4%
	まああてはまる	111	19.3%	50.50	50.49	32.4%	30.6%	36.9%	30.7%	28.7%	40.6%
	あまりあてはまらない	201	35.0%	48.57	48.91	40.3%	30.3%	29.4%	38.4%	29.7%	31.9%
	まったくあてはまらない	162	28.2%	49.62	48.17	35.8%	29.6%	34.6%	47.9%	17.8%	34.2%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	とてもあてはまる	63	11.0%	51.45	52.33	30.2%	23.8%	46.0%	21.1%	28.1%	50.9%
	まああてはまる	157	27.3%	51.58	52.25	29.9%	30.6%	39.5%	25.0%	26.4%	48.6%
	あまりあてはまらない	235	40.9%	49.53	49.22	35.3%	31.1%	33.6%	38.5%	24.9%	36.7%
	まったくあてはまらない	120	20.9%	47.12	45.82	44.2%	30.8%	25.0%	58.5%	19.8%	21.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	とてもあてはまる	106	18.4%	52.44	53.43	26.4%	29.2%	44.3%	22.7%	21.6%	55.7%
	まああてはまる	193	33.6%	51.94	52.00	26.4%	28.5%	45.1%	26.8%	27.4%	45.8%
	あまりあてはまらない	194	33.7%	47.72	47.27	43.3%	32.0%	24.7%	46.3%	24.9%	28.8%
	まったくあてはまらない	81	14.1%	46.26	45.19	46.9%	30.9%	22.2%	58.6%	21.4%	20.0%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	とてもあてはまる	53	9.2%	50.15	50.61	32.1%	32.1%	35.8%	33.3%	22.9%	43.8%
	まああてはまる	152	26.4%	50.07	51.21	34.2%	31.6%	34.2%	29.0%	28.3%	42.8%
	あまりあてはまらない	247	43.0%	50.36	50.17	33.6%	28.3%	38.1%	35.1%	22.8%	42.1%
	まったくあてはまらない	122	21.2%	48.09	46.42	41.0%	31.1%	27.9%	53.2%	23.9%	22.9%
	無回答	1	0.2%	56.09	47.16	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	とてもあてはまる	172	29.9%	51.33	51.02	27.3%	32.0%	40.7%	34.2%	21.1%	44.7%
	まああてはまる	246	42.8%	50.57	50.86	35.0%	27.6%	37.4%	31.3%	26.0%	42.7%
	あまりあてはまらない	102	17.7%	47.85	47.95	39.2%	33.3%	27.5%	40.9%	30.7%	28.4%
	まったくあてはまらない	55	9.6%	45.14	43.51	52.7%	29.1%	18.2%	66.7%	18.8%	14.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	とてもあてはまる	61	10.6%	50.89	51.35	31.1%	27.9%	41.0%	26.8%	30.4%	42.9%
	まああてはまる	132	23.0%	50.25	50.59	33.3%	35.6%	31.1%	31.4%	33.1%	35.6%
	あまりあてはまらない	223	38.8%	49.48	49.43	36.3%	26.9%	36.8%	37.6%	22.9%	39.5%
	まったくあてはまらない	159	27.7%	49.44	48.66	36.5%	30.8%	32.7%	45.0%	17.9%	37.1%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自分で学習の計画を立てている。	とてもあてはまる	92	16.0%	50.66	51.68	29.3%	32.6%	38.0%	30.1%	24.1%	45.8%
	まああてはまる	154	26.8%	50.82	51.19	32.5%	29.2%	38.3%	29.5%	27.4%	43.2%
	あまりあてはまらない	179	31.1%	49.75	49.63	35.8%	26.8%	37.4%	36.9%	24.4%	38.8%
	まったくあてはまらない	149	25.9%	48.30	47.03	40.3%	33.6%	26.2%	49.3%	22.4%	28.4%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	とてもあてはまる	69	12.0%	51.20	52.30	31.9%	29.0%	39.1%	24.6%	26.2%	49.2%
	まああてはまる	157	27.3%	50.26	51.06	34.4%	29.9%	35.7%	32.2%	24.5%	43.4%
	あまりあてはまらない	219	38.1%	50.09	49.91	34.2%	27.9%	37.9%	34.8%	25.5%	39.7%
	まったくあてはまらない	130	22.6%	47.98	46.22	39.2%	34.6%	26.2%	53.4%	22.4%	24.1%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	とてもあてはまる	114	19.8%	52.40	54.34	24.6%	30.7%	44.7%	19.6%	22.5%	57.8%
	まああてはまる	215	37.4%	51.60	52.13	30.7%	26.0%	43.3%	26.2%	26.2%	47.7%
	あまりあてはまらない	181	31.5%	47.28	46.09	42.5%	33.1%	24.3%	49.1%	28.4%	22.5%
	まったくあてはまらない	64	11.1%	46.04	43.27	48.4%	34.4%	17.2%	70.2%	12.3%	17.5%
	無回答	1	0.2%	58.33	58.19	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
学習を始めたらず、他のことに気をとられないで、集中している。	とてもあてはまる	70	12.2%	48.90	50.28	42.9%	22.9%	34.3%	33.3%	25.8%	40.9%
	まああてはまる	186	32.3%	51.40	51.90	27.4%	35.5%	37.1%	24.9%	29.6%	45.6%
	あまりあてはまらない	208	36.2%	49.71	49.52	36.1%	26.9%	37.0%	38.7%	22.0%	39.3%
	まったくあてはまらない	110	19.1%	47.87	45.94	40.9%	31.8%	27.3%	56.7%	20.6%	22.7%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
かんちがいや悪いこみがいないが、しっかり見直しをしている。	とてもあてはまる	89	15.5%	51.62	52.38	24.7%	32.6%	42.7%	29.6%	21.0%	49.4%
	まああてはまる	216	37.6%	51.25	51.54	30.6%	30.6%	38.9%	27.3%	27.3%	45.5%
	あまりあてはまらない	196	34.1%	48.79	48.21	40.3%	26.0%	33.7%	42.5%	26.3%	31.3%
	まったくあてはまらない	73	12.7%	46.05	45.03	46.6%	37.0%	16.4%	60.0%	16.9%	23.1%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
正しい姿勢で学習している。	とてもあてはまる	79	13.7%	50.60	49.73	32.9%	30.4%	36.7%	43.1%	22.2%	34.7%
	まああてはまる	208	36.2%	51.07	51.91	29.3%	32.2%	38.5%	24.5%	28.1%	47.4%
	あまりあてはまらない	191	33.2%	49.60	49.19	35.6%	29.8%	34.6%	40.1%	22.6%	37.3%
	まったくあてはまらない	97	16.9%	46.77	45.86	48.5%	25.8%	25.8%	54.2%	22.9%	22.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	とてもあてはまる	247	43.0%	50.32	50.21	30.8%	34.0%	35.2%	37.3%	21.9%	40.8%
	まああてはまる	231	40.2%	50.03	50.09	35.9%	29.0%	35.1%	32.4%	29.5%	38.2%
	あまりあてはまらない	66	11.5%	48.73	49.42	43.9%	16.7%	39.4%	37.7%	19.7%	42.6%
	まったくあてはまらない	31	5.4%	46.15	43.03	45.2%	35.5%	19.4%	67.9%	21.4%	10.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア		中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)		
授業を集中して受けている。	とてもあてはまる	162	28.2%	51.76	53.05	27.2%	29.6%	43.2%	25.0%	24.3%	50.7%		
	まああてはまる	245	42.6%	50.99	50.84	29.8%	31.8%	38.4%	30.5%	27.3%	42.3%		
	あまりあてはまらない	134	23.3%	46.49	45.60	50.7%	28.4%	20.9%	53.9%	22.7%	23.4%		
	まったくあてはまらない	34	5.9%	44.85	41.49	50.0%	26.5%	23.5%	75.0%	14.3%	10.7%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	とてもあてはまる	74	12.9%	52.35	52.30	23.0%	32.4%	44.6%	25.8%	24.2%	50.0%		
	まああてはまる	187	32.5%	52.59	52.69	25.7%	28.3%	46.0%	24.9%	24.3%	50.9%		
	あまりあてはまらない	231	40.2%	47.95	48.01	42.4%	30.3%	27.3%	42.5%	26.9%	30.7%		
	まったくあてはまらない	83	14.4%	46.34	45.27	47.0%	31.3%	21.7%	60.3%	19.2%	20.5%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	とてもあてはまる	69	12.0%	53.06	52.76	21.7%	26.1%	52.2%	29.3%	13.8%	56.9%		
	まああてはまる	216	37.6%	51.82	52.08	27.8%	30.1%	42.1%	24.1%	30.7%	45.2%		
	あまりあてはまらない	218	37.9%	48.20	48.27	41.3%	29.8%	28.9%	42.9%	22.7%	34.5%		
	まったくあてはまらない	72	12.5%	45.41	43.87	51.4%	34.7%	13.9%	65.6%	21.9%	12.5%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	とてもあてはまる	59	10.3%	51.48	51.51	30.5%	25.4%	44.1%	27.5%	27.5%	45.1%		
	まああてはまる	172	29.9%	50.99	50.35	31.4%	29.1%	39.5%	35.7%	21.7%	42.7%		
	あまりあてはまらない	249	43.3%	49.53	50.03	35.3%	31.3%	33.3%	32.9%	28.1%	39.0%		
	まったくあてはまらない	94	16.3%	47.17	46.45	44.7%	31.9%	23.4%	56.3%	18.4%	25.3%		
	無回答	1	0.2%	56.09	48.54	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	とてもあてはまる	78	13.6%	52.95	51.93	21.8%	26.9%	51.3%	28.6%	22.9%	48.6%		
	まああてはまる	136	23.7%	50.68	50.82	32.4%	28.7%	39.0%	29.3%	30.1%	40.7%		
	あまりあてはまらない	229	39.8%	50.05	50.16	34.1%	30.6%	35.4%	34.0%	23.3%	42.7%		
	まったくあてはまらない	132	23.0%	46.57	46.38	47.7%	32.6%	19.7%	54.4%	22.4%	23.2%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	とてもあてはまる	127	22.1%	49.63	49.19	37.0%	27.6%	35.4%	39.0%	22.0%	39.0%		
	まああてはまる	230	40.0%	51.09	51.44	31.3%	28.3%	40.4%	30.9%	23.7%	45.4%		
	あまりあてはまらない	161	28.0%	50.00	49.85	32.9%	32.9%	34.2%	33.1%	31.1%	35.8%		
	まったくあてはまらない	57	9.9%	44.34	43.22	52.6%	35.1%	12.3%	68.6%	15.7%	15.7%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	とてもあてはまる	91	15.8%	52.73	52.40	23.1%	29.7%	47.3%	23.8%	26.2%	50.0%		
	まああてはまる	160	27.8%	50.50	50.57	33.8%	30.0%	36.3%	32.4%	27.3%	40.3%		
	あまりあてはまらない	208	36.2%	49.39	49.63	36.5%	27.4%	36.1%	36.7%	23.5%	39.8%		
	まったくあてはまらない	116	20.2%	47.25	46.45	44.0%	35.3%	20.7%	54.3%	21.9%	23.8%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	とてもあてはまる	204	35.5%	51.38	51.14	26.0%	36.8%	37.3%	33.0%	20.0%	47.0%		
	まああてはまる	252	43.8%	50.45	50.31	35.3%	25.8%	38.9%	32.9%	27.6%	39.5%		
	あまりあてはまらない	95	16.5%	46.74	47.31	47.4%	27.4%	25.3%	44.3%	28.4%	27.3%		
	まったくあてはまらない	24	4.2%	41.48	40.16	62.5%	29.2%	8.3%	82.6%	17.4%	0.0%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	とてもあてはまる	109	19.0%	50.03	49.19	31.2%	37.6%	31.2%	42.4%	20.2%	37.4%		
	まああてはまる	246	42.8%	50.68	50.59	35.0%	28.0%	37.0%	31.6%	27.1%	41.3%		
	あまりあてはまらない	176	30.6%	49.23	49.71	35.8%	27.8%	36.4%	36.2%	24.5%	39.3%		
	まったくあてはまらない	44	7.7%	46.54	45.72	43.2%	31.8%	25.0%	59.5%	21.6%	18.9%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	とてもあてはまる	92	16.0%	50.32	50.19	30.4%	32.6%	37.0%	33.7%	26.5%	39.8%		
	まああてはまる	192	33.4%	50.42	50.62	34.9%	29.2%	35.9%	31.2%	25.4%	43.4%		
	あまりあてはまらない	235	40.9%	50.32	49.83	32.8%	30.2%	37.0%	37.8%	23.5%	38.7%		
	まったくあてはまらない	56	9.7%	44.57	45.02	53.6%	28.6%	17.9%	58.8%	23.5%	17.6%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
自分とちがう意見も尊重している。	とてもあてはまる	130	22.6%	52.37	51.27	22.3%	33.1%	44.6%	34.5%	17.2%	48.3%		
	まああてはまる	268	46.6%	50.50	50.96	34.3%	27.2%	38.4%	28.7%	28.3%	42.9%		
	あまりあてはまらない	139	24.2%	46.98	47.27	45.3%	32.4%	22.3%	47.6%	25.0%	27.4%		
	まったくあてはまらない	38	6.6%	46.27	44.15	47.4%	31.6%	21.1%	64.9%	21.6%	13.5%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	とてもあてはまる	193	33.6%	49.68	49.60	33.2%	34.2%	32.6%	35.9%	25.7%	38.3%		
	まああてはまる	178	31.0%	51.38	50.98	30.9%	25.8%	43.3%	31.9%	24.7%	43.4%		
	あまりあてはまらない	146	25.4%	49.01	49.51	37.0%	30.8%	32.2%	37.5%	25.0%	37.5%		
	まったくあてはまらない	58	10.1%	47.29	46.43	50.0%	27.6%	22.4%	54.5%	20.0%	25.5%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
自分の力をできるだけのばしたいと思う。	とてもあてはまる	376	65.4%	50.18	50.39	33.0%	30.3%	36.7%	34.4%	24.1%	41.5%		
	まああてはまる	138	24.0%	50.01	49.68	36.2%	29.7%	34.1%	35.9%	25.8%	38.3%		
	あまりあてはまらない	42	7.3%	47.85	46.34	42.9%	28.6%	28.6%	44.7%	31.6%	23.7%		
	まったくあてはまらない	19	3.3%	44.85	43.10	52.6%	31.6%	15.8%	77.8%	11.1%	11.1%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：国語	とても好き	67	11.7%	54.01	50.25	20.9%	31.3%	47.8%	33.3%	26.7%	40.0%		
	まあ好き	225	39.1%	50.31	50.05	30.7%	31.6%	37.8%	35.5%	27.6%	36.9%		
	あまり好きでない	184	32.0%	49.25	50.15	39.7%	26.1%	34.2%	36.3%	19.6%	44.0%		
	まったく好きでない	98	17.0%	46.82	47.60	45.9%	33.7%	20.4%	44.6%	25.0%	30.4%		
	無効回答	1	0.2%	42.60	48.54	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア		中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)		
教科の好き嫌い：社会	とても好き	119	20.7%	53.54	52.89	16.8%	36.1%	47.1%	23.9%	24.8%	51.4%		
	まあ好き	179	31.1%	50.09	50.54	35.8%	27.4%	36.9%	33.8%	25.6%	40.6%		
	あまり好きでない	162	28.2%	47.71	48.22	42.0%	30.2%	27.8%	40.5%	27.7%	31.8%		
	まったく好きでない	115	20.0%	48.41	47.10	43.5%	27.8%	28.7%	50.5%	18.7%	30.8%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：数学	とても好き	99	17.2%	51.05	55.50	28.3%	32.3%	39.4%	14.6%	23.6%	61.8%		
	まあ好き	161	28.0%	50.78	52.45	35.4%	25.5%	39.1%	23.1%	28.0%	49.0%		
	あまり好きでない	170	29.6%	48.62	47.33	37.1%	32.9%	30.0%	47.2%	23.0%	29.8%		
	まったく好きでない	145	25.2%	49.22	45.42	37.2%	30.3%	32.4%	55.0%	23.7%	21.4%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：理科	とても好き	154	26.8%	51.24	52.24	30.5%	31.2%	38.3%	27.5%	23.2%	49.3%		
	まあ好き	201	35.0%	50.89	50.36	29.4%	31.8%	38.8%	32.6%	27.6%	39.8%		
	あまり好きでない	137	23.8%	48.07	47.85	44.5%	25.5%	29.9%	44.7%	23.6%	31.7%		
	まったく好きでない	83	14.4%	47.31	46.33	42.2%	31.3%	26.5%	52.6%	21.8%	25.6%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：音楽	とても好き	140	24.3%	50.82	49.85	30.7%	32.9%	36.4%	34.4%	25.2%	40.5%		
	まあ好き	178	31.0%	50.68	50.86	30.9%	29.2%	39.9%	32.7%	24.4%	42.9%		
	あまり好きでない	149	25.9%	48.56	48.44	38.9%	32.2%	28.9%	40.1%	29.2%	30.7%		
	まったく好きでない	108	18.8%	48.70	49.26	42.6%	25.0%	32.4%	43.0%	18.0%	39.0%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：美術	とても好き	153	26.6%	49.80	49.58	35.3%	30.1%	34.6%	38.1%	23.0%	38.8%		
	まあ好き	179	31.1%	49.67	49.12	34.6%	31.8%	33.5%	38.0%	28.3%	33.7%		
	あまり好きでない	149	25.9%	49.62	49.96	35.6%	32.2%	32.2%	36.2%	22.3%	41.5%		
	まったく好きでない	94	16.3%	50.30	50.48	35.1%	23.4%	41.5%	34.8%	23.6%	41.6%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：保健体育	とても好き	252	43.8%	48.48	48.21	39.7%	34.9%	25.4%	44.4%	23.1%	32.4%		
	まあ好き	171	29.7%	50.11	50.21	35.1%	24.6%	40.4%	30.5%	31.2%	38.3%		
	あまり好きでない	91	15.8%	51.72	52.59	27.5%	25.3%	47.3%	27.9%	20.9%	51.2%		
	まったく好きでない	60	10.4%	51.33	49.88	28.3%	33.3%	38.3%	39.7%	19.0%	41.4%		
	無効回答	1	0.2%	60.58	55.44	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
教科の好き嫌い：技術	とても好き	192	33.4%	49.61	49.76	34.9%	32.8%	32.3%	37.8%	22.1%	40.1%		
	まあ好き	217	37.7%	50.54	50.92	34.6%	28.1%	37.3%	30.8%	27.9%	41.3%		
	あまり好きでない	112	19.5%	49.51	48.52	34.8%	27.7%	37.5%	41.6%	23.8%	34.7%		
	まったく好きでない	54	9.4%	48.05	46.88	38.9%	33.3%	27.8%	50.0%	22.0%	28.0%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：家庭	とても好き	100	17.4%	48.45	49.00	40.0%	31.0%	29.0%	38.3%	22.3%	39.4%		
	まあ好き	227	39.5%	50.38	50.43	31.7%	32.6%	35.7%	33.2%	26.4%	40.4%		
	あまり好きでない	163	28.3%	49.92	49.77	35.6%	28.2%	36.2%	36.8%	25.7%	37.5%		
	まったく好きでない	85	14.8%	49.56	48.35	37.6%	25.9%	36.5%	46.2%	20.5%	33.3%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：英語	とても好き	114	19.8%	51.87	53.51	28.9%	26.3%	44.7%	18.3%	29.4%	52.3%		
	まあ好き	175	30.4%	51.50	51.78	32.0%	26.3%	41.7%	30.0%	22.5%	47.5%		
	あまり好きでない	146	25.4%	47.88	47.49	39.7%	31.5%	28.8%	47.3%	23.7%	29.0%		
	まったく好きでない	140	24.3%	47.96	46.26	39.3%	36.4%	24.3%	51.6%	24.2%	24.2%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：総合的な学習の時間	とても好き	156	27.1%	50.34	49.43	30.8%	35.9%	33.3%	35.0%	28.7%	36.4%		
	まあ好き	228	39.7%	49.47	49.05	35.5%	29.8%	34.6%	40.3%	24.8%	35.0%		
	あまり好きでない	122	21.2%	50.47	51.50	37.7%	21.3%	41.0%	30.9%	22.7%	46.4%		
	まったく好きでない	69	12.0%	48.43	49.12	39.1%	33.3%	27.5%	41.5%	18.5%	40.0%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：道徳	とても好き	116	20.2%	47.79	47.57	40.5%	31.0%	28.4%	47.6%	21.9%	30.5%		
	まあ好き	186	32.3%	50.49	49.74	31.7%	33.9%	34.4%	33.9%	30.4%	35.7%		
	あまり好きでない	176	30.6%	50.48	51.22	36.4%	22.7%	40.9%	31.7%	21.7%	46.6%		
	まったく好きでない	97	16.9%	49.60	49.28	33.0%	35.1%	32.0%	40.0%	22.2%	37.8%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の好き嫌い：学級活動	とても好き	178	31.0%	50.17	50.15	30.9%	32.0%	37.1%	35.8%	23.5%	40.7%		
	まあ好き	203	35.3%	50.33	49.77	34.0%	31.0%	35.0%	34.6%	28.7%	36.7%		
	あまり好きでない	119	20.7%	50.04	50.06	37.0%	26.1%	37.0%	34.0%	27.4%	38.7%		
	まったく好きでない	75	13.0%	47.07	47.72	45.3%	29.3%	25.3%	51.5%	11.8%	36.8%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の理解度：国語	よくわかっている	66	11.5%	55.75	52.18	10.6%	31.8%	57.6%	29.5%	18.0%	52.5%		
	まあわかっている	313	54.4%	51.13	50.86	29.4%	28.8%	41.9%	31.9%	24.1%	44.0%		
	あまりわかっていない	147	25.6%	46.49	48.03	51.0%	31.3%	17.7%	42.6%	30.1%	27.2%		
	まったくわかっていない	49	8.5%	43.20	43.82	57.1%	32.7%	10.2%	62.2%	20.0%	17.8%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
教科の理解度：社会	よくわかっている	89	15.5%	54.19	53.92	18.0%	30.3%	51.7%	20.0%	23.5%	56.5%		
	まあわかっている	219	38.1%	51.41	51.57	26.9%	32.9%	40.2%	30.4%	24.7%	44.8%		
	あまりわかっていない	181	31.5%	47.59	47.77	46.4%	25.4%	28.2%	43.1%	25.7%	31.1%		
	まったくわかっていない	86	15.0%	45.76	44.57	50.0%	32.6%	17.4%	59.0%	23.1%	17.9%		
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
教科の理解度：数学	よくわかっている	127	22.1%	53.36	56.89	22.0%	28.3%	49.6%	8.6%	22.4%	69.0%
	まあわかっている	228	39.7%	50.63	51.54	33.3%	28.5%	38.2%	28.8%	26.0%	45.2%
	あまりわかっていない	133	23.1%	47.84	45.26	42.1%	31.6%	26.3%	52.5%	30.8%	16.7%
	まったくわかっていない	86	15.0%	45.19	40.82	48.8%	34.9%	16.3%	77.2%	15.2%	7.6%
	無回答	1	0.2%	62.83	63.71	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
教科の理解度：理科	よくわかっている	143	24.9%	53.05	54.28	22.4%	30.1%	47.6%	17.4%	22.7%	59.8%
	まあわかっている	245	42.6%	50.92	50.88	30.6%	32.2%	37.1%	31.7%	27.7%	40.6%
	あまりわかっていない	126	21.9%	46.04	45.42	51.6%	24.6%	23.8%	56.3%	21.4%	22.3%
	まったくわかっていない	60	10.4%	45.04	42.68	50.0%	33.3%	16.7%	67.3%	23.6%	9.1%
	無回答	1	0.2%	65.08	56.81	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
教科の理解度：音楽	よくわかっている	98	17.0%	51.87	52.23	23.5%	39.8%	36.7%	27.2%	26.1%	46.7%
	まあわかっている	209	36.3%	50.77	50.19	32.5%	25.8%	41.6%	35.6%	22.0%	42.4%
	あまりわかっていない	191	33.2%	48.53	49.12	42.4%	28.3%	29.3%	38.8%	27.1%	34.1%
	まったくわかっていない	77	13.4%	47.62	46.47	39.0%	33.8%	27.3%	49.3%	23.9%	26.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科の理解度：美術	よくわかっている	128	22.3%	50.22	49.78	33.6%	30.5%	35.9%	36.8%	24.6%	38.6%
	まあわかっている	237	41.2%	50.56	50.69	32.9%	27.8%	39.2%	33.9%	22.2%	43.9%
	あまりわかっていない	157	27.3%	49.17	49.25	38.9%	31.8%	29.3%	35.3%	31.7%	33.1%
	まったくわかっていない	53	9.2%	47.18	46.25	37.7%	34.0%	28.3%	56.0%	16.0%	28.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科の理解度：保健体育	よくわかっている	174	30.3%	48.83	48.13	39.1%	32.2%	28.7%	45.5%	25.3%	29.2%
	まあわかっている	250	43.5%	50.50	51.47	33.6%	27.6%	38.8%	27.5%	25.8%	46.7%
	あまりわかっていない	106	18.4%	51.30	49.73	29.2%	30.2%	40.6%	36.7%	26.5%	36.7%
	まったくわかっていない	43	7.5%	46.10	45.53	41.9%	34.9%	23.3%	58.5%	12.2%	29.3%
	無回答	2	0.3%	44.85	49.23	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
教科の理解度：技術	よくわかっている	132	23.0%	50.81	50.61	30.3%	31.8%	37.9%	32.5%	25.0%	42.5%
	まあわかっている	256	44.5%	50.69	50.87	33.2%	28.9%	37.9%	31.6%	24.9%	43.5%
	あまりわかっていない	145	25.2%	48.62	48.44	40.0%	29.0%	31.0%	43.7%	24.6%	31.7%
	まったくわかっていない	42	7.3%	45.22	43.85	45.2%	35.7%	19.0%	61.0%	22.0%	17.1%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科の理解度：家庭	よくわかっている	70	12.2%	50.63	50.93	27.1%	38.6%	34.3%	30.3%	24.2%	45.5%
	まあわかっている	254	44.2%	51.05	51.36	31.9%	28.3%	39.8%	29.9%	25.6%	44.4%
	あまりわかっていない	188	32.7%	48.82	48.37	39.9%	29.3%	30.9%	44.5%	22.0%	33.5%
	まったくわかっていない	63	11.0%	46.70	45.50	42.9%	30.2%	27.0%	51.7%	28.3%	20.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科の理解度：英語	よくわかっている	121	21.0%	54.42	55.73	19.0%	28.1%	52.9%	13.9%	21.7%	64.3%
	まあわかっている	200	34.8%	51.43	52.62	29.5%	27.5%	43.0%	23.2%	26.0%	50.8%
	あまりわかっていない	129	22.4%	47.15	45.52	44.2%	33.3%	22.5%	55.6%	26.5%	17.9%
	まったくわかっていない	125	21.7%	45.43	43.45	50.4%	32.8%	16.8%	64.0%	23.4%	12.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。 （教科書や参考書、マンガは数にいません。）	0冊	131	22.8%	45.76	45.82	52.7%	29.0%	18.3%	57.0%	19.0%	24.0%
	1,2冊	241	41.9%	50.42	50.10	33.6%	29.5%	36.9%	33.0%	28.0%	39.0%
	3,4冊	99	17.2%	51.09	51.88	30.3%	27.3%	42.4%	24.4%	24.4%	51.1%
	5,6冊	44	7.7%	51.75	52.33	25.0%	31.8%	43.2%	29.3%	24.4%	46.3%
	7,8冊	17	3.0%	47.63	47.81	23.5%	58.8%	17.6%	43.8%	37.5%	18.8%
	9,10冊	11	1.9%	50.98	50.05	36.4%	9.1%	54.5%	50.0%	0.0%	50.0%
	11冊以上	31	5.4%	56.09	53.35	6.5%	38.7%	54.8%	22.2%	25.9%	51.9%
	無回答	1	0.2%	42.60	38.89	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	ほとんど見ない	40	7.0%	49.46	48.72	42.5%	17.5%	40.0%	33.3%	35.9%	30.8%
	30分くらい	63	11.0%	52.70	53.12	23.8%	34.9%	41.3%	26.8%	21.4%	51.8%
	1時間くらい	91	15.8%	51.76	52.57	26.4%	30.8%	42.9%	26.8%	20.7%	52.4%
	1時間30分くらい	94	16.3%	50.71	51.03	31.9%	31.9%	36.2%	30.7%	28.4%	40.9%
	2時間くらい	97	16.9%	50.27	49.61	29.9%	36.1%	34.0%	32.9%	28.2%	38.8%
	2時間30分くらい	38	6.6%	49.94	47.64	34.2%	31.6%	34.2%	50.0%	19.4%	30.6%
	3時間より長く見る	150	26.1%	46.72	46.65	48.0%	26.0%	26.0%	50.7%	22.1%	27.2%
	無回答	2	0.3%	36.98	36.83	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	ほとんど見ない	28	4.9%	49.18	46.87	35.7%	35.7%	28.6%	50.0%	26.9%	23.1%
	30分くらい	28	4.9%	49.34	50.22	35.7%	32.1%	32.1%	26.9%	34.6%	38.5%
	1時間くらい	63	11.0%	51.20	51.69	31.7%	28.6%	39.7%	24.1%	29.6%	46.3%
	1時間30分くらい	58	10.1%	49.89	51.18	34.5%	32.8%	32.8%	32.7%	25.0%	42.3%
	2時間くらい	113	19.7%	51.97	50.86	24.8%	33.6%	41.6%	31.8%	23.4%	44.9%
	2時間30分くらい	60	10.4%	49.68	49.42	38.3%	21.7%	40.0%	40.7%	22.0%	37.3%
	3時間より長く見る	223	38.8%	48.44	48.51	40.4%	29.6%	30.0%	42.9%	23.2%	33.8%
	無回答	2	0.3%	49.34	47.85	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%
あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらい勉強していますか。 （しゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。）	ほとんどしない	115	20.0%	46.39	44.47	43.5%	37.4%	19.1%	62.1%	18.4%	19.4%
	30分くらい	62	10.8%	48.51	47.94	43.5%	21.0%	35.5%	48.3%	15.5%	36.2%
	1時間くらい	89	15.5%	51.79	52.69	28.1%	27.0%	44.9%	25.3%	22.8%	51.9%
	1時間30分くらい	90	15.7%	51.04	50.76	30.0%	31.1%	38.9%	30.6%	28.2%	41.2%
	2時間くらい	109	19.0%	51.86	51.70	30.3%	29.4%	40.4%	28.7%	26.7%	44.6%
	2時間30分くらい	55	9.6%	52.00	53.03	23.6%	36.4%	40.0%	16.7%	31.3%	52.1%
	3時間より長く勉強する	53	9.2%	46.93	48.67	49.1%	24.5%	26.4%	36.7%	34.7%	28.6%
	無回答	2	0.3%	42.60	43.03	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	％ (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。（しゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。）	ほとんどしない	177	30.8%	47.30	45.75	46.3%	29.4%	24.3%	57.5%	20.0%	22.5%
	30分くらい	94	16.3%	48.63	48.91	38.3%	33.0%	28.7%	36.8%	26.4%	36.8%
	1時間くらい	106	18.4%	52.57	52.59	25.5%	27.4%	47.2%	23.4%	25.5%	51.1%
	1時間30分くらい	69	12.0%	49.51	50.68	33.3%	39.1%	27.5%	29.0%	33.9%	37.1%
	2時間くらい	58	10.1%	52.17	53.01	22.4%	31.0%	46.6%	24.1%	16.7%	59.3%
	2時間30分くらい	26	4.5%	54.79	56.65	19.2%	11.5%	69.2%	13.0%	17.4%	69.6%
	3時間より長く勉強する	45	7.8%	49.99	50.01	35.6%	28.9%	35.6%	31.8%	36.4%	31.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	ほとんどしない	183	31.8%	50.89	50.86	32.2%	31.1%	36.6%	30.2%	26.6%	43.2%
	30分くらい	90	15.7%	52.82	52.53	16.7%	34.4%	48.9%	27.4%	22.6%	50.0%
	1時間くらい	87	15.1%	49.63	48.84	36.8%	29.9%	33.3%	42.7%	22.0%	35.4%
	1時間30分くらい	58	10.1%	49.42	51.18	36.2%	37.9%	25.9%	23.4%	31.9%	44.7%
	2時間くらい	48	8.3%	47.80	47.28	41.7%	33.3%	25.0%	51.1%	20.0%	28.9%
	2時間30分くらい	28	4.9%	49.42	50.41	39.3%	17.9%	42.9%	34.6%	30.8%	34.6%
	3時間より長くゲームする	81	14.1%	45.71	44.82	54.3%	19.8%	25.9%	59.2%	21.1%	19.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	ほとんどしない	142	24.7%	51.05	50.69	30.3%	35.2%	34.5%	31.0%	26.4%	42.6%
	30分くらい	68	11.8%	51.46	50.89	25.0%	32.4%	42.6%	30.2%	27.0%	42.9%
	1時間くらい	92	16.0%	50.91	51.10	29.3%	33.7%	37.0%	26.7%	31.4%	41.9%
	1時間30分くらい	49	8.5%	49.71	49.67	36.7%	24.5%	38.8%	37.5%	22.9%	39.6%
	2時間くらい	49	8.5%	48.38	49.50	42.9%	30.6%	26.5%	43.2%	15.9%	40.9%
	2時間30分くらい	36	6.3%	48.35	50.19	47.2%	16.7%	36.1%	35.3%	26.5%	38.2%
	3時間より長くゲームする	139	24.2%	47.86	47.04	42.4%	26.6%	30.9%	52.5%	20.0%	27.5%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	とてもあてはまる	63	11.0%	50.49	50.45	30.2%	33.3%	36.5%	36.8%	19.3%	43.9%
	まああてはまる	136	23.7%	52.88	52.62	23.5%	26.5%	50.0%	24.6%	23.0%	52.4%
	あまりあてはまらない	216	37.6%	49.70	50.15	37.0%	30.6%	32.4%	33.0%	28.4%	38.7%
	まったくあてはまらない	159	27.7%	46.93	46.17	44.7%	31.4%	23.9%	53.4%	23.3%	23.3%
	無回答	1	0.2%	62.83	62.33	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	とてもあてはまる	121	21.0%	52.76	52.91	21.5%	31.4%	47.1%	23.8%	23.8%	52.4%
	まああてはまる	201	35.0%	51.20	50.98	29.4%	31.3%	39.3%	30.8%	23.8%	45.4%
	あまりあてはまらない	165	28.7%	48.39	48.29	41.8%	30.3%	27.9%	43.8%	26.1%	30.1%
	まったくあてはまらない	88	15.3%	45.13	44.89	54.5%	25.0%	20.5%	55.6%	24.7%	19.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国語の授業で、物語を作ったことがある。	とてもあてはまる	117	20.3%	52.63	51.22	20.5%	32.5%	47.0%	32.4%	21.9%	45.7%
	まああてはまる	118	20.5%	50.43	50.54	37.3%	28.0%	34.7%	33.6%	23.4%	43.0%
	あまりあてはまらない	183	31.8%	48.63	48.88	40.4%	26.8%	32.8%	38.9%	24.6%	36.5%
	まったくあてはまらない	157	27.3%	48.56	48.82	38.2%	33.8%	28.0%	40.7%	27.6%	31.7%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	とてもあてはまる	201	35.0%	51.56	50.48	27.4%	33.8%	38.8%	33.7%	24.3%	42.0%
	まああてはまる	214	37.2%	50.50	50.65	33.6%	27.6%	38.8%	32.0%	26.9%	41.1%
	あまりあてはまらない	122	21.2%	47.72	48.39	43.4%	29.5%	27.0%	42.7%	24.5%	32.7%
	まったくあてはまらない	38	6.6%	43.13	44.12	57.9%	26.3%	15.8%	63.9%	13.9%	22.2%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	とてもあてはまる	177	30.8%	51.50	51.66	26.0%	36.7%	37.3%	29.4%	22.5%	48.1%
	まああてはまる	182	31.7%	49.49	50.25	36.3%	30.8%	33.0%	33.1%	29.5%	37.3%
	あまりあてはまらない	140	24.3%	48.72	48.04	40.7%	25.7%	33.6%	44.9%	20.5%	34.6%
	まったくあてはまらない	76	13.2%	48.52	46.75	43.4%	21.1%	35.5%	49.3%	25.4%	25.4%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	とてもあてはまる	63	11.0%	50.99	52.17	31.7%	30.2%	38.1%	26.8%	25.0%	48.2%
	まああてはまる	122	21.2%	51.59	51.73	29.5%	29.5%	41.0%	31.0%	20.4%	48.7%
	あまりあてはまらない	222	38.6%	49.85	50.10	34.7%	28.8%	36.5%	34.0%	26.4%	39.6%
	まったくあてはまらない	168	29.2%	47.97	46.71	41.1%	32.1%	26.8%	48.7%	25.3%	25.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	とてもあてはまる	77	13.4%	52.82	51.62	19.5%	33.8%	46.8%	32.3%	16.9%	50.8%
	まああてはまる	95	16.5%	49.18	49.72	41.1%	25.3%	33.7%	34.8%	29.2%	36.0%
	あまりあてはまらない	208	36.2%	49.54	50.31	37.0%	29.8%	33.2%	32.1%	27.4%	40.5%
	まったくあてはまらない	195	33.9%	49.17	48.24	36.4%	31.3%	32.3%	45.0%	22.2%	32.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	とてもあてはまる	255	44.3%	52.44	52.50	23.1%	34.5%	42.4%	26.3%	24.1%	49.6%
	まああてはまる	175	30.4%	49.55	49.66	36.6%	30.9%	32.6%	35.8%	25.8%	38.4%
	あまりあてはまらない	98	17.0%	46.39	45.54	50.0%	25.5%	24.5%	52.2%	26.7%	21.1%
	まったくあてはまらない	46	8.0%	43.58	43.09	63.0%	13.0%	23.9%	66.7%	19.0%	14.3%
	無効回答	1	0.2%	38.11	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	とてもあてはまる	62	10.8%	49.05	48.52	37.1%	32.3%	30.6%	45.5%	18.2%	36.4%
	まああてはまる	97	16.9%	48.65	48.24	36.1%	39.2%	24.7%	41.6%	32.6%	25.8%
	あまりあてはまらない	164	28.5%	49.29	49.17	42.1%	22.6%	35.4%	33.5%	25.7%	37.8%
	まったくあてはまらない	251	43.7%	50.80	50.88	29.5%	31.1%	39.4%	36.6%	22.4%	44.0%
	無回答	1	0.2%	38.11	45.79	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア		中2数学スコア			中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	とてもあてはまる	76	13.2%	50.56	50.50	28.9%	31.6%	39.5%	36.8%	20.6%	42.6%	36.8%	20.6%	42.6%
	まああてはまる	87	15.1%	49.40	49.49	37.9%	24.1%	37.9%	38.5%	21.8%	39.7%	38.5%	21.8%	39.7%
	あまりあてはまらない	171	29.7%	48.82	49.31	40.9%	30.4%	28.7%	35.1%	27.3%	37.7%	35.1%	27.3%	37.7%
	まったくあてはまらない	240	41.7%	50.42	49.79	31.7%	31.7%	36.7%	37.7%	25.1%	37.2%	37.7%	25.1%	37.2%
	無回答	1	0.2%	42.60	41.65	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
社会の授業で、いま、世の中で起きていることについて、資料をもとに考えることがある。	とてもあてはまる	63	11.0%	50.99	49.20	25.4%	34.9%	39.7%	39.3%	25.0%	35.7%	39.3%	25.0%	35.7%
	まああてはまる	114	19.8%	49.68	50.15	38.6%	31.6%	29.8%	34.7%	23.8%	41.6%	34.7%	23.8%	41.6%
	あまりあてはまらない	213	37.0%	49.24	49.28	36.2%	30.0%	33.8%	38.3%	25.4%	36.3%	38.3%	25.4%	36.3%
	まったくあてはまらない	184	32.0%	50.19	49.98	34.8%	27.7%	37.5%	36.4%	24.3%	39.3%	36.4%	24.3%	39.3%
	無回答	1	0.2%	33.61	56.81	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	とてもあてはまる	86	15.0%	50.96	48.49	29.1%	36.0%	34.9%	46.7%	21.3%	32.0%	46.7%	21.3%	32.0%
	まああてはまる	133	23.1%	50.93	50.10	31.6%	26.3%	42.1%	33.9%	28.0%	38.1%	33.9%	28.0%	38.1%
	あまりあてはまらない	191	33.2%	48.18	49.55	42.4%	29.3%	28.3%	36.0%	24.7%	39.3%	36.0%	24.7%	39.3%
	まったくあてはまらない	164	28.5%	50.08	50.18	32.9%	31.1%	36.0%	35.5%	23.7%	40.8%	35.5%	23.7%	40.8%
	無回答	1	0.2%	58.33	40.27	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
理科の授業で、実験や調査に取り組み前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	とてもあてはまる	175	30.4%	52.00	51.41	23.4%	38.3%	38.3%	30.6%	23.8%	45.6%	30.6%	23.8%	45.6%
	まああてはまる	206	35.8%	51.66	52.11	29.1%	28.2%	42.7%	27.1%	25.0%	47.9%	27.1%	25.0%	47.9%
	あまりあてはまらない	126	21.9%	47.01	46.82	48.4%	23.8%	27.8%	44.1%	29.7%	26.1%	44.1%	29.7%	26.1%
	まったくあてはまらない	68	11.8%	43.63	43.15	58.8%	26.5%	14.7%	69.2%	16.9%	13.8%	69.2%	16.9%	13.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなどについて、写真や映像などを見ることがある。	とてもあてはまる	113	19.7%	51.11	49.92	25.7%	37.2%	37.2%	36.3%	28.4%	35.3%	36.3%	28.4%	35.3%
	まああてはまる	160	27.8%	49.32	49.78	40.0%	29.4%	30.6%	34.3%	26.4%	39.3%	34.3%	26.4%	39.3%
	あまりあてはまらない	171	29.7%	48.28	48.68	39.8%	28.1%	32.2%	40.1%	22.9%	36.9%	40.1%	22.9%	36.9%
	まったくあてはまらない	131	22.8%	51.21	50.66	31.3%	27.5%	41.2%	36.8%	21.6%	41.6%	36.8%	21.6%	41.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりにしている。	とてもあてはまる	129	22.4%	54.27	53.11	16.3%	33.3%	50.4%	22.0%	22.9%	55.1%	22.0%	22.9%	55.1%
	まああてはまる	194	33.7%	50.36	50.89	33.0%	28.9%	38.1%	32.4%	26.0%	41.6%	32.4%	26.0%	41.6%
	あまりあてはまらない	174	30.3%	47.03	47.65	47.1%	27.6%	25.3%	45.9%	22.0%	32.1%	45.9%	22.0%	32.1%
	まったくあてはまらない	78	13.6%	47.13	45.52	44.9%	33.3%	21.8%	52.7%	29.7%	17.6%	52.7%	29.7%	17.6%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	とてもあてはまる	134	23.3%	51.27	51.17	29.1%	35.1%	35.8%	29.7%	28.0%	42.4%	29.7%	28.0%	42.4%
	まああてはまる	193	33.6%	50.00	49.76	35.8%	26.4%	37.8%	36.5%	22.7%	40.9%	36.5%	22.7%	40.9%
	あまりあてはまらない	174	30.3%	49.59	49.90	33.9%	31.0%	35.1%	35.1%	26.0%	39.0%	35.1%	26.0%	39.0%
	まったくあてはまらない	74	12.9%	47.07	46.29	47.3%	28.4%	24.3%	54.9%	21.1%	23.9%	54.9%	21.1%	23.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	とてもあてはまる	232	40.3%	53.46	52.76	21.6%	28.4%	50.0%	24.9%	22.5%	52.6%	24.9%	22.5%	52.6%
	まああてはまる	165	28.7%	50.07	50.33	31.5%	35.8%	32.7%	32.7%	29.3%	38.0%	32.7%	29.3%	38.0%
	あまりあてはまらない	97	16.9%	45.01	46.02	52.6%	30.9%	16.5%	48.9%	27.3%	23.9%	48.9%	27.3%	23.9%
	まったくあてはまらない	81	14.1%	44.46	43.91	60.5%	22.2%	17.3%	67.1%	17.8%	15.1%	67.1%	17.8%	15.1%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話文を作ってコミュニケーションしている。	とてもあてはまる	90	15.7%	52.19	50.87	27.8%	25.6%	46.7%	32.1%	22.6%	45.2%	32.1%	22.6%	45.2%
	まああてはまる	133	23.1%	50.88	51.24	30.8%	30.8%	38.3%	29.4%	25.2%	45.4%	29.4%	25.2%	45.4%
	あまりあてはまらない	193	33.6%	49.61	50.22	35.2%	30.6%	34.2%	34.9%	22.3%	42.9%	34.9%	22.3%	42.9%
	まったくあてはまらない	159	27.7%	47.75	47.07	42.8%	31.4%	25.8%	48.6%	28.1%	23.3%	48.6%	28.1%	23.3%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	とてもあてはまる	45	7.8%	49.69	48.57	33.3%	31.1%	35.6%	43.9%	17.1%	39.0%	43.9%	17.1%	39.0%
	まああてはまる	96	16.7%	49.41	49.38	36.5%	35.4%	28.1%	36.0%	33.7%	30.3%	36.0%	33.7%	30.3%
	あまりあてはまらない	202	35.1%	49.03	49.83	37.1%	29.7%	33.2%	34.1%	23.6%	42.3%	34.1%	23.6%	42.3%
	まったくあてはまらない	232	40.3%	50.63	49.90	33.2%	28.0%	38.8%	38.7%	23.1%	38.2%	38.7%	23.1%	38.2%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	とてもあてはまる	146	25.4%	52.15	51.51	25.3%	33.6%	41.1%	30.9%	23.0%	46.0%	30.9%	23.0%	46.0%
	まああてはまる	183	31.8%	49.69	49.70	37.2%	29.5%	33.3%	36.4%	27.3%	36.4%	36.4%	27.3%	36.4%
	あまりあてはまらない	149	25.9%	47.78	49.00	42.3%	28.2%	29.5%	38.0%	24.8%	37.2%	38.0%	24.8%	37.2%
	まったくあてはまらない	96	16.7%	49.65	48.05	34.4%	29.2%	36.5%	46.3%	22.0%	31.7%	46.3%	22.0%	31.7%
	無効回答	1	0.2%	40.36	37.52	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	とてもあてはまる	168	29.2%	49.49	48.42	33.9%	33.9%	32.1%	44.4%	25.2%	30.5%	44.4%	25.2%	30.5%
	まああてはまる	252	43.8%	50.58	51.10	31.7%	30.6%	37.7%	29.0%	26.8%	44.2%	29.0%	26.8%	44.2%
	あまりあてはまらない	123	21.4%	48.91	49.33	42.3%	26.0%	31.7%	39.8%	20.4%	39.8%	39.8%	20.4%	39.8%
	まったくあてはまらない	31	5.4%	48.33	46.19	41.9%	22.6%	35.5%	53.6%	21.4%	25.0%	53.6%	21.4%	25.0%
	無回答	1	0.2%	58.33	58.19	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	とてもあてはまる	265	46.1%	51.04	50.80	28.7%	34.0%	37.4%	33.3%	24.4%	42.3%	33.3%	24.4%	42.3%
	まああてはまる	228	39.7%	50.01	49.95	37.3%	26.3%	36.4%	34.6%	25.4%	40.0%	34.6%	25.4%	40.0%
	あまりあてはまらない	66	11.5%	45.56	46.61	50.0%	27.3%	22.7%	50.0%	24.1%	25.9%	50.0%	24.1%	25.9%
	まったくあてはまらない	15	2.6%	42.90	39.35	53.3%	26.7%	20.0%	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
	無回答	1	0.2%	53.84	47.16	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	とてもあてはまる	105	18.3%	50.59	49.72	32.4%	32.4%	35.2%	38.5%	21.9%	39.6%	38.5%	21.9%	39.6%
	まああてはまる	239	41.6%	50.44	50.24	32.2%	31.4%	36.4%	34.1%	27.6%	38.3%	34.1%	27.6%	38.3%
	あまりあてはまらない	181	31.5%	49.18	49.81	38.7%	27.1%	34.3%	37.5%	20.8%	41.7%	37.5%	20.8%	41.7%
	まったくあてはまらない	50	8.7%	47.28	46.48	42.0%	30.0%	28.0%	45.7%	30.4%	23.9%	45.7%	30.4%	23.9%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
私は、生徒会で決めた活動や学校行事に、進んで取り組んでいる。	とてもあてはまる	125	21.7%	50.71	50.12	32.0%	32.8%	35.2%	37.0%	23.5%	39.5%
	まああてはまる	230	40.0%	51.29	50.80	28.3%	30.9%	40.9%	30.9%	27.0%	42.2%
	あまりあてはまらない	163	28.3%	48.30	49.52	42.3%	27.0%	30.7%	36.5%	25.0%	38.5%
	まったくあてはまらない	57	9.9%	46.03	44.70	49.1%	29.8%	21.1%	62.3%	17.0%	20.8%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私は、学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる。	とてもあてはまる	59	10.3%	50.75	48.96	30.5%	28.8%	40.7%	41.5%	20.8%	37.7%
	まああてはまる	141	24.5%	49.46	50.44	38.3%	29.1%	32.6%	34.8%	26.5%	38.6%
	あまりあてはまらない	248	43.1%	49.44	49.32	35.5%	30.6%	33.9%	36.8%	24.7%	38.6%
	まったくあてはまらない	126	21.9%	50.34	49.78	33.3%	31.0%	35.7%	38.3%	24.3%	37.4%
	無回答	1	0.2%	58.33	63.71	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
私は、楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる。	とてもあてはまる	144	25.0%	53.12	52.08	22.2%	28.5%	49.3%	25.6%	27.9%	46.5%
	まああてはまる	251	43.7%	50.61	51.04	31.9%	32.3%	35.9%	32.3%	22.7%	45.0%
	あまりあてはまらない	139	24.2%	46.60	46.83	48.2%	29.5%	22.3%	47.7%	25.0%	27.3%
	まったくあてはまらない	40	7.0%	44.18	42.79	55.0%	25.0%	20.0%	67.6%	24.3%	8.1%
	無回答	1	0.2%	35.86	37.52	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守っている。	とてもあてはまる	250	43.5%	51.62	50.99	26.8%	32.8%	40.4%	30.8%	27.3%	41.9%
	まああてはまる	213	37.0%	49.99	50.71	35.7%	26.8%	37.6%	33.3%	24.1%	42.6%
	あまりあてはまらない	84	14.6%	45.95	45.08	48.8%	32.1%	19.0%	57.3%	16.0%	26.7%
	まったくあてはまらない	26	4.5%	43.38	43.56	65.4%	23.1%	11.5%	60.0%	32.0%	8.0%
	無回答	2	0.3%	45.97	51.30	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
私は、学級会で、司会や記録を担当して話し合いを進めたことがある。	とてもあてはまる	82	14.3%	53.40	52.78	18.3%	32.9%	48.8%	28.0%	18.7%	53.3%
	まああてはまる	92	16.0%	48.29	48.62	40.2%	31.5%	28.3%	40.5%	22.6%	36.9%
	あまりあてはまらない	175	30.4%	49.07	49.43	38.9%	26.3%	34.9%	35.8%	26.5%	37.7%
	まったくあてはまらない	226	39.3%	49.65	49.18	36.3%	31.4%	32.3%	39.9%	26.1%	34.0%
	無回答	0	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	とてもあてはまる	154	26.8%	53.27	52.45	20.8%	32.5%	46.8%	25.9%	26.6%	47.6%
	まああてはまる	274	47.7%	50.25	50.51	32.8%	30.7%	36.5%	32.1%	25.1%	42.8%
	あまりあてはまらない	116	20.2%	45.53	46.07	54.3%	25.9%	19.8%	53.2%	22.9%	23.9%
	まったくあてはまらない	28	4.9%	44.45	41.60	53.6%	28.6%	17.9%	73.1%	19.2%	7.7%
	無効回答	1	0.2%	42.60	44.41	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、友だちの話しに賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	とてもあてはまる	46	8.0%	50.86	48.69	30.4%	30.4%	39.1%	42.9%	26.2%	31.0%
	まああてはまる	141	24.5%	50.06	50.20	34.0%	31.2%	34.8%	34.4%	24.2%	41.4%
	あまりあてはまらない	260	45.2%	49.82	50.20	35.4%	28.1%	36.5%	33.8%	24.9%	41.4%
	まったくあてはまらない	127	22.1%	49.10	48.41	37.0%	33.1%	29.9%	44.8%	23.3%	31.9%
	無回答	1	0.2%	44.85	49.92	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	とてもあてはまる	79	13.7%	53.16	52.10	22.8%	25.3%	51.9%	30.1%	19.2%	50.7%
	まああてはまる	159	27.7%	50.65	50.32	32.1%	29.6%	38.4%	34.8%	25.5%	39.7%
	あまりあてはまらない	216	37.6%	48.79	49.22	39.8%	28.2%	31.9%	35.8%	27.9%	36.3%
	まったくあてはまらない	120	20.9%	48.41	48.16	38.3%	37.5%	24.2%	46.3%	21.3%	32.4%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめたことがある。	とてもあてはまる	59	10.3%	53.31	52.30	20.3%	32.2%	47.5%	35.2%	14.8%	50.0%
	まああてはまる	138	24.0%	51.61	50.98	27.5%	28.3%	44.2%	28.5%	30.1%	41.5%
	あまりあてはまらない	229	39.8%	48.59	49.16	41.0%	29.7%	29.3%	37.9%	24.2%	37.9%
	まったくあてはまらない	148	25.7%	48.69	48.32	38.5%	31.8%	29.7%	43.7%	24.4%	31.9%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、家庭学習や考前学習などで、教え合いをしている。	とてもあてはまる	55	9.6%	52.86	51.98	25.5%	25.5%	49.1%	28.0%	18.0%	54.0%
	まああてはまる	144	25.0%	50.00	51.01	36.8%	27.1%	36.1%	30.3%	26.5%	43.2%
	あまりあてはまらない	222	38.6%	48.87	49.08	37.4%	30.6%	32.0%	38.9%	23.7%	37.4%
	まったくあてはまらない	152	26.4%	49.88	48.48	33.6%	34.2%	32.2%	43.7%	26.8%	29.6%
	無効回答	1	0.2%	62.83	59.57	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
私は、小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決している。	とてもあてはまる	156	27.1%	52.13	50.52	25.0%	33.3%	41.7%	31.7%	28.9%	39.4%
	まああてはまる	233	40.5%	50.26	50.45	31.3%	31.8%	36.9%	35.2%	22.4%	42.4%
	あまりあてはまらない	128	22.3%	48.26	49.06	44.5%	25.8%	29.7%	37.5%	25.0%	37.5%
	まったくあてはまらない	56	9.7%	45.33	45.66	55.4%	25.0%	19.6%	58.0%	22.0%	20.0%
	無効回答	1	0.2%	42.60	55.44	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
私は、「ありがとう」を伝え合っている。	とてもあてはまる	309	53.7%	51.10	50.08	30.4%	31.1%	38.5%	34.6%	25.4%	40.0%
	まああてはまる	195	33.9%	49.06	49.62	39.5%	28.2%	32.3%	38.5%	25.1%	36.3%
	あまりあてはまらない	51	8.9%	46.70	50.11	43.1%	31.4%	25.5%	31.9%	25.5%	42.6%
	まったくあてはまらない	19	3.3%	45.44	43.25	42.1%	31.6%	26.3%	70.6%	5.9%	23.5%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、授業中、グループ学習やグループ活動によく協力している。	とてもあてはまる	172	29.9%	51.46	50.85	30.2%	29.7%	40.1%	35.0%	21.7%	43.3%
	まああてはまる	252	43.8%	50.20	49.83	34.5%	29.8%	35.7%	33.9%	28.8%	37.3%
	あまりあてはまらない	113	19.7%	47.59	48.67	40.7%	31.0%	28.3%	43.1%	22.5%	34.3%
	まったくあてはまらない	37	6.4%	46.49	46.57	43.2%	32.4%	24.3%	48.4%	16.1%	35.5%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	とてもあてはまる	157	27.3%	49.90	49.12	32.5%	31.2%	36.3%	38.3%	24.1%	37.6%
	まああてはまる	286	49.7%	50.49	50.71	33.6%	28.7%	37.8%	33.0%	24.5%	42.5%
	あまりあてはまらない	106	18.4%	48.22	48.46	40.6%	34.0%	25.5%	41.4%	27.3%	31.3%
	まったくあてはまらない	23	4.0%	48.37	46.92	43.5%	26.1%	30.4%	52.4%	19.0%	28.6%
	無回答	3	0.5%	44.10	44.87	66.7%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
私は、友だちの間に上下関係なく、誰でも平等に接している。	とてもあてはまる	208	36.2%	50.47	49.54	30.8%	30.8%	38.5%	37.8%	23.4%	38.8%
	まああてはまる	250	43.5%	50.77	51.03	34.0%	29.6%	36.4%	32.3%	24.5%	43.2%
	あまりあてはまらない	87	15.1%	47.43	48.32	42.5%	29.9%	27.6%	39.7%	28.2%	32.1%
	まったくあてはまらない	29	5.0%	44.23	43.46	51.7%	31.0%	17.2%	60.7%	25.0%	14.3%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	とてもあてはまる	197	34.3%	50.76	49.73	28.9%	35.5%	35.5%	35.6%	27.1%	37.3%
	まああてはまる	236	41.0%	49.61	49.78	38.1%	28.4%	33.5%	36.7%	24.8%	38.5%
	あまりあてはまらない	110	19.1%	49.88	51.27	33.6%	29.1%	37.3%	30.3%	23.2%	46.5%
	まったくあてはまらない	31	5.4%	45.36	43.38	54.8%	12.9%	32.3%	69.0%	13.8%	17.2%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、男女仲よく、共に学んだり活動している。	とてもあてはまる	192	33.4%	50.27	48.97	32.3%	32.8%	34.9%	41.6%	23.7%	34.7%
	まああてはまる	213	37.0%	50.47	50.16	33.3%	31.5%	35.2%	32.7%	25.0%	42.3%
	あまりあてはまらない	134	23.3%	48.59	51.19	40.3%	25.4%	34.3%	32.0%	25.4%	42.6%
	まったくあてはまらない	35	6.1%	48.19	45.23	40.0%	25.7%	34.3%	56.3%	25.0%	18.8%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	とてもあてはまる	97	16.9%	51.82	52.35	24.7%	34.0%	41.2%	22.0%	28.0%	50.0%
	まああてはまる	203	35.3%	52.19	52.39	25.1%	28.1%	46.8%	25.7%	25.1%	49.2%
	あまりあてはまらない	188	32.7%	48.42	48.50	43.6%	29.3%	27.1%	42.0%	24.7%	33.3%
	まったくあてはまらない	86	15.0%	45.06	43.03	51.2%	32.6%	16.3%	67.5%	20.0%	12.5%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	とてもあてはまる	299	52.0%	51.64	51.34	27.8%	29.4%	42.8%	30.7%	23.0%	46.4%
	まああてはまる	200	34.8%	48.77	49.12	41.0%	29.0%	30.0%	38.3%	27.3%	34.4%
	あまりあてはまらない	61	10.6%	45.70	44.84	49.2%	31.1%	19.7%	60.4%	18.9%	20.8%
	まったくあてはまらない	12	2.1%	43.54	44.06	41.7%	58.3%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%
	無回答	3	0.5%	41.85	43.49	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
私は、ろうかや教室を進んで整理整頓している。	とてもあてはまる	100	17.4%	49.48	48.76	36.0%	30.0%	34.0%	41.6%	21.3%	37.1%
	まああてはまる	180	31.3%	50.84	51.02	30.0%	36.7%	33.3%	29.3%	28.7%	41.9%
	あまりあてはまらない	216	37.6%	50.02	50.06	36.6%	23.1%	40.3%	37.4%	21.0%	41.5%
	まったくあてはまらない	78	13.6%	47.39	46.81	41.0%	34.6%	24.4%	47.2%	29.2%	23.6%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
私は、校外でも人の迷わくにならないように考えて行動している。	とてもあてはまる	211	36.7%	51.65	50.67	26.1%	32.7%	41.2%	32.1%	26.7%	41.2%
	まああてはまる	262	45.6%	50.58	50.68	34.0%	27.1%	38.9%	33.3%	23.8%	42.9%
	あまりあてはまらない	81	14.1%	44.35	45.89	56.8%	30.9%	12.3%	51.3%	22.4%	26.3%
	まったくあてはまらない	20	3.5%	42.94	42.13	55.0%	40.0%	5.0%	70.0%	25.0%	5.0%
	無回答	1	0.2%	31.37	40.27	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	とてもあてはまる	219	38.1%	50.30	50.59	32.9%	30.6%	36.5%	33.0%	25.6%	41.4%
	まああてはまる	173	30.1%	49.29	49.71	39.3%	27.2%	33.5%	35.4%	27.2%	37.3%
	あまりあてはまらない	107	18.6%	50.27	49.91	32.7%	30.8%	36.4%	36.6%	23.7%	39.8%
	まったくあてはまらない	71	12.3%	49.19	46.62	33.8%	35.2%	31.0%	53.8%	16.9%	29.2%
	無回答	5	0.9%	43.50	48.27	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%
家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	とてもあてはまる	186	32.3%	52.32	52.88	25.3%	29.6%	45.2%	22.5%	25.4%	52.1%
	まああてはまる	205	35.7%	50.34	51.03	34.6%	28.3%	37.1%	31.4%	25.0%	43.6%
	あまりあてはまらない	118	20.5%	47.08	45.93	44.9%	33.9%	21.2%	53.2%	24.8%	22.0%
	まったくあてはまらない	61	10.6%	46.03	42.85	45.9%	31.1%	23.0%	69.8%	20.8%	9.4%
	無回答	5	0.9%	43.50	48.27	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%
学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	とてもあてはまる	238	41.4%	52.73	53.14	22.7%	30.7%	46.6%	25.3%	22.1%	52.5%
	まああてはまる	188	32.7%	49.98	49.84	36.2%	28.7%	35.1%	31.2%	32.4%	36.5%
	あまりあてはまらない	117	20.3%	45.64	44.43	52.1%	34.2%	13.7%	60.7%	20.6%	18.7%
	まったくあてはまらない	26	4.5%	41.65	41.23	61.5%	15.4%	23.1%	75.0%	12.5%	12.5%
	無効回答	1	0.2%	47.10	43.03	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	とてもあてはまる	228	39.7%	51.47	51.00	28.5%	29.4%	42.1%	32.7%	22.1%	45.2%
	まああてはまる	135	23.5%	49.91	49.96	35.6%	30.4%	34.1%	36.9%	24.6%	38.5%
	あまりあてはまらない	131	22.8%	48.25	48.35	39.7%	32.8%	27.5%	40.2%	27.9%	32.0%
	まったくあてはまらない	74	12.9%	47.40	47.43	45.9%	27.0%	27.0%	45.5%	27.3%	27.3%
	無回答	7	1.2%	47.10	50.32	42.9%	28.6%	28.6%	33.3%	16.7%	50.0%
自分の得意な分野をさらにのびすために、家で自分なりに学んでいることがある。	とてもあてはまる	128	22.3%	51.28	51.21	32.8%	25.0%	42.2%	29.4%	24.8%	45.9%
	まああてはまる	172	29.9%	51.33	51.57	29.1%	32.6%	38.4%	27.0%	28.9%	44.0%
	あまりあてはまらない	185	32.2%	48.82	49.05	38.4%	29.7%	31.9%	39.7%	25.3%	35.1%
	まったくあてはまらない	84	14.6%	46.86	44.85	42.9%	33.3%	23.8%	63.2%	14.5%	22.4%
	無回答	6	1.0%	45.22	50.38	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%
テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	とてもあてはまる	151	26.3%	51.74	52.10	23.8%	37.1%	39.1%	24.6%	28.4%	47.0%
	まああてはまる	161	28.0%	51.48	51.85	28.6%	29.2%	42.2%	27.2%	27.8%	45.0%
	あまりあてはまらない	153	26.6%	47.68	47.90	45.1%	27.5%	27.5%	44.6%	23.7%	31.7%
	まったくあてはまらない	104	18.1%	47.72	45.43	46.2%	25.0%	28.8%	59.6%	16.0%	24.5%
	無回答	6	1.0%	45.22	50.38	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%
授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	とてもあてはまる	34	5.9%	48.55	50.34	38.2%	29.4%	32.4%	27.6%	27.6%	44.8%
	まああてはまる	102	17.7%	50.53	51.91	31.4%	31.4%	37.3%	23.3%	34.4%	42.2%
	あまりあてはまらない	240	41.7%	50.27	50.33	34.2%	27.9%	37.9%	35.3%	22.6%	42.1%
	まったくあてはまらない	193	33.6%	49.17	47.56	37.3%	32.1%	30.6%	47.8%	21.9%	30.3%
	無回答	6	1.0%	45.22	50.38	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア		中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値			下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
あなたは現在、部活動に参加していますか。	部活動に参加し、熱心に活動しています。	411	71.5%	50.51	50.33			33.3%	29.9%	36.7%	35.6%	23.4%	41.0%
	部活動に参加しているが、あまり熱心以前は参加していたが、現在は参加し今までに参加したことはない。	78	13.6%	49.09	48.72			37.2%	28.2%	34.6%	33.8%	36.6%	29.6%
		46	8.0%	47.29	45.49			37.0%	34.8%	28.3%	56.1%	19.5%	24.4%
		30	5.2%	48.00	49.37			46.7%	26.7%	26.7%	37.0%	18.5%	44.4%
	無回答	10	1.7%	42.83	50.84			50.0%	40.0%	10.0%	33.3%	22.2%	44.4%
あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。	高校まで	106	18.4%	43.34	42.76			67.0%	22.6%	10.4%	65.0%	24.3%	10.7%
	専門学校・各種学校まで	106	18.4%	48.28	47.45			37.7%	38.7%	23.6%	43.0%	25.8%	31.2%
	短期大学まで	69	12.0%	47.78	47.58			39.1%	29.0%	31.9%	46.2%	29.2%	24.6%
	四年制大学まで	186	32.3%	54.37	54.83			18.3%	25.8%	55.9%	16.6%	21.5%	62.0%
	大学院まで	50	8.7%	53.66	53.86			16.0%	40.0%	44.0%	17.8%	31.1%	51.1%
	その他	46	8.0%	49.49	48.00			37.0%	32.6%	30.4%	45.5%	18.2%	36.4%
興味を持ったことや疑問に思ったことについて、文章を書くのが好きである。	よくあてはまる	76	13.2%	52.30	51.89			22.4%	35.5%	42.1%	26.9%	25.4%	47.8%
	ややあてはまる	283	49.1%	51.31	51.50			29.3%	29.3%	41.3%	29.2%	26.2%	44.6%
	あまりあてはまらない	174	30.2%	47.61	47.31			46.0%	29.3%	24.7%	48.8%	21.9%	29.4%
	まったくあてはまらない	37	6.4%	45.88	43.85			51.4%	29.7%	18.9%	59.4%	25.0%	15.6%
	無回答	6	1.0%	32.86	40.04			66.7%	16.7%	16.7%	66.7%	16.7%	16.7%
自分のものの方や考え方を広げるために、読書をするのが好きである。	よくあてはまる	163	28.3%	53.48	52.42			19.6%	28.8%	51.5%	24.7%	26.0%	49.3%
	ややあてはまる	175	30.4%	50.81	51.24			31.4%	32.0%	36.6%	28.3%	26.4%	45.3%
	あまりあてはまらない	150	26.0%	47.88	47.43			44.0%	31.3%	24.7%	48.5%	24.3%	27.2%
	まったくあてはまらない	81	14.1%	45.35	45.62			55.6%	27.2%	17.3%	58.1%	18.9%	23.0%
	無回答	7	1.2%	30.08	40.04			71.4%	14.3%	14.3%	66.7%	16.7%	16.7%
新しく習った漢字は、くり返して練習するようにしている。	よくあてはまる	74	12.8%	51.05	52.31			27.0%	35.1%	37.8%	24.3%	27.1%	48.6%
	ややあてはまる	177	30.7%	51.91	51.45			28.2%	28.2%	43.5%	29.6%	26.4%	44.0%
	あまりあてはまらない	231	40.1%	49.69	49.21			35.9%	32.5%	31.6%	39.6%	24.1%	36.3%
	まったくあてはまらない	87	15.1%	46.19	45.74			51.7%	24.1%	24.1%	55.1%	20.5%	24.4%
	無回答	7	1.2%	30.08	40.04			71.4%	14.3%	14.3%	66.7%	16.7%	16.7%
話し合いをするときに、相手の立場を考えて発言している。	よくあてはまる	131	22.7%	50.60	50.04			31.3%	31.3%	37.4%	33.9%	28.0%	38.1%
	ややあてはまる	307	53.3%	51.27	50.97			30.0%	31.6%	38.4%	31.1%	25.4%	43.5%
	あまりあてはまらない	109	18.9%	46.19	46.53			49.5%	28.4%	22.0%	56.6%	16.2%	27.3%
	まったくあてはまらない	22	3.8%	48.22	47.67			50.0%	13.6%	36.4%	36.8%	36.8%	26.3%
	無回答	7	1.2%	30.08	40.04			71.4%	14.3%	14.3%	66.7%	16.7%	16.7%
話し合いをするときに、相手の立場や考えを尊重して、話を聞いている。	よくあてはまる	143	24.8%	51.51	50.66			28.7%	32.2%	39.2%	32.8%	25.0%	42.2%
	ややあてはまる	279	48.4%	50.51	50.84			32.3%	31.2%	36.6%	31.5%	26.1%	42.4%
	あまりあてはまらない	127	22.0%	47.93	47.12			44.9%	26.8%	28.3%	51.3%	19.7%	29.1%
	まったくあてはまらない	20	3.5%	45.86	45.51			50.0%	25.0%	25.0%	47.1%	35.3%	17.6%
	その他	0	0.0%					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新しく覚えた言葉を、ふだんからできるだけ使うようにしている。	よくあてはまる	115	20.0%	50.79	49.84			32.2%	30.4%	37.4%	38.5%	20.2%	41.3%
	ややあてはまる	199	34.5%	51.56	51.49			28.1%	28.6%	43.2%	26.2%	29.0%	44.8%
	あまりあてはまらない	189	32.8%	48.71	49.04			40.7%	29.6%	29.6%	42.4%	22.4%	35.3%
	まったくあてはまらない	66	11.5%	47.81	46.60			42.4%	36.4%	21.2%	50.0%	25.8%	24.2%
	無回答	7	1.2%	30.08	40.04			71.4%	14.3%	14.3%	66.7%	16.7%	16.7%
知らない言葉があったときは、国語辞典や漢和辞典（漢字辞典）で調べるようにしている。	よくあてはまる	110	19.1%	51.33	51.43			22.7%	38.2%	39.1%	29.3%	33.2%	47.5%
	ややあてはまる	170	29.5%	52.61	52.40			25.9%	28.2%	45.9%	24.8%	27.5%	47.7%
	あまりあてはまらない	189	32.8%	48.79	48.58			40.7%	29.1%	30.2%	40.8%	27.0%	32.2%
	まったくあてはまらない	99	17.2%	46.44	45.74			52.5%	27.3%	20.2%	57.6%	16.3%	26.1%
	無効回答	1	0.2%	56.09	47.16			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	7	1.2%	30.08	40.04			71.4%	14.3%	14.3%	66.7%	16.7%	16.7%
計算をするときは、簡単に計算できる方法がないか考えている。	よくあてはまる	124	21.6%	51.72	53.92			25.0%	31.5%	43.5%	20.5%	21.4%	58.0%
	ややあてはまる	206	35.8%	50.93	51.45			32.0%	29.6%	38.3%	28.9%	25.8%	45.4%
	あまりあてはまらない	170	29.6%	48.42	46.99			41.2%	31.8%	27.1%	47.7%	27.5%	24.8%
	まったくあてはまらない	69	12.0%	47.19	43.91			46.4%	26.1%	27.5%	63.9%	21.3%	14.8%
	無回答	6	1.0%	44.85	43.49			50.0%	16.7%	33.3%	80.0%	0.0%	20.0%
コンパスと定規を用いて、さまざまな作図をするのはおもしろいと思う。	よくあてはまる	103	17.9%	51.16	52.45			28.2%	34.0%	37.9%	25.5%	24.5%	50.0%
	ややあてはまる	171	29.7%	50.26	51.24			35.1%	29.8%	35.1%	29.5%	25.6%	44.9%
	あまりあてはまらない	173	30.1%	50.09	49.46			35.8%	28.3%	35.8%	38.0%	23.9%	38.0%
	まったくあてはまらない	123	21.4%	48.16	45.81			39.0%	30.1%	30.9%	55.1%	25.2%	19.6%
	無回答	5	0.9%	41.70	41.37			60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%
日常生活の中で、これは数学（算数）の授業で学習したことだと思うことがある。	よくあてはまる	99	17.2%	48.03	50.03			39.4%	38.4%	22.2%	33.3%	26.7%	40.0%
	ややあてはまる	234	40.7%	50.53	50.71			34.2%	28.6%	37.2%	31.8%	29.0%	39.3%
	あまりあてはまらない	171	29.7%	50.51	49.41			31.6%	28.7%	39.8%	39.2%	21.5%	39.2%
	まったくあてはまらない	66	11.5%	49.04	46.79			39.4%	27.3%	33.3%	53.4%	15.5%	31.0%
	無回答	5	0.9%	41.70	41.37			60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%
わからなかった問題や、テストで間違えた問題は、くり返し練習して、間違えないようにしている。	よくあてはまる	98	17.0%	52.53	53.25			23.5%	33.7%	42.9%	21.4%	21.4%	57.1%
	ややあてはまる	227	39.5%	51.79	52.39			28.2%	30.4%	41.4%	24.6%	27.5%	47.9%
	あまりあてはまらない	182	31.7%	48.11	46.60			41.2%	31.3%	27.5%	50.9%	25.1%	24.0%
	まったくあてはまらない	61	10.6%	44.19	43.77			59.0%	21.3%	19.7%	64.2%	17.0%	18.9%
	無回答	7	1.2%	43.57	42.83			57.1%	14.3%	28.6%	66.7%	16.7%	16.7%

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	％ (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
数学（算数）の問題を解いたあと、ミスがないか見直すようにしている。	よくあてはまる	167	29.0%	51.47	52.64	27.5%	33.5%	38.9%	25.7%	23.7%	50.7%
	ややあてはまる	241	41.9%	50.89	50.66	32.0%	28.6%	39.4%	32.4%	27.6%	40.0%
	あまりあてはまらない	121	21.0%	47.62	46.34	45.5%	28.9%	25.6%	50.5%	22.9%	26.6%
	まったくあてはまらない	41	7.1%	44.63	42.66	51.2%	29.3%	19.5%	70.6%	17.6%	11.8%
	無回答	5	0.9%	41.70	41.37	60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%
数学（算数）の問題に取り組むとき、問題を図や表に表して整理し、考えるようにしている。	よくあてはまる	82	14.3%	51.92	53.52	29.3%	25.6%	45.1%	20.0%	22.7%	57.3%
	ややあてはまる	185	32.2%	51.99	52.89	26.5%	32.4%	41.1%	21.4%	27.7%	50.9%
	あまりあてはまらない	218	37.9%	48.76	47.75	38.5%	31.2%	30.3%	45.8%	23.9%	30.3%
	まったくあてはまらない	85	14.8%	46.44	44.39	49.4%	27.1%	23.5%	66.2%	22.5%	11.3%
	無回答	5	0.9%	41.70	41.37	60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%
数学（算数）の問題を解くとき、いろいろな方法で考えるようにしている。	よくあてはまる	128	22.3%	51.98	53.46	28.9%	25.8%	45.3%	21.2%	22.0%	56.8%
	ややあてはまる	208	36.2%	51.51	52.00	26.0%	36.5%	37.5%	25.3%	29.0%	45.7%
	あまりあてはまらない	161	28.0%	48.06	46.90	44.1%	26.1%	29.8%	48.7%	24.7%	26.6%
	まったくあてはまらない	73	12.7%	45.87	43.10	50.7%	28.8%	20.5%	71.0%	17.7%	11.3%
	無回答	5	0.9%	41.70	41.37	60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%
現在、部活動に参加していますか	運動部に参加し、熱心に活動している	356	62.0%	49.66	49.79	37.1%	29.2%	33.7%	38.9%	22.2%	38.9%
	運動部に参加しているが、あまり熱心に活動していない	55	9.6%	48.61	48.67	41.8%	23.6%	34.5%	35.3%	33.3%	31.4%
	文化部に参加し、熱心に活動している	68	11.8%	53.91	52.76	16.2%	35.3%	48.5%	22.6%	25.8%	51.6%
	文化部に参加しているが、あまり熱心に活動していない	19	3.3%	48.75	47.31	42.1%	21.1%	36.8%	35.3%	41.2%	23.5%
	運動部と文化部の両方に参加している	2	0.3%	30.24	39.58	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	部活動に参加していない	71	12.4%	47.98	47.97	38.0%	35.2%	26.8%	43.8%	21.9%	34.4%
	無回答	3	0.5%	53.09	47.62	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
学年の中でどれくらい勉強ができるほうだと思いますか	とてもよくできる	18	3.1%	52.84	56.05	22.2%	27.8%	50.0%	23.5%	5.9%	70.6%
	よくできる	60	10.5%	58.00	59.87	6.7%	16.7%	76.7%	3.5%	7.0%	89.5%
	普通	267	46.5%	52.43	52.71	22.8%	32.2%	44.9%	19.0%	33.5%	47.5%
	あまりできない	153	26.7%	45.01	44.48	56.9%	32.0%	11.1%	62.0%	23.4%	14.6%
	まったくできない	73	12.7%	42.42	39.49	63.0%	28.8%	8.2%	83.6%	13.4%	3.0%
	無回答	3	0.5%	53.09	47.62	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
	無回答	3	0.5%	53.09	47.62	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
自分にはよいところがあると思う	あてはまる	154	26.8%	50.15	49.89	33.1%	31.8%	35.1%	36.3%	23.7%	40.0%
	どちらかといえばあてはまる	251	43.7%	50.74	50.26	32.7%	28.7%	38.6%	34.9%	23.3%	41.8%
	どちらかといえばあてはまらない	117	20.4%	47.73	49.05	41.9%	28.2%	29.9%	42.6%	22.2%	35.2%
	あてはまらない	47	8.2%	48.20	47.14	40.4%	36.2%	23.4%	40.9%	36.4%	22.7%
	無回答	5	0.9%	52.49	52.68	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	50.0%	50.0%
学校の友だちとうまくやれていると思う	あてはまる	261	45.5%	49.03	48.97	38.3%	30.7%	31.0%	39.7%	25.5%	34.7%
	どちらかといえばあてはまる	250	43.6%	51.03	50.82	30.4%	29.6%	40.0%	32.0%	24.0%	44.0%
	どちらかといえばあてはまらない	49	8.5%	46.96	48.09	44.9%	28.6%	26.5%	47.8%	17.4%	34.8%
	あてはまらない	13	2.3%	50.90	47.91	30.8%	30.8%	38.5%	41.7%	33.3%	25.0%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
将来の夢や目標を持っている	あてはまる	246	42.9%	48.89	48.66	39.0%	29.7%	31.3%	40.6%	23.7%	35.6%
	どちらかといえばあてはまる	134	23.3%	50.32	50.48	32.1%	32.1%	35.8%	32.2%	28.1%	39.7%
	どちらかといえばあてはまらない	108	18.8%	51.97	51.82	28.7%	25.0%	46.3%	31.4%	21.6%	47.1%
	あてはまらない	73	12.7%	48.67	48.47	37.0%	34.2%	28.8%	42.9%	24.3%	32.9%
	無回答	13	2.3%	49.00	49.82	38.5%	38.5%	23.1%	36.4%	27.3%	36.4%
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする	あてはまる	224	39.0%	50.95	50.21	31.7%	32.1%	36.2%	33.0%	28.7%	38.3%
	どちらかといえばあてはまる	183	31.9%	49.82	50.10	36.1%	24.0%	39.9%	35.2%	22.8%	42.0%
	どちらかといえばあてはまらない	121	21.1%	48.77	49.29	36.4%	32.2%	31.4%	43.1%	16.5%	40.4%
	あてはまらない	45	7.8%	46.35	46.37	46.7%	37.8%	15.6%	50.0%	28.6%	21.4%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
家の人が新聞を読んでいるのをよく見かける	あてはまる	163	28.4%	51.77	51.88	27.0%	31.9%	41.1%	26.0%	30.0%	44.0%
	どちらかといえばあてはまる	85	14.8%	50.03	50.91	37.6%	27.1%	35.3%	33.3%	24.0%	42.7%
	どちらかといえばあてはまらない	105	18.3%	48.68	48.32	40.0%	23.8%	36.2%	44.6%	20.7%	34.8%
	あてはまらない	210	36.6%	48.69	48.27	38.1%	32.9%	29.0%	43.1%	22.8%	34.0%
	無回答	11	1.9%	49.34	47.42	36.4%	36.4%	27.3%	44.4%	11.1%	44.4%
クラスの中で馬鹿にされていると感じることがある	あてはまる	38	6.6%	47.10	47.13	34.2%	42.1%	23.7%	44.1%	35.3%	20.6%
	どちらかといえばあてはまる	79	13.8%	49.37	48.93	35.4%	36.7%	27.8%	42.9%	24.3%	32.9%
	どちらかといえばあてはまらない	223	38.9%	50.51	50.66	35.0%	25.1%	39.9%	33.2%	23.4%	43.4%
	あてはまらない	232	40.4%	49.62	49.45	35.8%	30.2%	34.1%	37.7%	23.6%	38.7%
	無回答	2	0.3%	52.72	45.10	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
いつも一緒にいる友だちグループ以外の人は、特に仲良くしたいとは思わない	あてはまる	37	6.4%	49.83	49.47	32.4%	37.8%	29.7%	48.5%	18.2%	33.3%
	どちらかといえばあてはまる	85	14.8%	48.97	49.45	40.0%	25.9%	34.1%	37.8%	22.0%	40.2%
	どちらかといえばあてはまらない	207	36.1%	50.05	49.81	34.8%	29.0%	36.2%	34.4%	24.9%	40.7%
	あてはまらない	244	42.5%	49.80	49.68	34.4%	31.1%	34.4%	37.6%	25.7%	36.7%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
高校で進みたい学科／普通科（国社数理英を中心に学ぶ高校）	候補でない	375	65.3%	48.41	47.80	40.3%	30.9%	28.8%	44.7%	24.6%	30.8%
	候補である	194	33.8%	52.51	53.34	25.3%	28.9%	45.9%	22.7%	24.9%	52.5%
	無回答	5	0.9%	46.20	49.92	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	0.0%	50.0%
高校で進みたい学科／専門学科（国社数理英以外を中心に学ぶ高校）	候補でない	495	86.2%	50.13	50.04	34.1%	29.9%	36.0%	36.4%	23.4%	40.2%
	候補である	74	12.9%	47.67	47.29	41.9%	32.4%	25.7%	40.9%	33.3%	25.8%
	無回答	5	0.9%	46.20	49.92	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	0.0%	50.0%
高校で進みたい学科／総合学科（関心のある科目を自由に選択する高校）	候補でない	469	81.7%	49.64	49.49	35.6%	30.5%	33.9%	37.6%	24.8%	37.6%
	候補である	100	17.4%	50.60	50.56	33.0%	29.0%	38.0%	34.1%	24.2%	41.8%
	無回答	5	0.9%	46.20	49.92	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	0.0%	50.0%

質問	選択肢	単純集計 (列%)		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス (列%)			中2数学スコア3分位とのクロス (列%)		
		N (575)	% (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
高校で進学したい学科／高校には進学する予定だが、学科はまったく考えていない	候補でない	303	52.8%	50.44	50.94	33.3%	29.0%	37.6%	31.8%	24.2%	44.0%
	候補である	266	46.3%	49.08	48.25	37.2%	31.6%	31.2%	43.0%	25.2%	31.8%
	無回答	5	0.9%	46.20	49.92	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	0.0%	50.0%
高校で進学したい学科／高校には進学しない予定	候補でない	564	98.3%	49.88	49.78	34.8%	30.3%	34.9%	36.6%	24.7%	38.7%
	候補である	5	0.9%	41.25	38.07	80.0%	20.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	無回答	5	0.9%	46.20	49.92	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	0.0%	50.0%
今住んでいる地域の行事に参加している	あてはまる	77	13.4%	50.13	49.24	33.8%	32.5%	33.8%	42.3%	19.7%	38.0%
	どちらかといえばあてはまる	142	24.7%	50.67	51.52	31.7%	31.7%	36.6%	30.2%	23.0%	46.8%
	どちらかといえばあてはまらない	187	32.6%	50.52	50.28	34.2%	27.3%	38.5%	32.4%	26.6%	41.0%
	あてはまらない	162	28.2%	48.40	47.95	38.9%	30.9%	30.2%	44.6%	25.7%	29.7%
	無回答	6	1.0%	37.73	39.35	66.7%	33.3%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	あてはまる	432	75.3%	49.65	49.58	35.4%	31.3%	33.3%	37.8%	24.9%	37.3%
	どちらかといえばあてはまる	107	18.6%	51.02	50.75	30.8%	29.0%	40.2%	31.6%	24.5%	43.9%
	どちらかといえばあてはまらない	23	4.0%	47.78	48.84	43.5%	17.4%	39.1%	40.0%	20.0%	40.0%
	あてはまらない	11	1.9%	46.48	45.16	54.5%	18.2%	27.3%	60.0%	10.0%	30.0%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
学校の先生たちの言うことは信頼できると思う	あてはまる	105	18.3%	49.60	49.68	34.3%	33.3%	32.4%	38.9%	18.9%	42.1%
	どちらかといえばあてはまる	282	49.1%	49.99	50.64	34.8%	28.0%	37.2%	31.8%	27.9%	40.3%
	どちらかといえばあてはまらない	118	20.6%	49.04	48.48	39.0%	29.7%	31.4%	42.7%	22.7%	34.5%
	あてはまらない	60	10.5%	51.25	48.08	28.3%	35.0%	36.7%	46.3%	20.4%	33.3%
	無回答	9	1.6%	44.85	45.94	55.6%	33.3%	11.1%	50.0%	33.3%	16.7%
テストの点数で人を評価することはよくないことだと思う	あてはまる	311	54.2%	48.12	47.39	40.8%	32.5%	26.7%	46.6%	26.7%	26.7%
	どちらかといえばあてはまる	171	29.8%	51.83	52.34	28.1%	26.9%	45.0%	26.6%	22.2%	51.3%
	どちらかといえばあてはまらない	66	11.5%	51.01	52.16	31.8%	25.8%	42.4%	23.3%	26.7%	50.0%
	あてはまらない	25	4.4%	52.85	53.39	24.0%	32.0%	44.0%	30.4%	4.3%	65.2%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
実力テストや模擬試験の結果を見たとき、もっと頑張って勉強しようと思う	あてはまる	303	52.8%	50.86	51.22	31.4%	29.7%	38.9%	31.8%	23.9%	44.3%
	どちらかといえばあてはまる	187	32.6%	49.21	48.99	37.4%	29.4%	33.2%	37.6%	28.5%	33.9%
	どちらかといえばあてはまらない	58	10.1%	47.76	47.05	44.8%	27.6%	27.6%	48.1%	16.7%	35.2%
	あてはまらない	23	4.0%	45.63	42.85	39.1%	47.8%	13.0%	71.4%	19.0%	9.5%
	無回答	3	0.5%	46.35	41.19	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
困っている人がいたら社会みんなで助けるべきだと思う	あてはまる	320	55.7%	49.35	49.04	35.6%	33.8%	30.6%	40.1%	26.2%	33.7%
	どちらかといえばあてはまる	209	36.4%	50.44	50.77	34.9%	23.9%	41.1%	32.8%	21.7%	45.5%
	どちらかといえばあてはまらない	38	6.6%	49.40	49.01	36.8%	28.9%	34.2%	35.3%	23.5%	41.2%
	あてはまらない	6	1.0%	50.84	50.15	16.7%	50.0%	33.3%	40.0%	20.0%	40.0%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
少しでも学力の高い高校へ進学したい	あてはまる	290	50.5%	50.61	51.27	33.8%	27.9%	38.3%	31.6%	22.2%	46.2%
	どちらかといえばあてはまる	161	28.0%	49.97	50.52	31.7%	33.5%	34.8%	30.3%	33.8%	35.9%
	どちらかといえばあてはまらない	81	14.1%	48.26	45.62	42.0%	24.7%	33.3%	52.0%	21.3%	26.7%
	あてはまらない	35	6.1%	46.07	42.91	45.7%	40.0%	14.3%	77.4%	6.5%	16.1%
	無回答	7	1.2%	46.78	45.79	42.9%	57.1%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%
高校で仕事に直接役立つことを学びたい	あてはまる	245	42.7%	49.41	48.84	35.5%	31.4%	33.1%	42.8%	23.0%	34.2%
	どちらかといえばあてはまる	220	38.3%	50.23	51.00	35.0%	30.5%	34.5%	30.3%	25.4%	44.3%
	どちらかといえばあてはまらない	83	14.5%	51.08	50.52	30.1%	24.1%	45.8%	28.6%	27.3%	44.2%
	あてはまらない	25	4.4%	44.85	43.53	52.0%	32.0%	16.0%	72.7%	18.2%	9.1%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
高校に進学したら、勉強についていけるかどうか不安だ	あてはまる	330	57.5%	48.70	48.15	40.0%	31.2%	28.8%	43.2%	25.1%	31.7%
	どちらかといえばあてはまる	196	34.1%	51.13	52.00	28.1%	30.6%	41.3%	27.4%	25.1%	47.4%
	どちらかといえばあてはまらない	35	6.1%	53.07	52.28	25.7%	17.1%	57.1%	27.3%	15.2%	57.6%
	あてはまらない	12	2.1%	47.28	46.13	50.0%	25.0%	25.0%	54.5%	18.2%	27.3%
	無回答	1	0.2%	53.84	49.92	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
将来、地位や名誉のある職業につきたい	あてはまる	147	25.6%	49.57	50.10	35.4%	29.3%	35.4%	39.4%	17.4%	43.2%
	どちらかといえばあてはまる	180	31.4%	49.53	50.26	36.7%	32.8%	30.6%	31.1%	31.1%	37.8%
	どちらかといえばあてはまらない	173	30.1%	49.53	49.57	38.2%	25.4%	36.4%	36.6%	24.8%	38.5%
	あてはまらない	71	12.4%	51.40	47.77	23.9%	36.6%	39.4%	49.2%	20.6%	30.2%
	無回答	3	0.5%	50.09	46.25	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
将来、自分の興味・関心をいかせる仕事につきたい	あてはまる	382	66.6%	49.81	49.44	34.0%	32.7%	33.2%	38.5%	24.1%	37.4%
	どちらかといえばあてはまる	155	27.0%	50.42	51.17	36.1%	23.9%	40.0%	31.4%	22.9%	45.7%
	どちらかといえばあてはまらない	25	4.4%	45.30	46.06	44.0%	32.0%	24.0%	40.0%	40.0%	20.0%
	あてはまらない	10	1.7%	50.02	45.23	40.0%	20.0%	40.0%	62.5%	12.5%	25.0%
	無回答	2	0.3%	48.22	47.16	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含みます）で勉強をしていますか	学習塾に通っていない	220	38.3%	48.61	47.84	36.4%	33.6%	30.0%	45.5%	21.2%	33.3%
	学校の勉強より進んだ内容や、難しい学校の勉強でよく分からなかった内容を	113	19.7%	51.97	53.69	28.3%	28.3%	43.4%	18.8%	27.7%	53.5%
	両方の内容を勉強している	64	11.1%	44.01	42.32	65.6%	21.9%	12.5%	69.5%	23.7%	6.8%
	両方のどちらともいえない	131	22.8%	52.72	53.36	25.2%	29.8%	45.0%	21.1%	26.0%	52.8%
	無回答	43	7.5%	49.87	48.93	32.6%	30.2%	37.2%	38.5%	30.8%	30.8%
テストの点数で測ることのできる能力以外の能力をどれくらい持っていると思いますか	1点：まったく持っていない	47	8.2%	44.04	43.39	68.1%	12.8%	19.1%	59.5%	26.2%	14.3%
	2点：持っていない	96	16.7%	46.98	46.78	43.8%	29.2%	27.1%	53.4%	18.2%	28.4%
	3点：普通	289	50.3%	50.67	50.83	30.8%	34.3%	34.9%	31.7%	26.8%	41.5%
	4点：持っている	94	16.4%	53.36	54.00	24.5%	23.4%	52.1%	18.4%	23.0%	58.6%
	5点：十分に持っている	44	7.7%	49.09	46.29	31.8%	38.6%	29.5%	51.4%	27.0%	21.6%
	無回答	4	0.7%	43.16	44.41	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%

質問	選択肢	単純集計（列％）		中2国語スコア 中2数学スコア		中2国語スコア3分位とのクロス（列％）			中2数学スコア3分位とのクロス（列％）		
		N (575)	％ (100%)	平均値	平均値	下位 (N=202)	中位 (N=173)	上位 (N=200)	下位 (N=215)	中位 (N=141)	上位 (N=219)
将来、どれくらい幸せに生きていけると思えますか	1点：まったく幸せに生きていけない	20	3.5%	46.87	44.48	45.0%	20.0%	35.0%	61.1%	16.7%	22.2%
	2点	31	5.4%	47.31	47.48	41.9%	38.7%	19.4%	43.3%	23.3%	33.3%
	3点	100	17.4%	49.37	48.71	38.0%	27.0%	35.0%	38.6%	29.5%	31.8%
	4点	204	35.5%	50.41	51.18	32.8%	27.9%	39.2%	31.6%	24.1%	44.4%
	5点	119	20.7%	51.38	51.14	29.4%	31.9%	38.7%	29.6%	26.9%	43.5%
	6点：とてもよくできる幸せに生きていける	95	16.6%	48.68	48.11	38.9%	34.7%	26.3%	46.0%	20.7%	33.3%
	無回答	5	0.9%	41.25	38.07	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	4時間以上	85	14.8%	43.26	41.80	60.0%	24.7%	15.3%	73.0%	17.6%	9.5%
	3時間以上、4時間より少ない	48	8.4%	46.58	45.64	54.2%	25.0%	20.8%	51.1%	26.7%	22.2%
	2時間以上、3時間より少ない	86	15.0%	48.72	49.31	38.4%	33.7%	27.9%	36.7%	27.8%	35.4%
	1時間以上、2時間より少ない	91	15.9%	50.97	51.07	28.6%	34.1%	37.4%	28.2%	27.1%	44.7%
	30分以上、1時間より少ない	79	13.8%	52.02	53.03	25.3%	35.4%	39.2%	21.7%	31.9%	46.4%
	30分より少ない	82	14.3%	53.07	52.73	20.7%	32.9%	46.3%	24.7%	27.3%	48.1%
	携帯電話やスマートフォンを持っていない	99	17.2%	52.66	52.62	26.3%	24.2%	49.5%	28.9%	16.7%	54.4%
	無回答	4	0.7%	38.67	38.55	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
あなたの家には、本（マンガ、雑誌、学習参考書以外）はどれくらいありますか	ほとんどない	119	20.7%	46.06	46.12	51.3%	33.6%	15.1%	53.3%	22.4%	24.3%
	20冊くらい	144	25.1%	49.53	49.57	38.2%	29.9%	31.9%	32.8%	30.5%	36.6%
	50冊くらい	110	19.2%	52.23	50.67	23.6%	31.8%	44.5%	34.3%	22.5%	43.1%
	100冊くらい	85	14.8%	51.46	52.03	29.4%	25.9%	44.7%	28.2%	24.4%	47.4%
	200冊くらい	60	10.5%	49.34	50.04	30.0%	28.3%	41.7%	33.3%	22.2%	44.4%
	300冊くらい	23	4.0%	55.50	56.45	21.7%	17.4%	60.9%	22.7%	13.6%	63.6%
	400冊以上	28	4.9%	50.39	50.07	28.6%	39.3%	32.1%	37.5%	29.2%	33.3%
	無回答	5	0.9%	38.11	38.34	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
学年の中でどれくらい国語の勉強ができるほうだと思いますか	とてもよくできる	14	2.4%	53.68	52.68	21.4%	28.6%	50.0%	30.8%	15.4%	53.8%
	よくできる	66	11.5%	58.57	56.04	7.6%	16.7%	75.8%	13.1%	18.0%	68.9%
	普通	276	48.1%	50.66	50.34	28.6%	32.2%	39.1%	34.3%	24.0%	41.7%
	あまりできない	159	27.7%	46.69	48.29	48.4%	34.0%	17.6%	41.7%	29.5%	28.8%
	まったくできない	54	9.4%	43.39	42.67	64.8%	24.1%	11.1%	64.7%	23.5%	11.8%
	無回答	5	0.9%	41.25	41.10	60.0%	40.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
学年の中でどれくらい数学の勉強ができるほうだと思いますか	とてもよくできる	24	4.2%	54.31	57.04	16.7%	25.0%	58.3%	18.2%	4.5%	77.3%
	よくできる	98	17.1%	54.80	58.28	17.3%	27.6%	55.1%	4.4%	18.7%	76.9%
	普通	217	37.8%	50.94	52.11	30.4%	29.5%	40.1%	22.1%	30.8%	47.2%
	あまりできない	167	29.1%	46.99	44.35	44.3%	33.5%	22.2%	60.5%	27.0%	12.5%
	まったくできない	64	11.1%	44.39	39.99	59.4%	29.7%	10.9%	79.7%	15.3%	5.1%
	無回答	4	0.7%	38.67	38.55	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

執筆者一覧

香川めい	東京大学社会科学研究所 特任助教
須藤康介	明星大学教育学部 助教
中西啓喜	早稲田大学人間科学学術院 助教
小黒恵	東京大学大学院教育学研究科 博士課程
豊永耕平	東京大学大学院教育学研究科 修士課程

[付記]

本報告書は、日本学術振興会の2015～2017年科学研究費助成事業基盤研究C「学校教育が学力・学習意欲に与える因果的効果—X市中中学生悉皆パネル調査から—」（研究課題番号：15K04377、研究代表：須藤康介）の研究成果の一部である。

2017年3月31日発行（非売品）

東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.61
X市中中学生パネル学力調査——第二次調査報告
香川めい・須藤康介 編著

発行所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
TEL：03-5841-4908 FAX：03-5841-4905
東京大学社会科学研究所
印刷所 三鈴印刷株式会社

Panel Survey on Academic Achievement of Junior High School Students in X City: Second Wave Report

Edited by Mei KAGAWA and Kosuke SUDO

ISS Research Series No. 61

INSTITUTE OF SOCIAL SCIENCE UNIVERSITY OF TOKYO